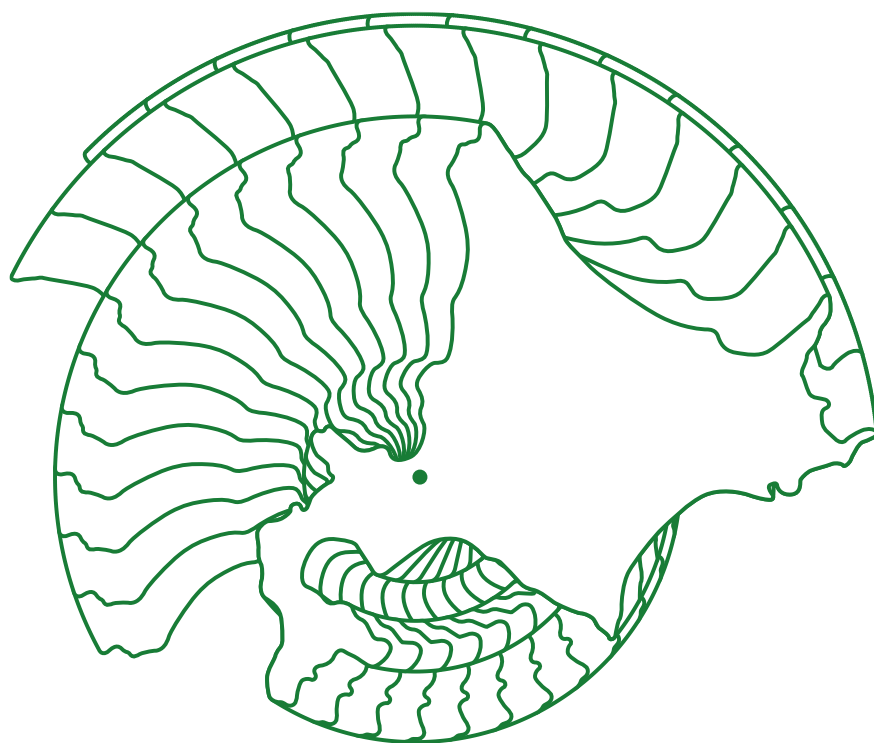




HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学概要
2010-2011

北海道大学の基本理念と長期目標

北海道大学は、大学院に重点を置く基幹総合大学であり、その起源は、日本最初の近代大学として1876年に設立された札幌農学校に遡る。爾来、帝国大学を経て新制大学に至る長い歴史のなかで、本学は、「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」及び「実学の重視」という教育研究に関わる基本理念を掲げ、培ってきた。

社会の要請に応えて国立大学法人としての歩みを始めるにあたって、北海道大学は、これらの基本理念を再確認するとともに、社会に対する説明責任を認識しつつ、新たに獲得した自由の中で、新世紀における知の創成、伝承、実証の拠点として発展するための長期的な目標を、以下のように定めるものである。

フロンティア精神

フロンティア精神とは、学生及び教職員がそれぞれの時代の課題を引き受け、敢然として新しい道を切り拓いていくべきとする理想主義を意味する。札幌農学校の開校式にあたってクラーク博士が唱えた“lofty ambition”（高邁なる大志）という言葉が端緒として、世紀を超えて北海道大学を揺るぎなく支えてきた基本理念である。

21世紀に至り、学問におけるパラダイム転換や新たに提起される人類的課題に応え得る研究を不断に展開することが、現代におけるフロンティア精神の発現である。北海道大学は、学問の自由を基礎に、純理と応用の別を問わない創造性豊かな研究を推進するとともに、大学院組織等の柔軟な展開を通じて研究教育機能を飛躍的に発展させることにより、人類史的課題に応え得る世界水準の研究の推進を目指す。

国際性の涵養

欧米の文化と科学技術を導入し、外国人教師の英語による授業を行った札幌農学校は、設立当初から多様な世界にその精神を開いていた。それ以来、多くの本学の卒業生が海外において活躍し、国際性の涵養という理念が、さまざまな形で受け継がれている。

教養教育の充実によって自文化の自覚に裏づけられた異文化理解能力を養い、外国語コミュニケーション能力を高め、国際的に活躍できる人材を育成することの必要性はいうまでもない。北海道大学は、学生及び教職員の国際性を涵養し、国際社会の発展に寄与するため、海外留学・研修の機会を拡大するとともに、外国人研究者・留学生の受け入れを積極的に推進し、アジア・北方圏をはじめとする世界の人々との文化的・社会的交流の促進を目指す。

全人教育

札幌農学校は、農業専門家の養成に止まらず、豊かな人間性と高い知性を兼ね備え、広い教養を身につけた人間の育成を図った。このことは、内村鑑三、志賀重昂、新渡戸稲造、有島武郎など思想・文学をはじめ、人文社会分野における優れた人材を次々に輩出したことにも示されている。北海道大学における全人教育の理念は、今日に至るまで、専門的知識を活用するための総合的判断力と高い識見を備えた人材育成の基盤としての教養教育を重視する伝統として継承されている。

この理念をさらに発展させるために、北海道大学は、豊かな人間性と高い知性を涵養する幅広い人間教育を進め、自由・自主独立の精神の涵養と自律的個の確立を図るとともに、人権を尊重し、社会的要請に的確に対応しうる基盤的能力の育成を目指す。

実学の重視

実学の重視という理念は、札幌農学校が設立後の様々な苦難を乗り越えて総合大学へと発展する過程において二つの意味を含みつつ定着した。即ち現実世界と一体となった普遍的学問の創造としての研究と、基礎研究のみならず応用や実用化を重んじ研究成果の社会還元を重視するという意味である。北海道の広大な自然の中で行なわれた宮部金吾の植物の研究や中谷宇吉郎による雪の研究等は、身近な現象を芽として普遍的真理を創造した研究の精華であったし、北海道大学における研究の中には、北海道の産業とともに発展したものが少なくない。

北海道大学は、実学重視の理念の普遍的かつ今日的意義を追求し、現実世界と一体となった普遍的真理や、北海道の特性を生かした学問の創造を推進するとともに、産学官の連携協働の拡大を通じて、研究成果を北海道、さらに日本、世界に還元する。あわせて大学院における高度な専門家及び職業人の養成並びに社会人教育を充実することを目指す。

Contents

● 基本理念と長期目標	1	● 学生	学生数統計・入学支援・就職支援	24
● 総長からのメッセージ	2		・人材育成	
● 沿革	3～4		学生数	25～26
● 組織			入学状況	27～28
組織図	5		卒業・修了者数（学位授与数）	29
運営組織図	6		進路状況	30
役員・経営協議会委員・	7	● 国際交流	外国人留学生数	31～32
教育研究評議会評議員			国際交流協定締結状況	33～36
部局長等	8		海外拠点	36
大学院・学部	9～16	● 公開講座等の実施状況		37～38
附置研究所	17	● 全学的な教育・研究体制	産学官連携・研究支援	39～40
全国共同利用施設・総合博物館	18		教育・研究プログラム	41～42
学内共同教育研究施設等	19～20	● 財政	平成22年度収入・支出予算	43
附属図書館	21		科学研究費補助金等	44
北海道大学病院	22		寄附講座等	45
職員数	23	● キャンパス	土地・建物・船舶	46
			札幌キャンパス・函館キャンパス	47～48
			施設所在地一覧	49～50

総長からのメッセージ

北海道大学は、学士号を授与する日本最初の高等教育機関である札幌農学校として1876年に創設されました。初代教頭のクラーク博士が札幌を去る際に学生に残した、「Boys, be ambitious!」は、日本の若者によく知られた言葉で本学のモットーでもあります。

北海道大学は、135年の歴史の中で育まれた、「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」それに「実学の重視」を教育研究の理念として掲げ、現在、国際的な教育研究の拠点を目指して教職員・学生それに同窓生が一丸となって努力しています。

教育の充実と国際化

北海道大学は、全学教育・専門教育それに大学院教育を通じて、専門的知識の習得と主体的かつ総合的な人格形成を図り、全人的な教育を身につけ、国際性豊かな人材を育成します。そのため入試制度を大幅に変更しました。

さらに、魅力ある教育プログラムの充実とともに、厳密な成績評価と単位の実質化を図り、外国語による教育を推進し、国際的にみても高水準の人材育成システムを構築し、世界の教育研究拠点となることを目指しています。



北海道大学総長

佐伯 浩

研究の国際化

北海道大学は、大学院重点化により、教育研究の基盤を強化し、大学院においては組織の柔軟化をさらに進め、先導的・学際的な研究と知識の教授を行うことを目的とした学院・研究院構想を推進し、効率的な教育研究組織の形成を図ります。

これにより、分野の垣根を越えた研究プロジェクトによる新たな研究拠点の創設、外国語による講義や優秀な留学生を増やし、世界に開かれた大学、世界の教育研究拠点を目指します。

社会との連携

北海道大学は、社会への情報発信や地域との交流活動拠点として東京オフィス・北京オフィスの活用や、ホームページ・広報誌の充実、高校生を対象としたオープンキャンパスや入試広報さらには、公開講座や教員の講義ノートの世界へ発信するオープンコースウェアの充実など、本学への理解を得られるよう、多様な事業を展開していきます。

また、産学連携本部や創成研究機構など、地域・産業界との共同事業・共同研究の拠点をさらに強化・活用して、研究成果を社会へ還元し、社会との連携強化を図ります。

創基135年の歴史を基にさらなる挑戦

北海道大学は、大学の自主性・自立性をこれまで以上に発揮するために、2006年創基130年目の挑戦として、自らの努力はもちろんのこと、広く企業、個人及び同窓生の方々にご支援をいただくため「北大フロンティア基金」を創設しました。

この基金では、教育研究基盤の充実を図り、とりわけ優秀な人材の育成のため学生支援を中心にした活動を行い、地域社会や世界に貢献できる大学を目指しています。

本学では、建学の精神の一つである「フロンティア精神」を持って、多くの皆様方のご協力を得ながら、さらなる大学改革を進めていきます。

「札幌農学校時代」 1876年～

明治9年(1876) 7月	● マサチューセッツ農科大学長 W. S. クラークが札幌農学校教頭として、教師ホイラーと教師ペンハロウ及び学生11人とともに札幌に到着
8月	● 14日、札幌農学校開校式挙行(本学開学記念日)
9月	● 調所広丈が校長に就任
12月	● 書籍庫(後の図書館)新築
11年(1878) 10月	● 演武場(現在の時計台)竣工
14年(1881) 2月	● 森源三(開拓権少書記官)が校長兼務
19年(1886) 7月	● 植物園竣工
12月	● 佐藤秀頭が道庁理事官校長事務取扱に就任
20年(1887) 3月	● 佐藤昌介が校長職務代理に就任
21年(1888) 12月	● 橋口文蔵が校長に就任
24年(1891) 8月	● 佐藤昌介が校長心得に就任
27年(1894) 4月	● 佐藤昌介が校長に就任

「東北帝国大学農科大学時代」 1907年～

明治40年(1907) 6月	● 札幌農学校が東北帝国大学農科大学となり、大学予科を付設(同年9月、開学式挙行)
9月	● 書籍庫を図書館と改称
	● 佐藤昌介が東北帝国大学農科大学長に就任

「北海道帝国大学時代」 1918年～

大正7年(1918) 4月	● 北海道帝国大学が設置され、東北帝国大学農科大学が北海道帝国大学農科大学となった
	● 佐藤昌介が北海道帝国大学農科大学長に就任(北海道帝国大学総長兼務)
8年(1919) 2月	● 北海道帝国大学農科大学が農学部へ改称
4月	● 医学部設置
	● 佐藤昌介が北海道帝国大学総長に就任
10年(1921) 4月	● 医学部附属医院設置(同年11月診療開始)
11年(1922) 5月	● 図書館を附属図書館と改称
13年(1924) 9月	● 工学部設置
昭和5年(1930) 4月	● 理学部設置
12月	● 南鷹次郎が総長に就任
8年(1933) 12月	● 高岡熊雄が総長に就任
12年(1937) 12月	● 今裕が総長に就任
16年(1941) 11月	● 低温科学研究所設置
18年(1943) 1月	● 触媒研究所設置
	● 超短波研究所設置
20年(1945) 6月	● 事務局及び学生部設置
11月	● 伊藤誠哉が総長に就任
21年(1946) 3月	● 超短波研究所を応用電気研究所と改称
22年(1947) 4月	● 法文学部設置

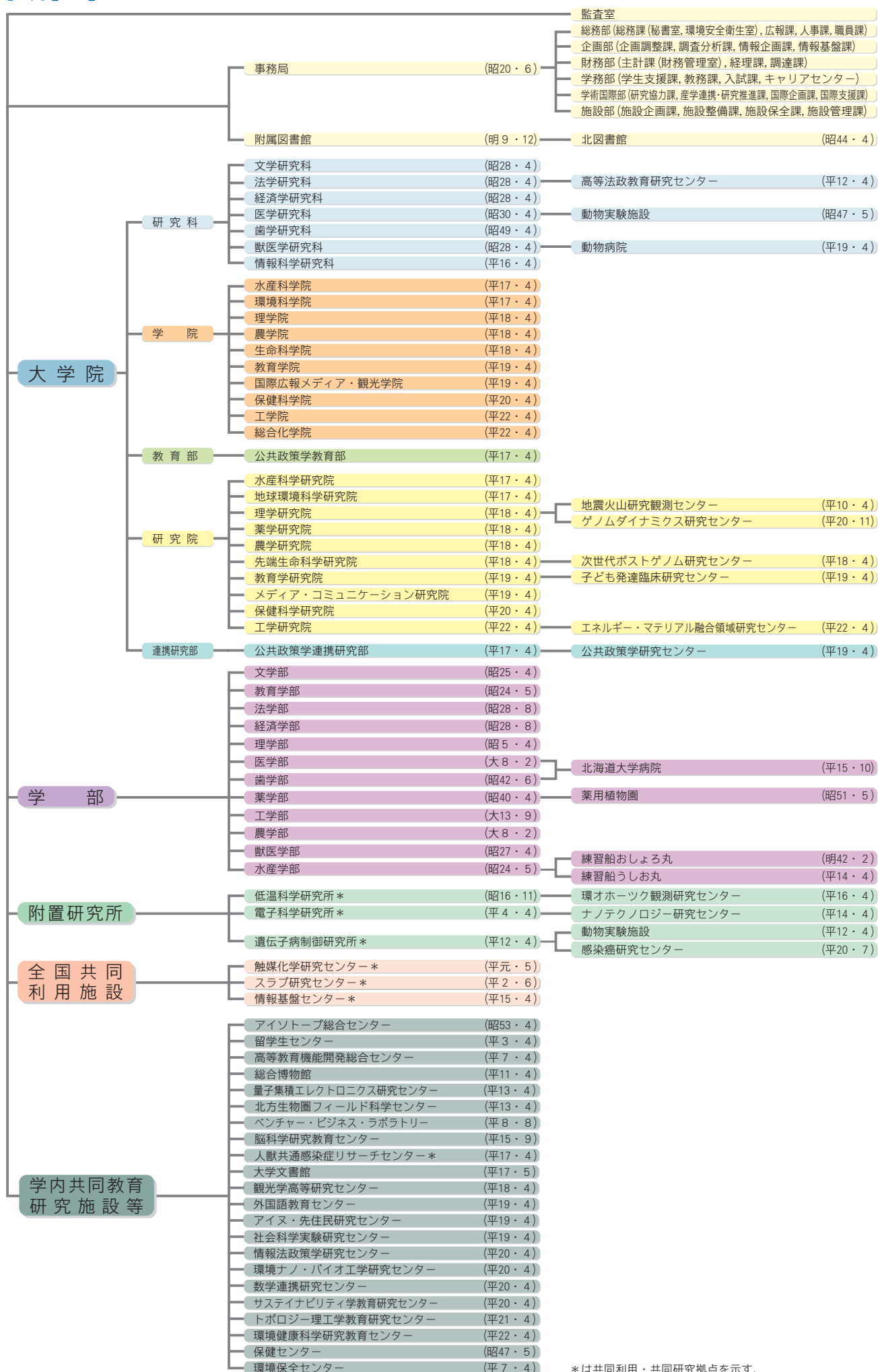
「北海道大学時代」 1947年～

昭和22年(1947) 10月	● 北海道帝国大学が北海道大学となった
	● 伊藤誠哉が総長に就任
24年(1949) 5月	● 国立学校設置法が公布・施行され、新制の北海道大学(法文・教育・理・医・工・農・水産(函館市)の各学部)に改組
	● 医学部附属医院を医学部附属医院と改称
	● 伊藤誠哉が北海道大学長に就任
6月	● 教養学科(昭26. 4～一般教養

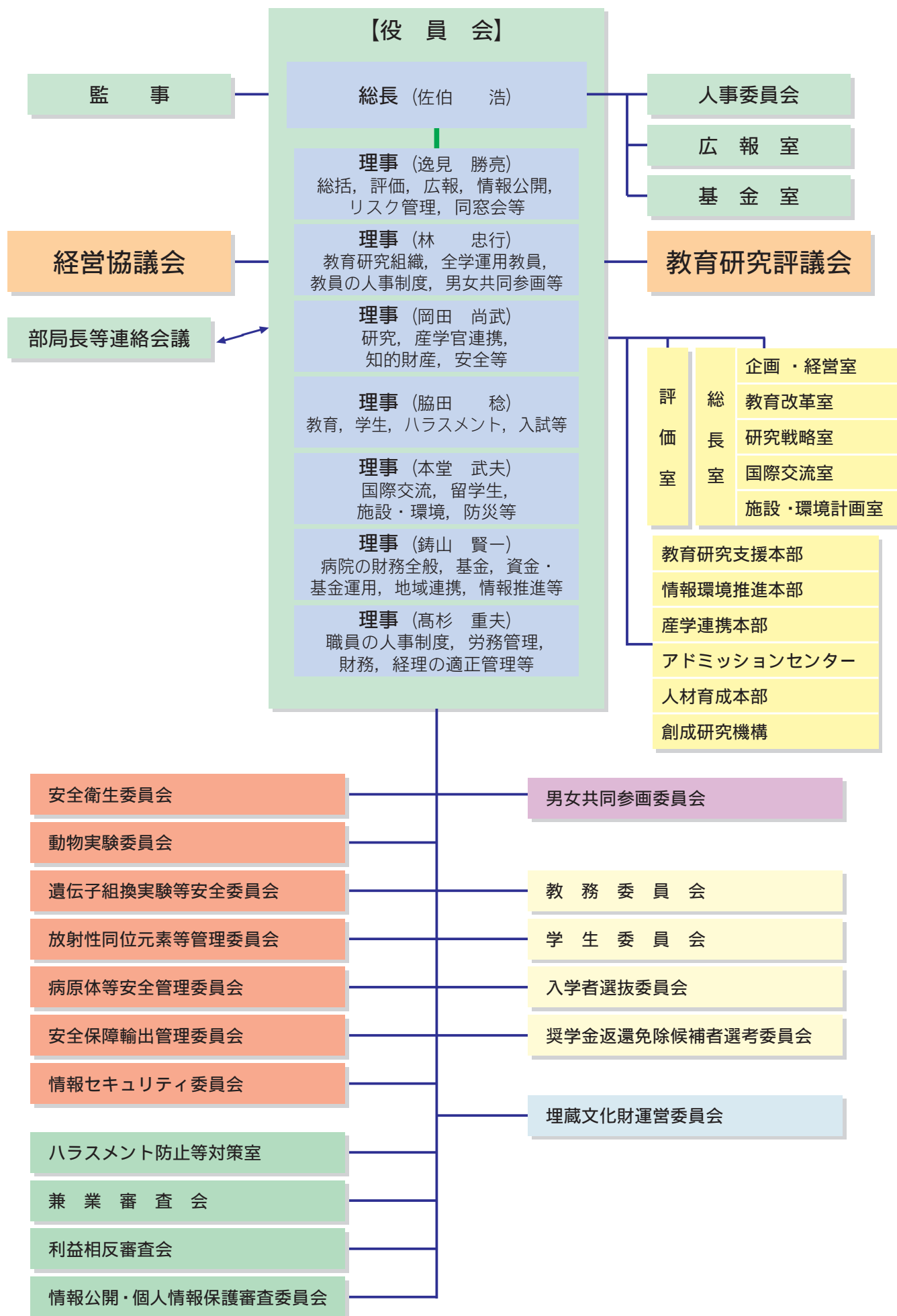
25年(1950) 3月	部)設置
4月	● 大学予科廃止
	● 結核研究所設置
	● 法文学部が文学部と法経学部に分離
10月	● 島善鄰が学長に就任
27年(1952) 4月	● 獣医学部設置
28年(1953) 4月	● 新制大学院(文・教育・法・経済・理・工・農・獣医・水産の各研究科)設置
8月	● 法経学部が法学部と経済学部に分離
29年(1954) 10月	● 杉野目晴貞が学長に就任
30年(1955) 4月	● 大学院に医学研究科を設置
32年(1957) 7月	● 一般教養部を教養部と改称
33年(1958) 4月	● 大学院に薬学研究科を設置
36年(1961) 5月	● 工業教員養成所設置(昭44. 3廃止)
40年(1965) 4月	● 薬学部設置
41年(1966) 10月	● 古市二郎が学長に就任
42年(1967) 2月	● 古市二郎学長逝去に伴い阿部與が学長事務取扱に就任
5月	● 堀内壽郎が学長に就任
6月	● 歯学部設置
8月	● 歯学部附属病院開院
45年(1970) 4月	● 大型計算機センター(全国共同利用施設)設置
46年(1971) 5月	● 丹羽貴知蔵が学長に就任
47年(1972) 5月	● 保健管理センター設置
	● 体育指導センター設置
49年(1974) 4月	● 大学院に歯学研究科を設置
6月	● 結核研究所が免疫科学研究所に改組
50年(1975) 5月	● 今村成和が学長に就任
52年(1977) 4月	● 大学院に環境科学研究科(独立研究科)を設置
53年(1978) 4月	● スラブ研究センター設置
	● アイソトープ総合センター設置
54年(1979) 4月	● 情報処理教育センター設置
	● 機器分析センター設置
55年(1980) 10月	● 医療技術短期大学部設置
56年(1981) 4月	● 言語文化部設置
	● 実験生物センター設置
5月	● 有江幹男が学長に就任
60年(1985) 4月	● 遺伝子実験施設設置
62年(1987) 5月	● 伴義雄が学長に就任
平成元年(1989) 5月	● 触媒化学研究センター(全国共同利用施設)設置(触媒研究所廃止)
2年(1990) 6月	● スラブ研究センターが全国共同利用施設に改組
3年(1991) 4月	● 留学生センター設置
	● 量子界面エレクトロニクス研究センター設置
5月	● 廣重力が学長に就任
4年(1992) 4月	● 応用電気研究所が電子科学研究所に改組
5年(1993) 4月	● 大学院に地球環境科学研究科(独立研究科)を設置(大学院の環境科学研究科を廃止)
6年(1994) 6月	● エネルギー先端工学研究センター設置
7年(1995) 4月	● 教養部廃止
	● 高等教育機能開発総合センター設置
	● 低温科学研究所が全国共同利用施設に改組
	● 大学院の理学研究科、獣医学研究科が大学院講座制に移行(いわゆる大学院重点化)
	● 環境保全センター設置
5月	● 丹保憲仁が総長に就任
8年(1996) 5月	● 先端科学技術共同研究センター設置
8月	● ベンチャー・ビジネス・ラボラ

9年(1997) 4月	● トリー設置 ● 大学院の工学研究科が大学院講座制に移行		
10年(1998) 4月	● 大学院の薬学研究科が大学院講座制に移行		
11年(1999) 4月	● 大学院の農学研究科が大学院講座制に移行 ● 情報メディア教育研究総合センター設置(情報処理教育センター廃止)		
12年(2000) 4月	● 総合博物館設置 ● 大学院の文学研究科, 教育学研究科, 法学研究科, 経済学研究科, 医学研究科, 歯学研究科及び水産科学研究科が大学院講座制に移行 ● 大学院に国際広報メディア研究科(独立研究科)を設置 ● 遺伝子病制御研究所設置(免疫科学研究所改組及び医学部附属癌研究施設廃止) ● 北ユーラシア・北太平洋地域研究センター設置 ● 北方生物圏フィールド科学センターの設置に伴い, 理学部附属臨海実験所・海藻研究施設, 農学部附属植物園・農場・演習林・牧場, 水産学部附属洞爺湖臨湖実験所・白尻水産実験所・七飯養魚実習施設廃止 ● 先端科学技術共同研究センターの整備に伴い, 理学部附属動物染色体研究施設, 実験生物センター及び遺伝子実験施設廃止 ● 量子集積エレクトロニクス研究センター設置(量子界面エレクトロニクス研究センター廃止)	5月 18年(2006) 4月	● (専門職大学院), 公共政策学連携研究部を設置 ● 創成科学共同研究機構設置(先端科学技術共同研究センター及び創成科学研究機構を統合) ● 体育指導センターが高等教育機能開発総合センターに統合 ● 人獣共通感染症リサーチセンター設置 ● アドミッションセンター設置 ● 大学文書館設置 ● 大学院に理学院, 薬学院, 農学院, 先端生命科学研究院, 理学院, 農学院, 生命科学院を設置(大学院理学研究科, 薬学研究科, 農学研究科廃止) ● 観光学高等研究センター設置 ● 医療技術短期大学部廃止 ● 大学院に教育学研究院及びメディア・コミュニケーション研究院, 教育学院, 国際広報メディア・観光学院を設置(大学院教育学研究科, 国際広報メディア研究科及び言語文化部廃止) ● 外国語教育センター設置 ● アイヌ・先住民研究センター設置 ● 社会科学実験研究センター設置
13年(2001) 4月	● 中村睦男が総長に就任 ● 創成科学研究機構設置 ● 練習船うしお丸新設(練習船北星丸廃止) ● 情報基盤センター設置(大型計算機センター及び情報メディア教育研究総合センター廃止) ● 脳科学研究教育センター設置 ● 医学部保健学科設置 ● 北海道大学病院設置(医学部附属病院と歯学部附属病院を統合) ● 知的財産本部設置	5月 10月 19年(2007) 3月 4月	● 佐伯 浩が総長に就任 ● 知的財産本部を廃止し知財・産学連携本部(運営組織)へ移行 ● 大学院に保健科学研究院及び保健科学院(修士課程)を設置 ● 情報法政策学研究センター設置 ● 環境ナノ・バイオ工学研究センター設置 ● 数学連携研究センター設置 ● サステナビリティ学教育研究センター設置 ● アドミッションセンターが学内共同教育研究施設から運営組織に移行 ● トポロジエ理工学教育研究センター設置 ● 創成科学共同研究機構及び機器分析センターを廃止し創成研究機構(運営組織)へ移行 ● 附属図書館の北分館を北図書館と改称 ● 大学院に工学研究院, 工学院を設置(大学院工学研究科廃止) ● 大学院に総合化学院を設置 ● 大学院に保健科学院(博士後期課程)を設置 ● 環境健康科学研究教育センター設置 ● 保健センター設置(保健管理センター廃止) ● エネルギー変換マテリアル研究センターを廃止し, 大学院工学研究院附属施設(エネルギー・マテリアル融合領域研究センター)へ移行
14年(2002) 5月 2月 4月		5月 10月 20年(2008) 4月	
15年(2003) 4月			
9月 10月		5月 10月 21年(2009) 4月	
		8月 22年(2010) 4月	
「国立大学法人北海道大学時代」2004年～			
平成16年(2004) 4月	● 北海道大学が国立大学法人北海道大学となった ● 大学院に情報科学研究科(独立研究科)を設置 ● エネルギー変換マテリアル研究センター設置(エネルギー先端工学研究センター廃止) ● 北ユーラシア・北太平洋地域研究センター廃止 ● 大学院に水産科学研究院, 地球環境科学研究院, 水産科学院, 環境科学院を設置(大学院水産科学研究科, 地球環境科学研究科(独立研究科)廃止) ● 大学院に公共政策学教育部		
17年(2005) 3月 4月			

国立大学法人北海道大学



*は共同利用・共同研究拠点を示す。



北海道大学役員		
総 長	佐 伯 浩	
理事・副学長	逸 見 勝 亮	
理事・副学長	林 忠 行	
理事・副学長	岡 田 尚 武	
理事・副学長	脇 田 稔	
理事・副学長	本 堂 武 夫	
理 事	鑄 山 賢 一	
理事・事務局長	高 杉 重 夫	
監 事	米 澤 勉	
監 事	上 野 昌 美	
経営協議会委員		
学 内 委 員		
総 長	佐 伯 浩	
理 事	逸 見 勝 亮	
理 事	林 忠 行	
理 事	岡 田 尚 武	
理 事	脇 田 稔	
理 事	本 堂 武 夫	
理 事	鑄 山 賢 一	
理 事	高 杉 重 夫	
大学院法学研究科長	常 本 照 樹	
大学院獣医学研究科長	伊 藤 茂 男	
北海道大学病院長	福 田 諭	
触媒化学研究センター長	福 岡 淳	
学 外 委 員		
(株) ジャフコ取締役副会長	毛 塚 富 雄	
北海道経済連合会会長	近 藤 龍 夫	
北海道電力(株) 取締役会長		
北海道大学連合同窓会会長	數 土 文 夫	
JFEホールディングス(株) 取締役		
北海道副知事	高 井 修	
北海道高等学校長協会会長代行	辻 敏 裕	
北海道札幌南高等学校長		
前横浜市副市長	野 田 由美子	
弁護士(原敦子法律事務所)	原 敦 子	
前国立大学法人岩手大学長 (独) 科学技術振興機構 JSTイノベーションサテライト岩手館長	平 山 健 一	
国立療養所多磨全生園長	松 谷 有希雄	
北海道新聞社論説主幹	三 好 則 男	
北海道経済産業局長	柚 原 一 夫	
(株) アークス代表取締役社長		
(株) ラルズ代表取締役会長兼CEO	横 山 清	

教育研究評議会評議員		
総 長	佐 伯 浩	
理 事	逸 見 勝 亮	
理 事	林 忠 行	
理 事	岡 田 尚 武	
理 事	脇 田 稔	
理 事	本 堂 武 夫	
理 事	鑄 山 賢 一	
理 事	高 杉 重 夫	
大学院文学研究科長	舩 和 順	
大学院文学研究科(文学部)	櫻 井 義 秀	
大学院法学研究科長	常 本 照 樹	
大学院法学研究科(法学部)	山 口 二 郎	
大学院経済学研究科長	町 野 和 夫	
大学院経済学研究科(経済学部)	吉 見 宏	
大学院医学研究科長	安 田 和 則	
大学院医学研究科(医学部)	野々村 克 也	
大学院歯学研究科長	川 浪 雅 光	
大学院歯学研究科(歯学部)	鈴 木 邦 明	
大学院獣医学研究科長	伊 藤 茂 男	
大学院獣医学研究科(獣医学部)	稲 葉 睦	
大学院情報科学研究科長	栗 原 正 仁	
大学院水産科学研究院長	嵯 峨 直 恒	
大学院水産科学研究院(水産学部)	飯 田 浩 二	
大学院地球環境科学研究院長	南 川 雅 男	
大学院理学研究院長	山 口 佳 三	
大学院理学研究院(理学部)	稲 辺 保	
大学院薬学研究科長	松 田 彰	
大学院薬学研究科(薬学部)	有 賀 寛 芳	
大学院農学研究科長	上 田 一 郎	
大学院農学研究科(農学部)	長 澤 徹 明	
大学院先端生命科学研究院長	川 端 和 重	
大学院生命科学院長	高 橋 孝 行	
大学院教育学研究院長	所 伸 一	
大学院教育学研究院(教育学部)	小 内 透	
大学院メディア・コミュニケーション研究院長	高 井 潔 司	
大学院保健科学研究院長	小 林 清 一	
大学院工学研究院長	馬 場 直 志	
大学院工学研究院(工学部)	名 和 豊 春	
大学院総合化学院長	喜多村 昇	
大学院公共政策学教育部長	中 村 研 一	
北海道大学病院長	福 田 諭	
低温科学研究所長	香 内 晃	
電子科学研究所長	三 澤 弘 明	
遺伝子病制御研究所長	田 中 一 馬	
触媒化学研究センター長	福 岡 淳	
スラブ研究センター長	岩 下 明 裕	
情報基盤センター長	山 本 強	
北方生物圏フィールド科学センター長	長谷川 周 一	
人獣共通感染症リサーチセンター長	喜 田 宏	
外国語教育センター長	宮 下 雅 年	

事務局	
事務局長（兼務）	高 杉 重 夫
副理事 （学術国際部長 兼務）	林 和 彦
総務部長	大 西 浩 二
総務課長 （秘書室長・環境安全衛生室長 兼務）	吉 田 勇 人
広報課長	中 塚 英 俊
人事課長	東 高 之
職員課長	浅 野 賢 二
企画部長	吉 岡 富 雄
企画調整課長	勝 山 憲 明
調査分析課長	吉 原 春 之
情報企画課長	深 見 清 治
情報基盤課長	深 堀 文 男
財務部長	両 角 晶 仁
主計課長	三 上 洋 一
財務管理室長	佐々木 泰 之
経理課長	構 野 秀 樹
調達課長	大 道 元
学務部長	小 泉 信 隆
学生支援課長	梅 村 直 基
教務課長	西 田 久 美 子
入試課長	村 田 幸 彦
キャリアセンター長	恒 川 昌 美
キャリアセンター課長	竹 田 充
学術国際部長（副理事）	林 和 彦
研究協力課長	佐 藤 博 之
産学連携・研究推進課長	片 岡 平 和
国際企画課長	野 田 昭 彦
国際支援課長	神 保 綾 子
施設部長	中 村 隆 行
施設企画課長	長 井 一 夫
施設整備課長	田 島 良 雄
施設保全課長	加 藤 春 夫
施設管理課長	寺 澤 睦
監査室	
監査室長	渡 邊 正 明
附属図書館	
館長	逸 見 勝 亮
副館長・北図書館長	宇都宮 輝 夫
事務部長	藏 野 由 美 子
管理課長	杉 田 福 夫
利用支援課長	小 川 聡
北図書館利用支援室長	山 田 勉
学術システム課長	山 本 和 雄
大学院・学部	
文学研究科長・文学部長	舩 和 順
事務長	大 井 芳 美
法学研究科長・法学部長	常 本 照 樹
事務長	杉 山 敏 保
経済学研究科長・経済学部長	町 野 和 夫
事務長	田 中 日出雄
医学研究科長・医学部長	安 田 和 則
医学系事務部長	佐 竹 順 一
総務課長	萩 原 俊 博

会計課長	北 嶋 義 夫
歯学研究科長・歯学部長	川 浪 雅 光
事務長	松 井 哲 司
獣医学研究科長・獣医学部長	伊 藤 茂 男
事務長	中 嶋 幸 夫
情報科学研究科長	栗 原 正 仁
水産科学院長・水産科学研究院長・水産学部長	嵯 峨 直 恆
函館キャンパス事務部事務長	小 谷 正 雄
環境科学院長・地球環境科学研究院長	南 川 雅 男
環境科学事務部事務長	久 保 修
理学院長・理学研究院長・理学部長	山 口 佳 三
理学・生命科学事務部長（事務課長 兼務）	細 野 正 廣
薬学研究院長・薬学部長	松 田 彰
薬学事務部事務長	松 本 治
農学院長・農学研究院長・農学部長	上 田 一 郎
農学事務部事務長	菅 野 信 雄
生命科学院長	高 橋 孝 行
先端生命科学研究院長	川 端 和 重
教育学院長・教育学研究院長・教育学部長	所 伸 一
教育学事務部事務長	西 村 信 毅
国際広報メディア・観光学院長・メディア・コミュニケーション研究院長	高 井 潔 司
メディア・観光学事務部事務長	岩 渕 徹 也
保健科学院長・保健科学研究院長	小 林 清 一
工学院院长・工学研究院長・工学部長	馬 場 直 志
工学系事務部長	阿 部 哲 夫
総務課長	向井地 博 之
経理課長	福 元 彰
教務課長	中 村 裕
総合化学院長	喜多村 昇
公共政策学教育部長・公共政策学連携研究部長	中 村 研 一
北海道大学病院	
北海道大学病院長	福 田 諭
事務部長	早 坂 勇 二
総務課長	小 出 隆 弘
経営企画課長	長 川 武 司
管理課長	太 田 晶 久
医事課長	成 田 博 昭
医療支援室長	樋 口 順 一
附置研究所	
低温科学研究所長	香 内 晃
事務長	山 口 隆 敏
電子科学研究所長	三 澤 弘 明
遺伝子病制御研究所長	田 中 一 馬
全国共同利用施設	
触媒化学研究センター長	福 岡 淳
スラブ研究センター長	岩 下 明 裕
情報基盤センター長	山 本 強
学内共同教育研究施設等	
アイソトープ総合センター長	玉 木 長 良
留学生センター長	本 堂 武 夫
高等教育機能開発総合センター長	脇 田 稔
総合博物館長	松 枝 大 治
量子集積エレクトロニクス研究センター長	福 井 孝 志
北方生物圏フィールド科学センター長	長谷川 周 一
事務長	鹿 取 雅 幸

ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー長	田 中 讓
脳科学研究教育センター長	本 間 研 一
人獣共通感染症リサーチセンター長	喜 田 宏
大学文書館長	逸 見 勝 亮
観光学高等研究センター長	石 森 秀 三
外国語教育センター長	宮 下 雅 年
アイヌ・先住民研究センター長	常 本 照 樹
社会科学実験研究センター長	山 岸 俊 男
情報法政策学研究センター長	田 村 善 之
環境ナノ・バイオ工学研究センター長	船 水 尚 行
数学連携研究センター長	津 田 一 郎
サステナビリティ教育研究センター長	佐々木 隆 生
トコロジ理工学教育研究センター長	丹 田 聡
環境健康科学研究教育センター長	岸 玲 子
保健センター長	武 藏 学
環境保全センター長	澤 村 正 也
その他（運営組織）	
産学連携本部長	岡 田 尚 武
アドミッションセンター長	脇 田 稔
人材育成本部長	岡 田 尚 武
創成研究機構長	岡 田 尚 武
北キャンパス合同事務部事務長	下 出 明
附属教育研究施設等	
法学研究科	
高等法政教育研究センター長	宮 本 太 郎
医学研究科	
動物実験施設長	三 輪 聡 一
獣医学研究科	
動物病院長	滝 口 満 喜
理学研究院	
地震火山研究観測センター長	谷 岡 勇 市 郎
ゲノムダイナミクス研究センター長	滝 谷 重 治
先端生命科学研究院	
次世代ポストゲノム研究センター長	五十嵐 靖 之
教育学研究院	
子ども発達臨床研究センター長	田 中 康 雄
工学研究院	
エネルギー・マテリアル融合領域研究センター長	黒 川 一 哉
公共政策学連携研究部	
公共政策学研究センター長	宮 脇 淳
薬学部	
薬用植物園長	小 林 淳 一
水産学部	
練習船おしよる丸船長	高 木 省 吾
練習船うしお丸船長	目 黒 敏 美
低温科学研究所	
環オホーツク観測研究センター長	江 淵 直 人
電子科学研究所	
ナノテクノロジー研究センター長	笹 木 敬 司
遺伝子病制御研究所	
動物実験施設長	志 田 壽 利
感染症研究センター長	高 岡 晃 教

○は協力講座、※は寄附講座・寄附分野、◇は連携講座、〔 〕は連携分野を示す。

文学研究科・文学部

Graduate School of Letters / Faculty of Letters



全的人間性を陶冶する幅広い教養と高水準の研究を遂行し得る深い専門知識の教授、さらに、現実世界を適切に解釈する為の広い視野と総合的な判断力の養成を教育の理念に据える。学部教育では特に、外国語も含めた言語能力と人間の全体的把握への志向を養うことを目指す。

文学研究科 4専攻・19講座・1協力講座

専攻	講座
思想文化学	哲学、倫理学、宗教学インド哲学、芸術学
歴史地域文化学	日本史学、東洋史学、西洋史学、歴史文化論、北方文化論、○スラブ社会文化論
言語文学	西洋言語学、西洋文学、言語情報学、日本文化論、中国文化論、映像・表現文化論
人間システム科学	心理システム科学、行動システム科学、社会システム科学、地域システム科学

文学部 1学科・4学科目

学科	学科目
人文科学科	哲学文化学、歴史学人類学、言語文学、人間システム科学

法学研究科・法学部

Graduate School of Law / School of Law



研究科は「優れた教育研究後継者の育成」、「高度の専門的知識を持った職業人の育成」、「高度な専門性と幅広い視野を身につけた法曹の養成」、学部は「複雑多様な社会現象に適切に対処する基礎的能力の涵養」、「豊かな人間性、知的感性を備えた指導的人材の育成」を教育理念とし、多様で充実したカリキュラム編成を特徴とする。

法学研究科 2専攻・5講座・1協力講座、1附属施設

専攻	講座
法学政治学	現代法、基礎法、政治学、○高等法政
法律実務	民事法、公法

附属施設
高等法政教育研究センター

法学部 1課程・6学科目

課程	学科目
法学課程	公法、民事法、刑事法、社会法、基礎法学、政治学

経済学研究科・経済学部

Graduate School of Economics and Business Administration / School of Economics and Business Administration



「深い愛情と高い使命感をもって革新と創造に取り組む指導的人材の育成」「専門知識と社会倫理を備え社会的課題に立ち向う自律的知性の涵養」、加えて研究科では「世界に伍した経済学・経営学の研究を担える人材の育成」「経済学と経営学の融合及び近接科学との連携による高度専門職業人の育成」を教育目標とし、目的意識をもった学生に適したカリキュラムの編成が特徴。

経済学研究科 2専攻・5講座

専攻	講座
現代経済経営	経済分析、社会経済・歴史分析、経済政策、経営分析
会計情報	会計情報

経済学部 2学科・5学科目

学科	学科目
経済学科	経済理論、経済史、応用経済学
経営学科	経営学、経営情報

○は協力講座、※は寄附講座・寄附分野、◇は連携講座、〔 〕は連携分野を示す。

医学研究科・医学部

Graduate School of Medicine / School of Medicine



医学研究科の教育理念は「高い倫理観と豊かな人間性の涵養と高度な医学知識と技術の習得」であり、医学部は「医を支える高い倫理観と豊かな人間性の陶冶」、「高度な医学知識と技術の修得及びそれを維持する生涯学習を続ける態度・習慣の修得」、「医療チームにおいて他の専門職と連携し、高度医療を行う協調性の修得」を教育理念としている。

■医学研究科 2専攻・17講座・2協力講座・10寄附講座・1連携講座、1附属施設

専攻	講座
医学	生化学、解剖学、生理学、薬理学、病理学、微生物学、予防医学、社会医療管理学、内科学、病態情報学、外科学、侵襲制御医学、機能再生医学、生殖・発達医学、感覚器病学、神経病態学、先端医学、○免疫科学、○癌病態学、※置換外科・再生医学、※分子イメージング、※時間医学、※人工関節・再生医学、※分子制御外科学、※炎症眼科学、※総合女性医療システム学、※探索病理学、※脊髄・脊髄先端医学、※眼循環代謝学、◇臨床系連携
医科学	
附属施設	
動物実験施設	

■医学部 2学科・25学科目、1附属施設

学科	学科目
医学科	医学概論、医学史、人類遺伝学、解剖・発生学、生理学、生化学、薬理学、病理学、細菌学、法医・医療情報学、衛生・公衆衛生学、内科学、外科学、生殖・発達医学、精神・脳神経医学、感覚器医学、機能回復医学、高次診断医学、リハビリテーション医学、侵襲制御医学
保健学科	看護学、放射線技術科学、検査技術科学、理学療法学、作業療法学
附属施設	
北海道大学病院	(歯学部との共用附属施設)

歯学研究科・歯学部

Graduate School of Dental Medicine / School of Dental Medicine



口腔の健康管理を通じて全身の健康の保持増進を図るため、歯学及び歯科医療に関する専門的な知識及び技術を教授することにより、医療従事者としての職業倫理、豊かな人間性及び課題探求心を備えた歯科医師、歯学教育者及び研究者を育成することを目的とする。歯科医師としての豊かな教養と知性の涵養のため、小グループ制の「全人教育演習」「早期臨床体験実習」並びに、問題解決能力養成のための「研究実習」など特徴ある教育内容を展開している。

■歯学研究科 1専攻・3講座・1協力講座・1連携講座

専攻	講座
口腔医学	口腔機能学、口腔健康科学、口腔病態学、○顎機能医療学、◇長寿口腔科学

■歯学部 1学科・9学科目、1附属施設

学科	学科目
歯学科	生体構造解析学、生体機能解析学、病因病態解析学、歯質・歯周再建学、咬合再建学、口腔診断内科学、口腔顎顔面外科学、発育加齢歯科学、口腔健康科学
附属施設	
北海道大学病院	(医学部との共用附属施設)



中央ローン



クラーク像

○は協力講座, ※は寄附講座・寄附分野, ◇は連携講座, []は連携分野を示す。

獣医学研究科・獣医学部

Graduate School of Veterinary Medicine / School of Veterinary Medicine



「多様な獣医学の社会的使命を理解し, 科学的な考え方と判断ができる, 創造性と人間性豊かな獣医師の養成」, 「社会の要請に応じて我が国のみならず世界的にも活躍できる高度の獣医学的知識と技術を備えた獣医学研究者の養成」を教育理念として, 少人数教育により, 動物疾病に関する広範かつ専門的知識と技術の教授を行うことが特徴である。

■獣医学研究科 1専攻・5講座・1協力講座, 1附属施設

専攻	講座
獣医学	比較形態機能学, 動物疾病制御学, 診断治療学, 環境獣医科学, 応用獣医科学, ○人獣共通感染症学

附属施設
動物病院

■獣医学部 1学科・4学科目

学科	学科目
獣医学科	生物医学, 病因病態学, 応用獣医学, 臨床獣医学

情報科学研究科

Graduate School of Information Science and Technology



高度情報社会の発展に貢献し, 知識基盤社会の進展を図ることを教育研究の理念とし, 情報科学の学理の継承及び創造を通じて, 幅広く深い学識を有し, 国際性を備えた技術者を育成するとともに, 自立して研究開発を行うことができる創造力の豊かな研究者を養成することを目的とする。

■情報科学研究科 6専攻・11講座・3協力講座・5連携講座

専攻	講座
複合情報学	複雑系工学, ○大規模情報システム学
コンピュータサイエンス	知識ソフトウェア科学, 数理計算科学
情報エレクトロニクス	集積システム, 先端エレクトロニクス, ○量子情報エレクトロニクス
生命人間情報科学	バイオインフォマティクス, 生体システム工学, ○生体機能工学, ◇先端医工学
メディアネットワーク	情報メディア学, 情報通信システム学, ◇ユビキタスネットワーク学, ◇メディアネットワーク社会学
システム情報科学	システム創成情報学, システム融合情報学, ◇システム展開情報学, ◇システムセンシング情報学

水産科学院・水産科学研究院・水産学部

Graduate School of Fisheries Sciences /

Faculty of Fisheries Sciences / School of Fisheries Sciences



「人類の共有財産である海洋・水圏の生物資源の持続的生産とそれらの効率利用, さらにそれらを担保する海洋生態系の保全の基礎と応用を総合的に考究する」ことを教育研究理念とし, 国際社会, 地域社会, 産業社会からの共通の要請である地球環境問題, 資源問題, 食糧問題等を考え, 創造的で意欲ある人材の養成を目的としている。そのために必要な高い専門性, 広い視野と高い倫理観を養うことができるカリキュラム編成を特徴とする。

■水産科学院 2専攻・12講座

専攻	講座
海洋生物資源科学	海洋生物学, 資源生物学, 海洋環境科学, 海洋資源計測学, 海洋産業科学, 海洋生物資源保全管理学
海洋応用生命科学	増殖生物学, 育種生物学, 海洋生物工学, 生物資源化学, 生物資源利用学, 安全管理保障科学

■水産科学研究院 2部門・12分野・1寄附分野

部門	分野
海洋生物資源科学	海洋生物学, 資源生物学, 海洋環境科学, 海洋資源計測学, 海洋産業科学, 海洋生物資源保全管理学 ※水産総合基盤システム科学
海洋応用生命科学	増殖生物学, 育種生物学, 海洋生物工学, 生物資源化学, 生物資源利用学, 安全管理保障科学

■水産学部 4学科・4学科目, 2附属施設

学科	学科目
海洋生物科学科	海洋生物科学
海洋資源科学科	海洋資源科学
増殖生命科学科	増殖生命科学
資源機能化学科	資源機能化学

附属施設
練習船おしお丸
練習船うしお丸

○は協力講座，※は寄附講座・寄附分野，◇は連携講座，〔 〕は連携分野を示す。

環境科学院・地球環境科学研究院

Graduate School of Environmental Science /
Faculty of Environmental Earth Science

地球科学，生物学，物質科学などの自然科学に基礎をおき，地球規模の環境問題の解明と解決を目指す教育研究を行うとともに，これらの課題に取り組む研究者及び高度専門職業人を養成することを目的とする。基礎学力に優れた学生を広く受け入れ，学際的な環境科学教育を行っている。総論，基礎論，特論，大学院共通講義，南極学カリキュラムなど多様なカリキュラムを用意し，本学全体の環境教育にも主導的な役割を果たしている。

環境科学院 4専攻・19コース・1連携講座

専攻	コース等
環境起学	博士後期課程起学研究，修士課程（博士前期課程）先駆， 修士課程（博士前期課程）統合
地球圏科学	陸域環境科学，物質循環・環境変遷学，大気海洋物理・気候力学， ◇雪氷・寒冷圏科学
生物圏科学	生物多様性科学，生態遺伝学，環境分子生物学・微生物生態学， 植物生態学，動物生態学，海洋生物生産環境学，水圏環境生物学， 森林圏環境学，耕地圏環境学
環境物質科学	生体物質科学，ナノ環境材料，光電子科学，環境触媒化学

地球環境科学研究院 4部門・17分野

部門	分野
統合環境科学	地球温暖化評価，オゾン層破壊評価，環境修復，探索計測，広領域連携
地球圏科学	陸域環境ダイナミクス学，環境変動解析学，化学物質循環学， 大気海洋物理学，気候力学
環境生物科学	陸域生態学，生態保全学，生態遺伝学，環境分子生物学
物質機能科学	生体物質科学，機能材料化学，分子材料化学



理学院・理学研究院・理学部

Graduate School of Science /
Faculty of Science / School of Science

自然がどのように創り上げられ，どのような作用をしているか，人間は絶えずそれを知りたい，理解したいという願望を抱いている。この願望に根ざして築き上げられてきた学問を理学院・理学研究院・理学部は担い，以下の人材を育成することを教育目標とする。

1. 事象の本質を見極め，またその背後にある法則性を確立できる人材の育成。（アイディアを普遍的な問題として理論化し，実証していく能力を養成する。物事をモデル化してとらえることができ，それを論理的かつ感覚的に表現できる能力を養成する。）
2. 学問研究の成果を論理的に表現して他人を論理的に説得し，リーダーシップをとって社会貢献できる人材の育成。

理学院 4専攻・10講座

専攻	講座
数学	数学
物性物理学	量子機能物理学，凝縮系物理学
宇宙物理学	素粒子・原子核・宇宙物理学，宇宙惑星科学
自然史科学	地球惑星ダイナミクス，地球惑星システム科学，多様性生物学， 科学コミュニケーション，地震学火山学

理学研究院 5部門・13分野，2附属施設

部門	分野
数学	数学
化学	物理化学，無機・分析化学，有機・生命化学
物理学	量子物理学，電子物性物理学，凝縮系物理学，非線形物理学
自然史科学	宇宙惑星科学，地球惑星ダイナミクス，地球惑星システム科学， 多様性生物学
生物科学	生物科学

附属施設
地震火山研究観測センター
ゲノムダイナミクス研究センター

理学部 5学科・6学科目

学科	学科目
数学科	数学
物理学科	物理学
化学科	化学
生物科学科	生物学，高分子機能学
地球科学科	地球科学



○は協力講座，※は寄附講座・寄附分野，◇は連携講座，〔 〕は連携分野を示す。

薬学研究院・薬学部

Faculty of Pharmaceutical Sciences /
School of Pharmaceutical Sciences and Pharmacy

「画期的医薬品の創製と適正な臨床適用」に向けて有為な人材（研究者や指導的薬剤師）の養成をめざす。そのために基礎薬学，生命科学，創薬科学，並びに医療薬学から成るファーマサイエンスに関する教育と研究を展開している。



■薬学研究院 2部門・3分野・3寄附分野

部 門	分 野
創薬科学	生体機能科学，創薬化学，※神経病理・病態生化学（IBL），※生体情報科学（HSS・北海道和光純薬）
医療薬学	医療薬学，※医薬品リスク管理学（アインファーマシーズ）

■薬学部 2学科・2学科目，1附属施設

学 科	学 科 目
薬科学科	薬科学
薬学科	薬学

附属施設
薬用植物園

農学院・農学研究院・農学部

Graduate School of Agriculture /
Research Faculty of Agriculture / Faculty of Agriculture

地球レベルで存在する多様な人類課題へ対応する新たな農学体系の創設と再構築を目指した研究を行うとともに，人類が持続的に生存するために必要な緊急課題解決までの全領域をカバーする教育体制を整備し，地域的並びに世界的視点からの判断能力を有する研究者及び高度専門職業人を養成する。



■農学院 4専攻・15講座

専 攻	講 座
共生基盤学	共生農業資源経済学，食品安全・機能性開発学，バイオマス転換学，生物共生科学
生物資源科学	応用分子生物学，植物育種科学，作物生産生物学，家畜生産生物学
応用生物科学	食資源科学，生命分子化学
環境資源学	生物生態・体系学，地域環境学，森林資源科学，森林・緑地管理学，生物生産工学

■農学研究院 3部門・15分野・1寄附分野

部 門	分 野
生物資源生産学	作物生産生物学，園芸緑地学，家畜生産学，畜産資源開発学，生物生産工学，農業経済学
環境資源学	生物生態・体系学，地域環境学，森林資源科学，森林管理保全学
応用生命科学	育種工学，応用分子生物学，生命有機化学，分子生命科学，食品科学，※微生物新機能開発学

■農学部 7学科・7学科目

学 科	学 科 目
生物資源科学科	生物資源科学
応用生命科学科	応用生命科学
生物機能化学科	生物機能化学
森林科学科	森林科学
畜産科学科	畜産科学
農業工学科	農業工学
農業経済学科	農業経済学

生命科学院

Graduate School of Life Science

ヒトゲノムを含めて，多くの生物の遺伝情報を利用した基礎及び応用研究が飛躍的に進展している生命科学分野において，我が国のさらなる発展に貢献できる優れた人材の養成をめざし，新しい試みを導入した教育システムによる大学院教育を展開している。



■生命科学院 1専攻・3コース

専 攻	コ ー ス
生命科学	生命融合科学，生命システム科学，生命医薬科学

○は協力講座，※は寄附講座・寄附分野，◇は連携講座，〔 〕は連携分野を示す。

先端生命科学研究院

Faculty of Advanced Life Science



生命科学は基礎領域から応用領域に至る，多彩な研究分野を含む大きな科学である。関連分野（生物学，物理学，化学，医学，薬科学）の専門研究者たちが集まり，新しい生命融合科学の創成を行う。同時に，附属次世代ポストゲノム研究センターでは，研究成果を社会に結びつける展開型研究を企業等との連携のもとに進めている。これらの研究教育活動を通して次世代の科学者の育成を行う。

■先端生命科学研究院 2部門・13分野・2寄附分野，1附属施設

部 門	分 野
先端融合科学研究	X線構造生物学，生命分子科学，ソフト&ウェットマターの科学，組織構築科学，細胞ダイナミクス科学，新薬探索研究，化学生物学，※糖鎖機能解析分野（住友ベークライト），※健康状態の定量化（フィールファイン）分野
生命機能科学研究	細胞生物科学，分子細胞生物学，生物情報解析科学研究，細胞機能科学，糖鎖生物学，発生工学
附属施設	
次世代ポストゲノム研究センター	

大学院・学部

教育学院・教育学研究院・教育学部

Graduate School of Education / Faculty of Education / School of Education



新しい教育像のグランド・デザインの構築，多様な教育問題の解決をめざす基礎的および実践的な研究を推し進めていくことができる研究者の育成ならびに高度な知識とスキルを有する職業人の育成を目的とし，学部は，豊かな人間性を備え国際的な視野に立った，教育課題に的確に対応しうる人間を育成することを目的とする。

■教育学院 1専攻・5講座

専 攻	講 座
教育学	健康スポーツ教育論，発達教育臨床論，学校システム開発論，教育社会計画論，国際多元文化教育論

■教育学研究院 1部門・2分野，1附属施設

部 門	分 野
教育学	人間発達科学，教育社会発展論

附属施設
子ども発達臨床研究センター

■教育学部 1学科・4学科目

学 科	学 科 目
教育学科	教育社会科学，教育基礎論，教育心理学，健康体育学

国際広報メディア・観光学院・メディア・コミュニケーション研究院

Graduate School of International Media, Communication, and Tourism Studies / Research Faculty of Media and Communication



広報・ジャーナリズム，メディア文化，言語コミュニケーション及び観光創造に関する分野において，現代社会の変化と課題に柔軟かつ的確に対応でき，地域社会及び国際社会において活躍できる専門的能力を備えた研究者，職業人の養成を目指している。

■国際広報メディア・観光学院 2専攻・10講座・1寄附講座・1連携講座

専 攻	講 座
国際広報メディア	公共伝達論，ジャーナリズム論，国際広報論，メディア文化論，マルチメディア表現論，言語伝達論，言語習得論，日本語論，◇国際広報戦略論
観光創造	観光創造論，国際地域文化論，※観光地域マネジメント論

■メディア・コミュニケーション研究院 1部門・9分野・1連携分野

部 門	分 野
メディア・コミュニケーション	公共伝達論，ジャーナリズム論，国際広報論，メディア文化論，マルチメディア表現論，言語伝達論，言語習得論，国際地域文化論，多元文化教育論，〔国際広報戦略論〕

○は協力講座，※は寄附講座・寄附分野，◇は連携講座，〔 〕は連携分野を示す。

保健科学院・保健科学研究所

Graduate School of Health Sciences / Faculty of Health Sciences



高度医療への社会的ニーズに応えるため、最先端の知識と実践技術を有し、次世代の保健科学を担う高度医療専門職の育成、及び専門分野を越えて世界の保健科学研究をリードする研究者の育成を目的とする。同時に、地域の医療水準の向上、健康増進に寄与するとともに、我が国の保健科学領域の高等教育及び学術研究水準の向上と発展を目指している。

■保健科学院 1専攻・2コース

専攻	コース
保健科学	保健科学，看護学

■保健科学研究所 1部門・6分野・2寄附分野

部門	分野
保健科学	基盤看護学，創成看護学，医用生体理工学，病態解析学，機能回復学，生活機能学，※脳機能画像学，※食品機能解析・保健栄養学（渡辺オイスター）

工学院・工学研究院・工学部

Graduate School of Engineering / Faculty of Engineering / School of Engineering



学問の継承及び創造を通じて、工学分野の基礎的素養及び高度な専門的素養を身に付けた、国際化、科学技術の高度化、学際化等に対応できる多様な知識、判断力及び実務対応能力を持つ人材の育成を目的とする。

■工学院 12専攻・29講座・6連携講座

専攻	講座
応用物理学	量子物性工学，凝縮系物理学，光波動量子物理学，固体量子物理学
材料科学	エコマテリアル，マテリアル設計，エネルギー材料，エネルギー変換マテリアル，◇マテリアル製造，◇フロンティアエネルギー工学
機械宇宙工学	宇宙システム工学，機械フロンティア工学，◇宇宙探査工学
人間機械システムデザイン	バイオ・ロボティクス，マイクロシステム，◇バイオメディカルシミュレーション
エネルギー環境システム	エネルギー生産・環境システム，応用エネルギーシステム
量子理工学	応用量子ビーム工学，プラズマ理工学，ナノ材料科学，◇中性子マテリアル解析，◇核融合科学
環境フィールド工学	水圏環境工学，防災地盤工学
北方圏環境政策工学	寒冷地建設工学，技術環境政策学
建築都市空間デザイン	空間防災，空間計画
空間性能システム	空間性能，空間システム
環境創生工学	水代謝システム，環境管理工学
環境循環システム	資源循環工学，地圏循環工学

■工学研究院 15部門・33分野・2寄附分野，1附属施設

部門	分野
応用物理学	量子物性工学，凝縮系物理学，光波動量子物理学，固体量子物理学
有機プロセス工学	有機工業化学，化学工学
生物機能高分子	生物工学，分子機能化学
物質化学	機能材料化学，無機材料化学
材料科学	エコマテリアル，マテリアル設計，エネルギー材料
機械宇宙工学	宇宙システム工学，機械フロンティア工学
人間機械システムデザイン	バイオ・ロボティクス，マイクロシステム
エネルギー環境システム	エネルギー生産・環境システム，応用エネルギーシステム
量子理工学	応用量子ビーム工学，プラズマ理工学
環境フィールド工学	水圏環境工学，防災地盤工学
北方圏環境政策工学	寒冷地建設工学，技術環境政策学，※寒冷地河川工学
建築都市空間デザイン	空間防災，空間計画
空間性能システム	空間性能，空間システム
環境創生工学	水代謝システム，環境管理工学，※バイオウエイストマネジメント工学
環境循環システム	資源循環工学，地圏循環工学

附属施設

エネルギー・マテリアル融合領域研究センター

■工学部 4学科・16コース

学科	コース
応用理工系学科	応用物理工学，応用化学，応用マテリアル工学
情報エレクトロニクス学科	情報工学，コンピュータサイエンス，電子情報，生体情報，メディアネットワーク，システム情報
機械知能工学科	機械情報，機械システム
環境社会工学科	シビルエンジニアリング，国土政策学，建築都市，衛生環境工学，資源循環システム

○は協力講座、※は寄附講座・寄附分野、◇は連携講座、〔 〕は連携分野を示す。

総合化学院

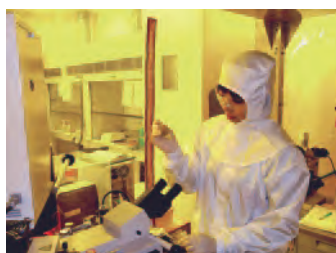
Graduate School of Chemical Sciences and Engineering



社会の要請に柔軟に対応することが可能な技術者や研究者の育成を目指し、基盤的化学の確実な理解のための共通教育と、企業での技術者・研究者、公的機関の研究者、さらには大学などの教育者など、学生の求めるキャリアパスに応じた展開的教育を理・工に所属する教員が相補的に連携しながら行い、社会の要請に応える人材を養成する。

■総合化学院 1専攻・3コース（12講座）

専攻	コース・講座
総合化学	分子化学（反応解析学、反応制御学、触媒反応学、プロセス工学）
	物質化学（分子物質化学、無機物質化学、先端物質化学、機能物質化学）
	生物化学（生命分子化学、生物機能化学、細胞生物学、分子医化学）



公共政策学教育部・公共政策学連携研究部

Graduate School of Public Policy / Faculty of Public Policy



政策の担い手が飛躍的に増大する時代に対応して、多様な人材を育成する。その特徴は第一に、定評あるトップレベルの教授陣による徹底した少人数教育、そして第二に、3つのクロスオーバーという新しい大学院の理念である。

国と地方の公務員はもちろん、民間企業やシンクタンク、非営利団体等における政策プロフェッショナルへの道を拓く。

■公共政策学教育部 1専攻・3コース

専攻	コース
公共政策学	公共経営、国際政策、技術政策

■公共政策学連携研究部 1部門・1分野、1附属施設

部門	分野
公共政策学	公共政策学

附属施設

公共政策学研究センター

合 計

研究科・専攻・講座、附属施設

7研究科 18専攻・65講座・9協力講座・10寄附講座・7連携講座、3附属施設

学院・専攻・講座

10学院 32専攻・93講座・1寄附講座・8連携講座・27コース

教育部・専攻・コース

1教育部 1専攻・3コース

研究院・部門・分野、附属施設

10研究院 36部門・123分野・11寄附分野・1連携分野、5附属施設

連携研究部・部門・分野、附属施設

1連携研究部 1部門・1分野、1附属施設

学部・学科・課程・学科目、附属施設

12学部 30学科・1課程・76学科目、16コース、4附属施設

低温科学研究所 (共同利用・共同研究拠点) Institute of Low Temperature Science

設置目的

寒冷圏及び低温条件の下における科学的現象に関する学理及びその応用の研究を行い、かつ、国立大学の教員及びその他の者で本研究所の目的たる研究と同一の研究に従事するものに利用させることを目的とする。

共同研究推進部

研究部門	研究分野
水・物質循環	海洋・海水動態, 大気海洋相互作用, 雲科学, 大気環境, 大気陸面相互作用, 水文気象
雪氷新領域	氷河・氷床, 相転移ダイナミクス, 宇宙雪氷学, 宇宙物質科学, 理論惑星科学
生物環境	寒冷域植物生理生態, 生物適応, 微生物生態学, 生物多様性, 生物分子機構

附属施設	研究分野
環オホーツク観測研究センター	環オホーツク海域変動予測, 環オホーツク陸域変動予測, 環オホーツク大気変動予測



低温科学研究所



スイス氷河実習

電子科学研究所 (共同利用・共同研究拠点) Research Institute for Electronic Science

設置目的

電子科学に関する学理及びその応用の研究を行う。

研究部門	研究分野
電子材料物性	光電子物性, 量子情報フォトンクス, 有機電子材料, コヒーレントX線光学
電子機能素子	量子機能素子, 光波制御材料, 細胞機能素子
電子計測制御	光システム計測, 生体物理, 分子生命数理, ナノシステム生理学
電子情報処理	情報数理, 神経情報, スマート分子, 計算論的生命科学, 並列分散処理(客員)
連携研究部門	理研連携研究分野

附属施設	研究分野
ナノテクノロジー研究センター	極限フォトンプロセス, バイオ分子ナノデバイス, ナノ光高機能材料

※ニコンバイオイメージングセンター



電子科学研究所

遺伝子病制御 研究所 (共同利用・共同研究拠点) Institute for Genetic Medicine

設置目的

遺伝子病の制御に関する学理及びその応用の研究を行う。

研究部門	研究分野
病 因	癌ウイルス, 癌関連遺伝子, 分子生体防御, 分子免疫
病 態	癌生物, 感染病態, 分子腫瘍, 免疫生物
疾患制御	疾患モデル創成, 免疫制御, 分子間情報

附属施設
動物実験施設
感染癌研究センター

※マトリックスメディスン

※ROYCE' 健康バイオ



遺伝子病制御研究所



実験の様子

触媒化学研究センター

(共同利用・共同研究拠点)
Catalysis Research Center

設置目的

触媒化学に関する研究を行い、かつ、国立大学の教員その他の者でこの分野の研究に従事するものの利用に供する。

研究部門	研究クラスター
触媒基礎研究部	サステナブル触媒
	不斉反応場
	構造制御表面反応場
	結晶機能化
	エネルギー変換場
	バイオインターフェース
	分子集積反応場
	秩序構造反応場
	触媒ターゲット研究アセンブリ



触媒化学研究センター



スラブ研究センター

(共同利用・共同研究拠点)
Slavic Research Center

設置目的

スラブ地域(旧ソ連・東欧地域)に関する総合的な研究を行い、かつ、国立大学の教員その他の者でこの分野の研究に従事するものの利用に供する。

研究部門
ロシア
シベリア・極東
中央ユーラシア
東欧
地域比較



スラブ研究センター

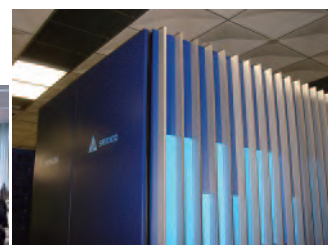
情報基盤センター

(共同利用・共同研究拠点)
Information Initiative Center

設置目的

情報化を推進するための研究開発並びに情報基盤の整備及び運用を行い、教育研究等の高度化を推進すると共に、情報メディアを活用した教育の実施及び支援を行うことを目的とする。

研究部門
大規模計算システム
情報ネットワーク
デジタルコンテンツ
メディア教育



超高速科学技術計算用
スーパーコンピュータ
システム

総合博物館

The Hokkaido University Museum

平成22年 4 月 1 日現在

(学内共同教育研究施設)

設置目的

学術標本の収蔵、展示、公開等及び学術標本に関する教育研究の支援並びにこれに関する研究を行う。本学の教育研究の成果を一般に公開することにより地域社会への教育普及に寄与する。

札幌農学校の開校以来130年以上にわたる研究の成果として、400万点にも及ぶ貴重な学術標本を所蔵し、その中には新種として記載した1万1千点のタイプ(基準)標本を含む。併設されている「ミュージアムショップ」では、特筆すべき収蔵品である絶滅哺乳類のデスモスティルス(Deinotherium)を題材にした商品など多彩なオリジナルグッズを取り扱う。

開館時間〔夏期(6月-10月)〕 9:30-16:30

〔冬期(11月-5月)〕 10:00-16:00

休館日 月曜(月曜が祝日の場合は連休明けの平日が休館)



ニッポノサウルスとデスモスティルス



ミュージアムショップ

施設名	設置目的
アイソトープ総合センター Central Institute of Radioisotope Science	アイソトープ及び放射線に関する教育・研究を推進するとともに、全学の放射線管理の中心的役割を担う。また、アイソトープ及びアイソトープを利用した研究のための共同利用施設、アイソトープの取り扱いに関する教育訓練施設でもある。
留学生センター International Student Center	外国人留学生に対する日本語教育及び修学・異文化適応上の指導等を行い、外国人留学生に対する教育指導の充実発展に資する。また短期留学プログラムを推進するとともに、日本人学生の海外派遣の支援を行う。
高等教育機能開発総合センター Center for Research and Development in Higher Education	全学教育科目の教育の実施に関する企画・調整、高等教育の在り方に関する研究、生涯学習計画に関する研究、入学者選抜に関する総合的な研究及び科学技術コミュニケーション教育に関する研究等を行う。このため、「全学教育部」、「高等教育開発研究部」、「生涯学習計画研究部」、「入学者選抜研究部」及び「科学技術コミュニケーション教育研究部」が設置されている。
量子集積エレクトロニクス研究センター Research Center for Integrated Quantum Electronics	量子力学を原理とする新しい量子集積エレクトロニクスを創出し、大規模情報・通信集積システムやナノテクノロジー発展のキーとなる超微細電子システム及び新機能光システムに関する研究を行うとともに、当該研究について民間機関等との共同研究を行う。
北方生物圏フィールド科学センター Field Science Center for Northern Biosphere	北方生物圏におけるフィールドを基盤として総合的な研究を行うとともに、多面的な教育研究及び学習に対するフィールド及び施設の提供並びにそれらの支援を行う。
ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー (知識メディア・ラボラトリー) Meme Media Laboratory	知識メディア技術を基盤とし、「知識の流通と再編」のための新しい情報メディア技術の研究開発プログラムを推進し、新しい産業基盤、特にベンチャー・ビジネスのシーズとなるような高度基盤技術を育てる。
脳科学研究教育センター Research and Education Center for Brain Science	複雑で多様の機能をもち、生涯にわたり健康を維持する脳の発達過程と自然及び社会環境との関係を明らかにするために、自然科学と人文科学を融合し、新しい研究領域と人材を育成する。
人獣共通感染症リサーチセンター (共同利用・共同研究拠点) Research Center for Zoonosis Control	人獣共通感染症の制圧に向けた研究、予防・治療法の開発と実用化、情報と技術の社会普及、人獣共通感染症対策専門家の養成を行うとともに、国内外の研究者との交流及び連携の促進を図り、人獣共通感染症の予防と制圧に資する。
大学文書館 Hokkaido University Archives	本学の保存期間が満了した法人文書及び本学の歴史に係る各種資料の収集、整理、保存、調査研究等を行い、これらを閲覧、公開する。
観光学高等研究センター Center for Advanced Tourism Studies	観光創造に関する総合的かつ先端的研究の実施、共同研究の推進、研究機関・研究者ネットワークの構築、資料収集と情報発信、産学連携・社会連携の推進によって、地域活性化の創出、成熟社会の実現、世界平和の創出などに貢献する。

施設名	設置目的
外国語教育センター Center for Language Learning	全学等における外国語教育の企画・調整及び実施することを通じて、 本学の建学の理念である「国際性の涵養」の実践に向けてさらなる向上 を目指し、国際的に活躍できる人材を育成する。
アイヌ・先住民研究センター Center for Ainu and Indigenous Studies	アイヌ・先住少数民族との協同を基本として、アイヌ・先住少数民族 に関する学際的で高度な研究教育を行うとともに、アイヌをはじめと する先住少数民族文化の発展に寄与する。
社会科学実験研究センター Center for Experimental Research in Social Sciences	社会科学実験に関する研究を行うとともに、社会科学実験分野におけ る人材の育成、研究成果の国内外への発信、及び国内外の研究拠点と の連携の強化を促進することにより、社会科学実験に関する教育研究 の発展に資する。
情報法政策学研究センター Research Institute for Information Law and Policy	知的財産を中心としつつ、情報に関わる法制度に関して、その政策形成 過程にも着目しながら、望ましい制度像を探索する学問領域の構築を 目指すとともに、その成果を国内外に発信していく。
環境ナノ・バイオ工学研究センター Research Center for Environmental Nano and Bio Engineering	水資源及び廃棄物の有効利用に関する環境工学とナノ・バイオ技術の 融合による研究を行うとともに、当該研究の成果の国内外への発信、 国内外の研究拠点との連携強化の促進、及び人材の育成を行い、もっ て持続可能な社会の構築に資する。
数学連携研究センター Research Center for Integrative Mathematics	21世紀COEプログラム「特異性から見た非線形構造の数学」の成果を踏 まえ、他の研究分野における数学的問題を探索し、解決するために、 深化し続ける数学を共通の合意言語として形成し、科学の諸領域に おける「つながる知」の中核としての機能を担う。
サステナビリティ学教育研究センター Center for Sustainability Science	俯瞰的な視野と独創力に富み、人類の生存基盤の安定と持続的な社会 の構築に資する人材の育成を図る。
トポロジー理工学教育研究センター Center of Education and Research for Topological Science and Technology	トポロジー理工学の基礎から応用までの研究を行うとともに、当該研 究の成果の国内外への発信、国内外の研究拠点との連携強化の促進、 及び人材の育成を行い、もってトポロジーを基点とした学術研究の発 展及びトポロジーの理工学的应用に資する。
環境健康科学研究教育センター Center for Environmental and Health Sciences	環境健康科学に関する大規模事業を実施するとともに、環境健康科学 に関する基礎研究及び応用研究、当該研究の成果の国内外への発信、 国内外の研究拠点との連携強化の促進、並びに多様化する環境問題に 取り組む広い視野を備えた人材の育成を行い、もって環境健康科学に 関する研究領域を確立し、及び発展させることを目的とする。
保健センター Health Care Center	学生・職員の健康の保持増進を図るため保健衛生に関する専門的業務 を行う。
環境保全センター Environmental Preservation Center	全学の化学物質管理, 実験廃液処理・大学排水管理及び環境管理を行う。

附属図書館

University Library

北方関係資料等のユニークなコレクションを含む、約370万冊の蔵書を有する国内有数の学術図書館である。電子的資料の収集・提供、機関リポジトリ構築に努め、学術コミュニケーションの向上を図っている。また、閲覧席数は約1,200を数え、学習の場としても重要な役割を担っている。



蔵書数 平成22年 3月31日現在

部局	区分	和 書	洋 書	合 計	雑 誌	備 考
附 属 図 書 館		909,432冊	736,762冊	1,646,194冊	30,597種	
北 図 書 館		224,443	103,241	327,684	2,046	
小 計		1,133,875	840,003	1,973,878	32,643	
(参考)						
文 学 研 究 科 ・ 文 学 部		182,027	125,323	307,350	5,267	
法 学 研 究 科 ・ 法 学 部		7,756	3,003	10,759	1,228	
経 済 学 研 究 科 ・ 経 済 学 部		13,254	8,013	21,267	1,519	
医 学 研 究 科 ・ 医 学 部		75,132	119,331	194,463	5,822	病院, アイソトープ総合センターを含む。
歯 学 研 究 科 ・ 歯 学 部		23,424	20,787	44,211	1,266	
工 学 研 究 科 ・ 工 学 部		140,323	133,700	274,023	5,250	
獣 医 学 研 究 科 ・ 獣 医 学 部		10,798	26,292	37,090	1,490	
情 報 科 学 研 究 科		4,030	4,006	8,036	583	量子集積エレクトロニクス研究センターを含む。
水産科学研究院・水産学部		78,244	55,220	133,464	5,181	
地 球 環 境 科 学 研 究 院		9,504	8,744	18,248	584	
理 学 研 究 院 ・ 理 学 部		40,739	169,473	210,212	4,119	
薬 学 研 究 院 ・ 薬 学 部		6,028	4,697	10,725	286	
農 学 研 究 院 ・ 農 学 部		136,216	104,328	240,544	7,496	
先端生命科学研究院		24	53	77	27	
教育学研究院・教育学部		31,324	8,522	39,846	2,219	
メディア・コミュニケーション研究院		10,049	18,210	28,259	361	
保健科学研究院・保健科学院		34,153	4,687	38,840	920	
公共政策学連携研究部		4	0	4	1	
低 温 科 学 研 究 所		11,441	25,020	36,461	1,687	
電 子 科 学 研 究 所		2,412	5,457	7,869	81	
遺 伝 子 病 制 御 研 究 所		700	706	1,406	64	
触媒化学研究センター		3,152	11,981	15,133	448	
ス ラ プ 研 究 セ ン タ ー		2,043	89,671	91,714	1,562	
情 報 基 盤 セ ン タ ー		0	0	0	58	
留 学 生 セ ン タ ー		0	0	0	0	
高等教育機能開発総合センター		4,280	1,037	5,317	183	
総 合 博 物 館		5,074	2,307	7,381	629	
北方生物圏フィールド科学センター		5,370	1,498	6,868	81	
創 成 研 究 機 構		0	0	0	19	
大 学 文 書 館		354	1	355	0	
アイヌ・先住民研究センター		896	29	925	9	
小 計		838,751	952,096	1,790,847	48,440	
合 計		1,972,626	1,792,099	3,764,725	81,083	

利用状況 (平成21年度)

入館者総数	(附属図書館)	483,566人
	(北 図 書 館)	565,074人
貸出者数	(附属図書館)	82,788人
	(北 図 書 館)	76,085人
貸出冊数	(附属図書館)	180,116冊
	(北 図 書 館)	177,027冊
文献複写 依頼 受付		2,063件 4,978件
図書館間相互利用 借受 貸出		725冊 1,710冊
閲覧座席数	(附属図書館)	652席
	(北 図 書 館)	554席

開館時間 (平成22年度)

	平 日	土・日・祝日
開架閲覧室	9:00~22:00	9:30~19:00
書庫	9:00~20:00	10:00~18:30
貸出・更新	9:00~21:50	9:30~18:50
グループ学習室	9:00~21:30	9:30~18:30
参考閲覧室・北方資料室・ 相互利用サービス	9:00~17:00	閉 室
(北図書館) 閲覧室	9:00~21:30	9:30~18:30
(北図書館) マルチメディア室	9:00~21:30	9:30~19:00

※学生の休業期間中と3月は利用時間が変更になります。

- 休館日
- 大学祭期間中の土日 (6月5日~6日) - 北図書館のみ
 - 全学停電 (9月12日)
 - 年末年始 (12月28日~1月3日)
 - 大学入試センター試験日 (1月15日~16日)

■北海道大学病院 (医科)

Hokkaido University Hospital

診療科	病床数 (床)	診療状況 (平成21年度実績)	
		外来患者数 (人)	入院患者数 (人)
第一内科	44床	30,010人	19,943人
第二内科	48	47,930	18,982
第三内科	44	45,578	22,603
循環器内科	32	20,018	11,083
血液内科	4	4,444	5,453
腫瘍内科	5	3,147	4,543
第一外科	40	17,963	17,645
第二外科	28	5,665	13,267
循環器外科	18	4,834	8,535
整形外科	48	30,633	18,358
泌尿器科	32	21,897	12,128
麻酔科	2	12,372	43
形成外科	25	8,488	7,746
スポーツ医学診療科	6	3,400	1,875
小児外科	6	2,019	1,105
救急科	6	1,444	4,415
神経内科	16	17,041	8,320
眼科	32	35,220	10,747
耳鼻咽喉科	32	19,631	13,574
皮膚科	22	23,336	9,295
精神神経科	72	47,996	23,726
神経外科	32	11,452	13,417
リハビリテーション科	30	38,135	4,212
産科	42	12,320	13,357
婦人科	30	27,507	13,396
小児科	40	17,714	11,813
放射線治療科	17	63,922	6,378
放射線診断科	1		
核医学診療科	6	6,737	1,883
集中治療室 (ICU)	10	-	(3,448)
新生児集中治療室 (NICU)	9	-	(2,472)
高度無菌室	5	-	(1,510)
共通病床	126	-	-
合計	910	580,853	297,842

() 内は各診療科入院患者数の内数

(歯科)

診療科	病床数 (床)	診療状況 (平成21年度実績)	
		外来患者数 (人)	入院患者数 (人)
保存系歯科	26床	52,455人	7,925人
咬合系歯科		60,444	
口腔系歯科		37,507	
高次口腔医療センター		19,409	
口腔総合治療部		2,157	
合計	26	171,972	7,925

(医科歯科総計)

	病床数 (床)	診療状況 (平成21年度実績)	
		外来患者数 (人)	入院患者数 (人)
総計	936	752,825	305,767

※承認病床数は946床



北海道大学病院



北海道大学病院ロビー



歯科診療センター

職員数

平成22年 5 月 1 日現在

部 局 等	職 種	総長	理事	監事	小計	教授	准教授	講師	助教	助 手	小 計	専門職	事務職員	技術職員	合 計
役 員		1人	7人	2人	10人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	10人
副理事													1		1
監査室													4		4
事務局	総務部												55	2	57
	企画部												28	14	42
	財務部												72		72
	学務部												55		55
	学術国際部												40		40
	施設部												15	24	39
附属図書館													87		87
文学研究科・文学部						54	40		15		109		13	2	124
法学研究科・法学部						34	15		12	5	66		19		85
経済学研究科・経済学部						21	19		2	1	43	1	9		53
医学研究科・医学部						43	25	14	59	3	144		1	14	159
医学系事務部													37	2	39
歯学研究科・歯学部						19	18	1	53		91		11	5	107
獣医学研究科・獣医学部						17	15	1	13		46		12	3	61
情報科学研究科						39	39		20		98				98
水産科学院・水産科学研究院・水産学部						34	36	1	13		84			39	123
函館キャンパス事務部													21	4	25
環境科学院・地球環境科学研究院						21	26		10	1	58				58
環境科学事務部													9		9
理学院・理学研究院・理学部						78	66	10	40	2	196			25	221
理学・生命科学事務部													38	2	40
薬学研究院・薬学部						15	9	4	27		55			3	58
薬学事務部													10		10
農学院・農学研究院・農学部						49	39	8	33		129			11	140
農学事務部													22	2	24
生命科学院・先端生命科学研究院						13	6		10		29				29
教育学院・教育学研究院・教育学部						18	14		7	2	41				41
教育学事務部													8		8
国際広報メディア・観光学院・メディア・コミュニケーション研究院						29	26		2		57				57
メディア・観光学事務部													7		7
保健科学院・保健科学研究院						29	14	5	23	1	72				72
工学院・工学研究院・工学部						102	87	4	77	1	271			40	311
工学系事務部													63	5	68
総合化学院															0
公共政策学教育部・公共政策学連携研究部						14	6				20				20
北海道大学病院						4	18	57	81		160		106	668	934
低温科学研究所						15	12	2	17		46		8	10	64
電子科学研究所						17	11	1	20		49			10	59
遺伝子病制御研究所						10	11		10		31			7	38
触媒化学研究センター						7	7		6		20			6	26
スラブ研究センター						9	3		1	2	15				15
情報基盤センター						6	5		2		13				13
アイソトープ総合センター						1			1		2			2	4
留学生センター						2	6	1			9				9
高等教育機能開発総合センター						5	4				9				9
総合博物館						3	3		2		8				8
量子集積エレクトロニクス研究センター						3	3		1		7				7
北方生物圏フィールド科学センター						15	12		15		42		20	79	141
ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー															0
脳科学研究教育センター															0
人獣共通感染症リサーチセンター						5	3	2	1		11				11
大学文書館									1		1			1	2
観光学高等研究センター						2	2				4				4
外国語教育センター															0
アイヌ・先住民研究センター						1	1		1		3				3
社会科学実験研究センター									1		1				1
情報法政策学研究センター															0
環境ナノ・バイオ工学研究センター															0
数学連携研究センター															0
サステナビリティ学教育研究センター						1					1				1
トポロジー理工学教育研究センター															0
環境健康科学研究教育センター															0
保健センター						1	1	1			3			9	12
環境保全センター															0
産学連携本部						1					1				1
アドミッションセンター															0
人材育成本部															0
創成研究機構							2				2	1		4	7
北キャンパス合同事務部													17	2	19
合 計		1	7	2	10	737	604	112	576	18	2,047	2	788	995	3,842

学生数統計

平成22年 5 月 1 日現在

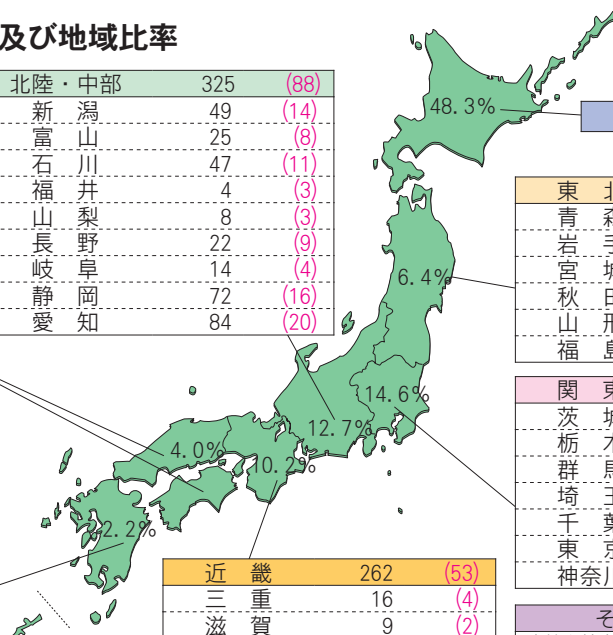
■平成22年度入学者の都道府県分布及び地域比率

入学者総数 2,570人
(うち女子712人)

中国・四国	103	(22)
鳥取	7	(2)
島根	1	(0)
岡山	20	(6)
広島	27	(8)
山口	0	(0)
徳島	11	(1)
香川	15	(2)
愛媛	19	(2)
高知	3	(1)

九州・沖縄	56	(17)
福岡	25	(11)
佐賀	6	(1)
長崎	5	(2)
熊本	2	(0)
大分	3	(0)
宮崎	0	(0)
鹿児島	7	(1)
沖縄	8	(2)

北陸・中部	325	(88)
新潟	49	(14)
富山	25	(8)
石川	47	(11)
福井	4	(3)
山梨	8	(3)
長野	22	(9)
岐阜	14	(4)
静岡	72	(16)
愛知	84	(20)



東北	165	(47)
青森	42	(12)
岩手	21	(6)
宮城	46	(13)
秋田	23	(7)
山形	9	(2)
福島	24	(7)

関東	376	(94)
茨城	35	(15)
栃木	31	(8)
群馬	40	(7)
埼玉	61	(12)
千葉	30	(6)
東京	106	(30)
神奈川	73	(16)

その他	41	(14)
高等学校卒業程度認定試験	12	(3)
帰国子女	8	(5)
外国人留学生	21	(6)

(注) () 内は女子の内数 (赤字で表記)。

入学支援

■ アドミッションセンター



進学相談会 in 東京・大阪・名古屋



オープンキャンパス

Admission Center

入学者選抜に関する様々な業務を通じて、選抜方法の改善及び選抜の円滑な実施を推進することを目的として設置された運営組織で、総務部門、出題・採点部門、広報・相談部門の3つの部門から構成されています。

就職支援

■ キャリアセンター



キャリアセンター入口



企業研究セミナー

Career Center

「学生一人ひとりのキャリアをサポートしています」
1年生から4年生・大学院生・留学生を含めたすべての学生が対象です。
○就職相談 ○就職情報の収集
○OB・OG名簿の閲覧 ○就職ガイダンス・セミナーの実施
○公務員ガイダンス・セミナーの実施
○教員ガイダンスの実施 ○インターンシップ支援

■開室時間：8:30～18:00 (土・日・祝日を除く)

人材育成

■ 人材育成本部



赤い糸会での意見交換



理系応援キャラバン隊による出前実験

Front Office for Human Resource Education and Development

博士後期課程におけるキャリア教育をはじめ研究生やポストドクター研究員のキャリアデザインの支援及び女性研究者ならびに研究者を志向する女子学生の支援活動を行います。

○上級人材育成ステーションの活動

【S-cubic】

- ・情報交換Webシステム (C-net)
- ・企業情報交換会 (赤い糸会)
- ・キャリアパス教育 (Advanced COSA)

【HoP-Station】

- ・キャリアマネジメントセミナー
- ・博士力実践インターンシップ
- ・キャリア形成パートナーシップ (緑の会)

○女性研究者支援室 (FResHU) の活動
・女性研究者ネットワークの構築
・女性研究者メンタリングシステムの構築
・女性研究者の環境整備
・女子中高生の理系進路選択支援 (理系応援キャラバン隊) 等

(注) 1 () 内は女子の内数, < > 内は女子の比率 (それぞれ赤字で表記)。
2 [] 内は2年次編入学定員で外数。
3 [] 内は3年次編入学定員で外数 (工学部は高専卒業者の受入れ)。
4 以下の表は, すべて外国人留学生数を含む。

学部

学部名	入学定員	在 籍 者 数							聴講生	履科修目生等	研究生	聴特講学生別	合 計
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計					
文学部	185人 [人] (10人)	200人	188人	211人	278人	一人	一人	877人 (444 (50.6%))	10人	12人	27人	26人	952人 (488 (51.3%))
教育学部	50 [10]	57	53	69	77	—	—	256 (144 (56.3))	3	22	10	3	294 (158 (53.7))
法学部	200 [10] [10]	213	215	226	298	—	—	952 (286 (30.0))		3		4	959 (290 (30.2))
経済学部	190	206	211	209	244	—	—	870 (237 (27.2))	2		25	9	906 (257 (28.4))
理学部	300	302	332	341	346	—	—	1,321 (278 (21.0))		2	2	1	1,326 (280 (21.1))
医学部	287 [5] (20)	306	299	312	328	98	99	1,442 (619 (42.9))			2		1,444 (620 (42.9))
歯学部	60	63	54	55	62	55	59	348 (140 (40.2))			4		352 (141 (40.1))
薬学部	80	90	93	79	86	30	—	378 (132 (34.9))			2		380 (133 (35.0))
工学部	670 [10]	681	727	745	856	—	—	3,009 (306 (10.2))		1	2	6	3,018 (308 (10.2))
農学部	215	248	218	242	236	—	—	944 (256 (27.1))	4			7	955 (262 (27.4))
獣医学部	40	42	41	43	49	43	43	261 (112 (42.9))					261 (112 (42.9))
水産学部	215	229	224	230	233	—	—	916 (252 (27.5))		1	2	5	924 (256 (27.7))
合 計	2,492 [15] (60)	2,637	2,655	2,762	3,093	226	201	11,574 (3,206 (27.7))	19	41	76	61	11,771 (3,305 (28.1))

研究所等

研 究 所 等 名	研 究 生	特別研究学生	日本語・日本文化 研 修 生	日本語研修生	合 計
低温科学研究所	1人	一人	一人	一人	1人 (0 < 0.0%))
電子科学研究所	2		—	—	2 (0 < 0.0))
ス ラ プ 研 究 セ ン タ ー	3		—	—	3 (1 < 33.3))
情 報 基 盤 セ ン タ ー	5		—	—	5 (1 < 20.0))
総 合 博 物 館	2		—	—	2 (0 < 0.0))
留 学 生 セ ン タ ー			15	11	26 (13 < 50.0))
観 光 学 高 等 研 究 セ ン タ ー	1		—	—	1 (0 < 0.0))
合 計	14	0	15	11	40 (15 < 37.5))

■ 大学院

(注) 法学研究科の専門職学位課程の上段は3年課程、下段は2年課程の学生数。

研究科名	修士課程（博士前期）				専門職学位課程				博士課程（博士後期及び博士一貫）					聴講生	科目等履修生	研究生	特別聴講学生	特別研究生	合計		
	入学定員	在籍者数			入学定員	在籍者数				入学定員	在籍者数										
		1年次	2年次	小計		1年次	2年次	3年次	小計		1年次	2年次	3年次							4年次	小計
文 研 学 科	118人	99人	108人	207人 (108(52.2%))	—人	—人	—人	—人	—人	50人	40人	25人	168人	—人	233人 (108(46.4%))	2人	1人	8人	451人 (221(49.0%))		
法 研 学 科	20	23	31	54 (23(42.6%))	80	34 51	35 53	40 —	213 (46(21.6%))	15	11	5	28	—	44 (11(25.0%))		1	10	333 (89(26.7%))		
経 済 学 科	30	35	29	64 (26(40.6%))	20	21	25	—	46 (13(28.3%))	15	7	9	23	—	39 (15(38.5%))		1	1	156 (57(36.5%))		
医 研 学 科	30	24	29	53 (32(60.4%))	—	—	—	—	—	100	96	85	88	165	434 (98(22.6%))			16	507 (135(26.6%))		
歯 研 学 科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	42	39	39	34	39	151 (51(33.8%))			15	166 (55(33.1%))		
薬 研 学 院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			1	1 (1(100.0%))		
獣 医 学 科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	24	24	22	21	26	93 (24(25.8%))			12	105 (29(27.6%))		
情報科学科	177	213	224	437 (29(6.6%))	—	—	—	—	—	42	57	49	64	—	170 (23(13.5%))			9	623 (53(8.5%))		
水 科 学 産 院	90	115	104	219 (59(26.9%))	—	—	—	—	—	35	28	23	46	—	97 (26(26.8%))				322 (91(28.3%))		
水 産 科 学 院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			3	3 (0(0.0%))		
水 産 科 学 科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	—	6 (0(0.0%))				6 (0(0.0%))		
環 境 科 学 院	159	112	147	259 (60(23.2%))	—	—	—	—	—	63	47	40	69	—	156 (48(30.8%))	1			418 (110(26.3%))		
地球環境科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			5	5 (0(0.0%))		
理 学 学 院	129	129	202	331 (49(14.8%))	—	—	—	—	—	56	56	64	80	—	200 (44(22.0%))	1			543 (94(17.3%))		
理 学 研 究 院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			5	5 (0(0.0%))		
理 学 研 究 科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	—	9 (1(11.1%))				9 (1(11.1%))		
農 学 学 院	150	189	154	343 (128(37.3%))	—	—	—	—	—	50	47	44	68	—	159 (47(29.6%))				503 (176(35.0%))		
農 研 学 院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			5	5 (1(20.0%))		
農 研 学 科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	—	7 (1(14.3%))				7 (1(14.3%))		
生 命 科 学 院	132	128	136	264 (103(39.0%))	—	—	—	—	—	50	47	39	43	—	129 (38(29.5%))				397 (144(36.3%))		
先端生命科学研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				0 (0(0.0%))		
教育学院	45	43	58	101 (62(61.4%))	—	—	—	—	—	21	16	20	25	—	61 (33(54.1%))		3		172 (104(60.5%))		
教 育 学 院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			1	1 (1(100.0%))		
教 育 学 科	—	—	2	2 (0(0.0%))	—	—	—	—	—	—	—	—	49	—	49 (26(53.1%))			1	52 (26(50.0%))		
国際広報メディア・観光学院	42	44	57	101 (65(64.4%))	—	—	—	—	—	17	13	16	20	—	49 (24(49.0%))				151 (90(59.6%))		
メディア・コミュニケーション研究院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			18	18 (12(66.7%))		
国際広報メディア研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	11	—	12 (9(75.0%))				12 (9(75.0%))		
保健科学院	26	36	35	71 (28(39.4%))	—	—	—	—	—	8	20	—	—	—	20 (9(45.0%))				91 (37(40.7%))		
保 健 科 学 研 究 院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			7	7 (2(28.6%))		
工 学 学 院	326	349	—	349 (29(8.3%))	—	—	—	—	—	69	36	—	—	—	36 (7(19.4%))	1			388 (37(9.5%))		
工 研 学 院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			11	11 (3(27.3%))		
工 研 学 科	—	18	436	454 (52(11.5%))	—	—	—	—	—	—	24	67	102	—	193 (19(9.8%))			1	650 (71(10.9%))		
総 合 学 院	129	144	—	144 (31(21.5%))	—	—	—	—	—	38	33	—	—	—	33 (3(9.1%))				181 (36(19.9%))		
公共政策学教育部	—	—	—	—	30	33	51	—	84 (20(23.8%))	—	—	—	—	—	—		1		85 (21(24.7%))		
公共政策学連携研究部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				0 (0(0.0%))		
合 計	1,603	1,701	1,752	3,453 (884(25.6%))	130	139	164	40	343 (79(23.0%))	695	641	548	961	230	2,380 (665(27.9%))	5	7	129	6,384 (1,707(26.7%))		

(注) 1 () 内は女子の内数 (赤字で表記)。
2 [] 内は帰国子女入試分の外数。

学部

学 部 名			入学定員		志願者数	合格者数	入 学 者 数	外国人留学生入学者数
文 学 部			一般	185人	791人 [4]	203人 [1]	191人 (96)	1人 (1)
教 育 学 部			一般	48	233 [1]	48 [1]	48 (24) [1 (1)]	2 (2)
			A O	2	4	2	2 (1)	
法 学 部			一般	200	802 [3]	219 [1]	211 (68)	1
経 済 学 部			一般	180	745 [4]	204 [1]	197 (50) [1 (1)]	
			A O	10	31	4	4 (4)	
理 学 部	数 学 重 点 選 抜 群		一般	47	207 [2]	50 [1]	47 (8)	1
	物 理 重 点 選 抜 群		一般	81	270	84	81 (8)	
	化 学 重 点 選 抜 群		一般	81	321	90	87 (17)	1
	生物・地学重点選抜群		一般	47	127 [6]	51 [3]	49 (17) [2 (1)]	1
	生 物 重 点 選 抜 群		一般	14	177	18	16 (5)	
	数 学 科		A O	2	5	2	2 (1)	
	物 理 学 科		A O	5	7	4	4 (1)	
	化 学 科		A O	10	8	3	3 (1)	
	生 物 科 学 科		A O	5	16	1	1 (1)	
	地 球 科 学 科		A O	8	11	5	5 (2)	
	計		一般	270	1,102 [8]	293 [4]	280 (55) [2 (1)]	3
			A O	30	47	15	15 (6)	
医 学 部	医 学 系		一般	107	544 [8]	107	107 (17)	
	保 健 学 系	看 護 学 専 攻	一般	70	246 [1]	75 [1]	74 (58) [1 (1)]	
		放 射 線 技 術 科 学 専 攻	一般	37	126	41	41 (13)	
		検 査 技 術 科 学 専 攻	一般	37	143 [1]	40 [1]	39 (27) [1 (1)]	
		理 学 療 法 学 専 攻	一般	18	74 [1]	20	20 (9)	
		作 業 療 法 学 専 攻	一般	18	73	20	20 (12)	
		計	一般	180	662 [3]	196 [2]	194 (119) [2 (2)]	
	計	一般	287	1,206 [11]	303 [2]	301 (136) [2 (2)]		
歯 学 部			一般	50	228	56	54 (21)	
			A O	10	9	6	6 (3)	
薬 学 部			一般	70	307 [2]	79 [1]	78 (24)	
			A O	10	22	5	5 (3)	
工 学 部	応 用 理 工 系		一般	149	567 [1]	164	153 (19)	4
			A O	11	21	6	6 (2)	
	情 報 エ レ ク ト ロ ニ ッ ク ス 系		一般	180	640 [2]	191	180 (6)	2
	機 械 知 能 工 学 系		一般	120	444 [4]	123 [1]	118 (4)	5 (1)
	環 境 社 会 工 学 系		一般	210	839 [1]	219 [1]	209 (34)	2 (1)
	計		一般	659	2,490 [8]	697 [2]	660 (63)	13 (2)
			A O	11	21	6	6 (2)	
農 学 部	学 部		一般	204	685 [6]	221 [2]	215 (60) [1]	1 (1)
	農 業 工 学 科		A O	6	16	6 (2)		
	農 業 経 済 学 科		A O	5	9	5		
	計		一般	204	685 [6]	221 [2]	215 (60) [1]	1 (1)
			A O	11	25	11	11 (2)	
獣 医 学 部			一般	40	276 [4]	42	42 (20)	
水 産 学 部			一般	199	798 [1]	213 [1]	199 (58) [1]	
			A O	16	32	16	16 (5)	
合 計			一般	2,392	9,663 [52]	2,578 [16]	2,476 (675) [8 (5)]	21 (6)
			A O	100	191	65	65 (26)	
			計	2,492	9,854 [52]	2,643 [16]	2,541 (701) [8 (5)]	

■大学院(修士)

(注) 1 () 内は女子の内数 (赤色で表記)。
2 [] は外国人留学生数の内数。

研究科等名	入学定員	志 願 者 数				入 学 者 数			
		本 学	他大学	その他	計	本 学	他大学	その他	計
文 学 研 究 科	118人	54人 ⁽¹⁵⁾	112人 ⁽⁶⁵⁾ [27]	1人	167人 ⁽⁸⁰⁾ [27]	37人 ⁽¹¹⁾	61人 ⁽⁴¹⁾ [21]	1人	99人 ⁽⁵²⁾ [21]
法 学 研 究 科	20	15 ⁽²⁾	31 ⁽⁹⁾ [10]	1	47 ⁽¹¹⁾ [10]	5 ⁽¹⁾	12 ⁽⁶⁾ [9]		17 ⁽⁷⁾ [9]
経 済 学 研 究 科	30	22 ⁽⁵⁾	55 ⁽³⁰⁾ [41]		77 ⁽³⁵⁾ [41]	12 ⁽¹⁾	22 ⁽¹³⁾ [20]		34 ⁽¹⁴⁾ [20]
医 学 研 究 科	30	16 ⁽⁹⁾	17 ⁽⁹⁾ [2]		33 ⁽¹⁸⁾ [2]	11 ⁽⁵⁾	13 ⁽⁷⁾ [1]		24 ⁽¹²⁾ [1]
歯 学 研 究 科	—	—	—	—	—	—	—	—	—
獣医学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—
情報科学研究科	177	202 ⁽¹⁰⁾ [5]	59 ⁽⁹⁾ [22]	8	269 ⁽¹⁹⁾ [27]	171 ⁽⁹⁾ [2]	33 ⁽⁷⁾ [22]	5	209 ⁽¹⁶⁾ [24]
水 産 科 学 院	90	147 ⁽³¹⁾	21 ⁽⁴⁾ [4]		168 ⁽³⁵⁾ [4]	105 ⁽²³⁾	8 ⁽³⁾ [4]		113 ⁽²⁶⁾ [4]
環 境 科 学 院	159	59 ⁽⁹⁾	111 ⁽³¹⁾ [5]	5 ⁽¹⁾	175 ⁽⁴¹⁾ [5]	40 ⁽⁶⁾	65 ⁽²⁰⁾ [4]	3 ⁽¹⁾	108 ⁽²⁷⁾ [4]
理 学 院	129	115 ⁽¹²⁾	61 ⁽⁸⁾ [3]		176 ⁽²⁰⁾ [3]	87 ⁽⁹⁾	30 ⁽⁴⁾ [3]		117 ⁽¹³⁾ [3]
農 学 院	150	169 ⁽⁵⁷⁾	57 ⁽²¹⁾ [9]		226 ⁽⁷⁸⁾ [9]	140 ⁽⁴⁹⁾	35 ⁽¹³⁾ [7]		175 ⁽⁶²⁾ [7]
生 命 科 学 院	132	106 ⁽³³⁾ [1]	50 ⁽¹⁸⁾ [1]	3	159 ⁽⁵¹⁾ [2]	92 ⁽³¹⁾ [1]	28 ⁽¹³⁾	1	121 ⁽⁴⁴⁾ [1]
教 育 学 院	45	23 ⁽¹³⁾	46 ⁽²³⁾ [13]	4 ⁽⁴⁾	73 ⁽⁴⁰⁾ [13]	14 ⁽¹¹⁾	25 ⁽¹⁶⁾ [10]	3 ⁽³⁾	42 ⁽³⁰⁾ [10]
国際広報メディア・観光学院	42	12 ⁽³⁾	83 ⁽⁵⁰⁾ [43]		95 ⁽⁵³⁾ [43]	7 ⁽³⁾	37 ⁽²⁴⁾ [18]		44 ⁽²⁷⁾ [18]
保 健 科 学 院	26	39 ⁽¹³⁾	5 ⁽⁴⁾	4 ⁽²⁾	48 ⁽¹⁹⁾ [0]	33 ⁽¹¹⁾	1 ⁽¹⁾	2 ⁽²⁾	36 ⁽¹⁴⁾ [0]
工 学 院	326	403 ⁽³⁰⁾ [8]	37 ⁽¹⁰⁾ [13]	10 ⁽¹⁾	450 ⁽⁴¹⁾ [21]	323 ⁽²³⁾ [6]	23 ⁽⁶⁾ [12]	3	349 ⁽²⁹⁾ [18]
総 合 化 学 院	129	154 ⁽³⁵⁾ [1]	13 ⁽³⁾ [1]	3	170 ⁽³⁸⁾ [2]	135 ⁽²⁹⁾	6 ⁽²⁾ [1]	3	144 ⁽³¹⁾ [1]
合 計	1,603	1,536 ⁽²⁷⁷⁾ [15]	758 ⁽²⁹⁴⁾ [194]	39 ⁽⁸⁾ [0]	2,333 ⁽⁵⁷⁹⁾ [209]	1,212 ⁽²²²⁾ [9]	399 ⁽¹⁷⁶⁾ [132]	21 ⁽⁶⁾ [0]	1,632 ⁽⁴⁰⁴⁾ [141]

■大学院(専門職学位)

研究科等名	入学定員	志 願 者 数				入 学 者 数			
		本 学	他大学	その他	計	本 学	他大学	その他	計
法 学 研 究 科	80人	70人 ⁽¹⁶⁾	314人 ⁽⁴⁹⁾	人	384人 ⁽⁶⁵⁾ [0]	33人 ⁽⁸⁾	43人 ⁽⁸⁾	人	76人 ⁽¹⁶⁾ [0]
経 済 学 研 究 科	20	6 ⁽³⁾	51 ⁽⁵⁾ [1]		57 ⁽⁸⁾ [1]	4 ⁽²⁾	16 ⁽²⁾		20 ⁽⁴⁾ [0]
公 共 政 策 学 部	30	46 ⁽⁹⁾	43 ⁽⁷⁾	5 ⁽²⁾	94 ⁽¹⁸⁾ [0]	15 ⁽⁴⁾	17 ⁽⁴⁾ [2]	1	33 ⁽⁸⁾ [2]
教 育 学 部									
合 計	130	122 ⁽²⁸⁾ [0]	408 ⁽⁶¹⁾ [1]	5 ⁽²⁾ [0]	535 ⁽⁹¹⁾ [1]	52 ⁽¹⁴⁾ [0]	76 ⁽¹⁴⁾ [2]	1 ⁽⁰⁾ [0]	129 ⁽²⁸⁾ [2]

■大学院(博士)

研究科等名	入学定員	志 願 者 数				入 学 者 数			
		本 学	他大学	その他	計	本 学	他大学	その他	計
文 学 研 究 科	50人	41人 ⁽²²⁾ [7]	15人 ⁽⁸⁾ [3]	人	56人 ⁽³⁰⁾ [10]	32人 ⁽¹⁵⁾ [6]	8人 ⁽⁴⁾ [2]	人	40人 ⁽¹⁹⁾ [8]
法 学 研 究 科	15	5 ⁽²⁾ [2]	5 ⁽¹⁾ [2]		10 ⁽³⁾ [4]	4 ⁽¹⁾ [2]	3 ⁽¹⁾ [2]		7 ⁽²⁾ [4]
経 済 学 研 究 科	15	6 ⁽²⁾ [1]	4 ⁽¹⁾ [3]		10 ⁽³⁾ [4]	6 ⁽²⁾ [1]	1 ⁽¹⁾ [1]		7 ⁽³⁾ [2]
医 学 研 究 科	100	55 ⁽¹⁴⁾	48 ⁽¹⁶⁾ [6]		103 ⁽³⁰⁾ [6]	52 ⁽¹⁴⁾	42 ⁽¹⁵⁾ [5]		94 ⁽²⁹⁾ [5]
歯 学 研 究 科	42	24 ⁽⁷⁾	16 ⁽¹⁰⁾ [3]		40 ⁽¹⁷⁾ [3]	24 ⁽⁷⁾	13 ⁽⁷⁾ [2]		37 ⁽¹⁴⁾ [2]
獣医学研究科	24	8 ⁽³⁾	10 ⁽³⁾ [2]		18 ⁽⁶⁾ [2]	7 ⁽³⁾	10 ⁽³⁾ [2]		17 ⁽⁶⁾ [2]
情報科学研究科	42	31 ⁽³⁾ [4]	12 ⁽³⁾ [8]	1	44 ⁽⁶⁾ [12]	29 ⁽³⁾ [3]	12 ⁽³⁾ [8]	1	42 ⁽⁶⁾ [11]
水 産 科 学 院	35	14 ⁽²⁾ [2]	10 ⁽⁴⁾ [8]		24 ⁽⁶⁾ [10]	14 ⁽²⁾ [2]	10 ⁽⁴⁾ [8]		24 ⁽⁶⁾ [10]
環 境 科 学 院	63	25 ⁽⁷⁾ [2]	18 ⁽⁵⁾ [14]		43 ⁽¹²⁾ [16]	24 ⁽⁷⁾ [2]	15 ⁽³⁾ [12]		39 ⁽¹⁰⁾ [14]
理 学 院	56	29 ⁽⁸⁾	6 ⁽²⁾ [2]	1	36 ⁽⁸⁾ [2]	27 ⁽⁶⁾	3 ⁽¹⁾ [1]	1	31 ⁽⁶⁾ [1]
農 学 院	50	17 ⁽⁵⁾	17 ⁽⁴⁾ [9]	4	38 ⁽⁹⁾ [9]	16 ⁽⁵⁾	15 ⁽⁴⁾ [8]	4	35 ⁽⁹⁾ [8]
生 命 科 学 院	50	32 ⁽⁶⁾	6 ⁽³⁾ [4]		38 ⁽⁹⁾ [4]	29 ⁽⁵⁾	5 ⁽³⁾ [3]		34 ⁽⁸⁾ [3]
教 育 学 院	21	13 ⁽⁷⁾	5 ⁽²⁾ [1]		18 ⁽⁹⁾ [1]	12 ⁽⁷⁾	3 ⁽²⁾ [1]		15 ⁽⁹⁾ [1]
国際広報メディア・観光学院	17	7 ⁽⁵⁾	9 ⁽⁴⁾ [2]		16 ⁽⁹⁾ [2]	3 ⁽³⁾	4 ⁽³⁾ [2]		7 ⁽⁶⁾ [2]
保 健 科 学 院	8	9 ⁽³⁾	7 ⁽⁵⁾	5 ⁽²⁾	21 ⁽¹⁰⁾ [0]	9 ⁽³⁾	7 ⁽⁵⁾	4 ⁽¹⁾	20 ⁽⁹⁾ [0]
工 学 院	69	25 ⁽⁴⁾ [3]	13 ⁽³⁾ [8]	1	39 ⁽⁷⁾ [11]	25 ⁽⁴⁾ [3]	10 ⁽³⁾ [7]	1	36 ⁽⁷⁾ [10]
総 合 化 学 院	38	28 ⁽²⁾ [2]	12 ⁽¹⁾ [6]		40 ⁽³⁾ [8]	23 ⁽²⁾ [2]	10 ⁽¹⁾ [5]		33 ⁽³⁾ [7]
合 計	695	369 ⁽¹⁰²⁾ [23]	213 ⁽⁷³⁾ [81]	12 ⁽²⁾ [0]	594 ⁽¹⁷⁷⁾ [104]	336 ⁽⁸⁹⁾ [21]	171 ⁽⁶²⁾ [69]	11 ⁽¹⁾ [0]	518 ⁽¹⁵²⁾ [90]

卒業・修了者数(学位授与数)

平成22年 5 月 1 日現在

■ 学士

学 部	学位の名称	新制（平成3年の学位規則改正後）		学位の名称	新制 (同学位規則改正前)	旧 制	新・旧制合計
		平成21年度	累 計				
文 学 部	学士(文学)	179人	3,286人	文 学 士	4,265人	255人	8,217人
	学士(行動科学)	—	411				
教 育 学 部	学士(教育学)	67	1,161	教 育 学 士	1,365	—	2,526
	学士(法学)	230	4,485	法 学 士	5,484	275	10,244
経 済 学 部	学士(経済学)	93	1,777	経 済 学 士	4,730	325	8,744
	学士(経営学)	89	1,912				
理 学 部	学士(理学)	288	5,508	理 学 士	7,142	1,401	14,051
	学士(医学)	99	1,953				
医 学 部	学士(看護学)	80	227	医 学 士	3,820	2,328	8,692
	学士(保健学)	126	364				
歯 学 部	学士(歯学)	59	1,149	歯 学 士	1,046	—	2,195
	学士(薬学)	8	1,444				
薬 学 部	学士(薬科学)	29	29	薬 学 士	2,247	—	3,720
	学士(工学)	705	13,012				
農 学 部	学士(農学)	228	4,269	工 学 士	17,696	2,918	33,626
	学士(獣医学)	42	767	農 学 士	7,766	4,078	16,687
獣 医 学 部	学士(水産学)	208	4,003	林 学 士	—	574	—
	学士(水産学)	—	—	獣 医 学 士	1,238	—	2,005
水 産 学 部	学士(水産学)	—	—	水 産 学 士	6,585	—	10,588
	学士(水産学)	—	—				
合 計		2,530	45,757		63,384	12,154	121,295

■ 修士

研 究 科	学位の名称	新制 (平成3年の学位規則改正後)		学位の名称	新制 (同学位規則改正前)	新制合計
		平成21年度	累 計			
文 学 研 究 科	修士(文学)	78人	1,088人	文 学 修 士	765人	2,004人
	修士(学術)	6	39			
法 学 研 究 科	修士(行動科学)	—	112	法 学 修 士	160	761
	修士(法学)	13	601			
経 済 学 研 究 科	修士(経済学)	14	271	経 済 学 修 士	143	634
	修士(経営学)	5	220			
医 学 研 究 科	修士(医科学)	29	191	医 学 修 士	—	191
	修士(薬学)	—	864			
工 学 研 究 科	修士(工学)	443	8,880	工 学 修 士	5,787	14,667
	修士(工学)	—	—			
獣 医 学 研 究 科	修士(工学)	4	20	獣 医 学 修 士	541	541
	修士(情報科学)	197	866			
水 産 科 学 院	修士(水産科学)	101	373	水 産 学 修 士	592	1,771
	修士(水産学)	—	590			
環 境 科 学 院	修士(水産学)	—	589	環 境 学 修 士	—	589
	修士(環境科学)	135	536			
地 球 環 境 科 学 研 究 科	修士(地球環境科学)	—	1,433	学 術 修 士	355	1,433
	修士(環境科学)	—	135			
理 学 研 究 科	修士(理学)	190	555	理 学 修 士	2,733	5,798
	修士(理学)	—	3,065			
農 学 研 究 科	修士(農学)	152	468	農 学 修 士	1,371	3,516
	修士(農学)	—	2,145			
生 命 科 学 院	修士(生命科学)	137	381	教 育 学 修 士	172	624
	修士(教育学)	39	64			
教 育 学 研 究 科	修士(教育学)	2	452	国 際 広 報 修 士	—	452
	修士(国際広報メディア)	24	36			
国 際 広 報 メディア・観 光 学 院	修士(学術)	6	14	国 際 広 報 修 士	—	14
	修士(観光学)	17	30			
国 際 広 報 メディア 研 究 科	修士(国際広報メディア)	4	206	保 健 学 修 士	—	206
	修士(保健科学)	26	26			
保 健 科 学 院	修士(看護学)	2	2			
	修士(看護学)	—	—			
合 計		1,624	24,252		13,301	37,553

■ 専門職

研究科等	学位の名称	平成21年度	累 計
法 学 研 究 科	法務博士(専門職)	99人	431人
経 済 学 研 究 科	会計修士(専門職)	21	81
公 共 政 策 学 教 育 部	公共政策学修士(専門職)	31	120
合 計		151	632

■ 博士

研 究 科	学位の名称	新制 (平成3年の学位規則改正後)				学位の名称	新制 (同学位規則改正前)		旧 制	新・旧制合計
		課程博士 平成21年度	論文博士 累 計	課程博士 平成21年度	論文博士 累 計		課程博士	論文博士		
文 学 研 究 科	博士(文学)	25人	203人	3人	67人	文 学 博 士	5人	2人	6人	327人
	博士(行動科学)	—	31	—	5					
法 学 研 究 科	博士(学術)	4	6	—	2	法 学 博 士	22	25	7	172
	博士(法学)	7	73	2	45					
経 済 学 研 究 科	博士(経済学)	8	49	1	24	経 済 学 博 士	3	40	25	187
	博士(経営学)	3	32	—	14					
医 学 研 究 科	博士(医学)	82	1,156	5	689	医 学 博 士	658	964	3,081	6,548
	博士(歯学)	19	423	1	76					
歯 学 研 究 科	博士(薬学)	—	264	—	123	歯 学 博 士	130	70	—	699
	博士(工学)	74	1,328	6	681					
工 学 研 究 科	博士(工学)	13	245	3	169	薬 学 博 士	181	210	—	778
	博士(獣医学)	—	—	—	—					
獣 医 学 研 究 科	博士(工学)	12	46	1	5	工 学 博 士	550	791	198	3,548
	博士(情報科学)	24	85	—	—					
水 産 科 学 院	博士(水産科学)	22	58	2	3	獣 医 学 博 士	82	235	68	799
	博士(水産学)	3	209	—	32					
環 境 科 学 院	博士(水産学)	—	132	—	76	水 産 学 博 士	186	187	—	822
	博士(環境科学)	35	74	11	17					
地 球 環 境 科 学 研 究 科	博士(地球環境科学)	4	401	—	42	学 術 博 士	41	20	—	108
	博士(環境科学)	—	39	—	8					
理 学 研 究 科	博士(理学)	31	55	4	4	理 学 博 士	766	636	631	3,192
	博士(理学)	8	948	—	211					
農 学 研 究 科	博士(農学)	33	59	6	19	農 学 博 士	329	758	491	2,726
	博士(農学)	—	—	—	—					
生 命 科 学 院	博士(生命科学)	26	42	2	2	林 学 博 士	—	—	46	46
	博士(教育学)	1	1	—	0					
教 育 学 研 究 科	博士(教育学)	3	65	2	30	獣 医 学 博 士	—	—	28	28
	博士(国際広報メディア)	—	0	1	1					
国 際 広 報 メディア・観 光 学 院	博士(学術)	1	1	—	0	教 育 学 博 士	7	4	—	106
	博士(観光学)	—	0	—	0					
国 際 広 報 メディア 研 究 科	博士(国際広報メディア)	1	21	—	1	国 際 広 報 博 士	—	—	—	—
	博士(国際広報メディア)	—	—	—	—					
合 計		448	6,681	50	2,790		2,960	3,942	4,581	20,954

進路状況

平成22年 5 月 1 日現在

(注) 1 [] 内は北海道内企業等就職者で内数。
2 < > 内は北海道内企業等就職者の比率。

■ 学士

区 分	平成21年度 卒業者数	進学者	平 成 2 1 年 度 卒 業 者 の 進 路 別 内 訳										臨 床 研修医	その他
			就 職 者								計			
			大学教員	研究機関	教 員	その他の教員	官公庁	民間企業	病院・診療所	その他				
文 学 部	179人	39人	人	人	4人	人	19人	77人	人	2人	102人	[53 (52.0%)]	人	38人
教 育 学 部	67	17						3	33	1		37 [14 (37.8%)]		13
法 学 部	230	46						42	75	1	2	120 [48 (40.0%)]		64
経 済 学 部	182	22						13	126			139 [47 (33.8%)]		21
理 学 部	288	239				2		11	23			36 [12 (33.3%)]		13
医 学 部 医 学 科	99	2										0 [0 (0.0%)]	93	4
医 学 部 保 健 学 科	206	50		1				18	3	119	3	144 [109 (75.7%)]		12
歯 学 部	59											0 [0 (0.0%)]	53	6
薬 学 部	37	28						1	6	1	1	9 [4 (44.4%)]		0
工 学 部	705	588						23	64		4	91 [34 (37.4%)]		26
農 学 部	228	160			1			12	40			53 [16 (30.2%)]		15
獣 医 学 部	42	10		1				6	12	7		26 [6 (23.1%)]		6
水 産 学 部	208	135						7	49			56 [18 (32.1%)]		17
合 計	2,530	1,336	0	2	7	0	155	508	129	12	813	[361 (44.4%)]	146	235

■ 修士

区 分	平成21年度 修了者数	平 成 2 1 年 度 修 了 者 の 進 路 別 内 訳											その他
		進学者	就 職 者								計		
			大学教員	研究機関	教 員	その他の教員	官公庁	民間企業	病院・診療所	その他			
文 学 研 究 科	84人	30人	人	人	2人	人	6人	18人	人	人	26人	[12 (46.2%)]	28人
法 学 研 究 科	13	4					2				2	[1 (50.0%)]	7
経 済 学 研 究 科	19	4					1	6			7	[2 (28.6%)]	8
医 学 研 究 科	29	12					1	3	9	1	14	[9 (64.3%)]	3
工 学 研 究 科	443	32	2	1	1		22	375		1	402	[57 (14.2%)]	9
情 報 科 学 研 究 科	201	26	1				5	165			171	[26 (15.2%)]	4
水 産 科 学 院	101	17		3	2		8	67			80	[19 (23.8%)]	4
環 境 科 学 院	135	18	1	3	7		14	70			95	[25 (26.3%)]	22
理 学 院	190	51			14		9	103			126	[22 (17.5%)]	13
農 学 院	152	22		3			11	101			115	[13 (11.3%)]	15
生 命 科 学 院	137	33		1			4	76	12	2	95	[19 (20.0%)]	9
教 育 学 院	41	9	3		7		2	4	1	1	18	[15 (83.3%)]	14
国際広報メディア・観光学院	51	3			1		1	26		3	31	[9 (29.0%)]	17
保 健 科 学 院	28	10	1			1	1	6	9		18	[11 (61.1%)]	0
合 計	1,624	271	8	11	34	1	87	1,020	31	8	1,200	[240 (20.0%)]	153

◇教育学院には、教育学研究科修了者を含む。
◇国際広報メディア・観光学院には、国際広報メディア研究科修了者を含む。

■ 専門職

区 分	平成21年度 修了者数	平 成 2 1 年 度 修 了 者 の 進 路 別 内 訳										その他
		進学者	就 職 者								計	
			大学教員	研究機関	教 員	その他の教員	官公庁	民間企業	病院・診療所	その他		
法 学 研 究 科	99人	人	人	人	人	3人	人	人	3人	6人	[0 (0.0%)]	93人
経 済 学 研 究 科	21	3						5		5	[1 (20.0%)]	13
公 共 政 策 学 教 育 部	31					11	16			27	[12 (44.4%)]	4
合 計	151	3	0	0	0	14	21	0	3	38	[13 (34.2%)]	110

■ 博士

区 分	平成21年度 修了者数 (課程)	平 成 2 1 年 度 修 了 者 の 進 路 別 内 訳											その他
		進学者	就 職 者								計		
			大学教員	研究機関	教 員	その他の教員	官公庁	民間企業	病院・診療所	その他			
文 学 研 究 科	44人	人	3人	人	人	人	人	5人	人	人	8人	[6 < 75.0%]	36人
教 育 学 院	9		3		2						5	[5 < 100.0%]	4
法 学 研 究 科	10		6				2			1	9	[8 < 88.9%]	1
経 済 学 研 究 科	12							1			1	[0 < 0.0%]	11
医 学 研 究 科	86		12					2	55	1	70	[61 < 87.1%]	16
歯 学 研 究 科	19								10		10	[9 < 90.0%]	9
工 学 研 究 科	83		4	14			4	23		4	49	[8 < 16.3%]	34
獣 医 学 研 究 科	17		2				1	3	1		7	[3 < 42.9%]	10
国際広報メディア・観光学院	4		2								2	[1 < 50.0%]	2
情 報 科 学 研 究 科	36		4	2		1		18		1	26	[4 < 15.4%]	10
水 産 科 学 院	27			8	1		2			1	12	[5 < 41.7%]	15
環 境 科 学 院	51		7	4	2		2	2			17	[3 < 17.6%]	34
理 学 院	50		4	2	1		3	8		4	22	[4 < 18.2%]	28
農 学 院	47		4	2			2	14			22	[7 < 31.8%]	25
生 命 科 学 院	29		3		1		1	9			14	[2 < 14.3%]	15
合 計	524	0	54	32	7	1	17	85	67	11	274	[126 < 46.0%]	250

※ 単位修得退学者を便宜上、修了者として含める。
◇教育学院には、教育学研究科修了者を含む。
◇国際広報メディア・観光学院には、国際広報メディア研究科修了者を含む。
◇水産科学院には、水産科学研究科修了者を含む。
◇環境科学院には、地球環境科学研究科修了者を含む。
◇理学院には、理学研究科修了者を含む。
◇農学院には、農学研究科修了者を含む。

外国人留学生数

平成22年 5 月 1 日現在

国・地域別外国人留学生数

地 域	国名（地域名）	学 部 ・ 大 学 院																				そ の 他					合 計				
		文学研究科・文学部	法学研究科・法学部	経済学研究科・経済学部	医学研究科・医学部	歯学研究科・歯学部	獣医学研究科・獣医学部	情報科学研究科	水産科学研究科	水産学部	地球環境科学研究科	環境科学部	理学研究科・理学部	薬学研究科・薬学部	農学研究科・農学部	先端生命科学研究所	生命科学部	教育学研究科・教育学部	教育学研究科	コミュニケーション研究科	国際広報メディア・観光学院	工学院	工学研究科	総合科学部	公共政策学連携研究部	公共政策学教育部		小 計	低温科学研究所	スラブ研究センター	情報基盤センター
アジア (19) 975人 83.91%	インド								1	3	7		1	1												13				0	13
	インドネシア				1			2	5	5	5		15	1	1							4	6	2		47			1	1	48
	韓国	22	7	5	2	2	8	7	12	3	6	1	19		5				3	1	29	7			139				4	4	143
	カンボジア																					4				4				0	4
	シンガポール	1																					1			2				0	2
	スリランカ				1			1						1									4			7				0	7
	タイ	2		1		1	3	1	5	2			6	2					2				5			30				0	30
	台湾	4	14	3	2		2			2	1		2	1	1			5			1	1			39				0	39	
	中国	69	51	60	7	6	3	57	19	18	34		33	19	40	3	51		42	36	6	2	556	1		5	3	9	565		
	ネパール						1			3												2			6				0	6	
	パキスタン							1													0	3			4				0	4	
	バングラデシュ	1			1	2		2	2	6	6		5	4						1	9			39				0	39		
	フィリピン										3	1		3								7			14				1	1	15
	ブルネイ									1															1				0	1	
	ベトナム			2				1				1		1								3			8				0	8	
マレーシア						2	2		1			4							17	2			28				2	2	30		
ミャンマー							1					4									1			6			1	1	7		
モンゴル	1		1	2			1		3	2		1		1										12			1	1	13		
ラオス							1																	1				0	1		
中東 (7) 18人 1.55%	イスラエル														1										1				0	1	
	イラク							1													1				2				0	2	
	イラン			1	1						1		1	1	1					1	2				9				0	9	
	シリア				1			1					1												3				0	3	
	トルコ														1										1				0	1	
	ヨルダン																				1				1				0	1	
アフリカ (17) 51人 4.39%	レバノン																								0			1	1	1	
	ウガンダ												1								1				2				0	2	
	エジプト	1	1		1		5	2			2		1								3			16				0	16		
	エチオピア												1								1				2			1	1	3	
	ガーナ									2															2				0	2	
	カメルーン													1											1				0	1	
	ケニア						2		1												1			4				0	4		
	コンゴ民主共和国			1																					1				0	1	
	ザンビア						4	1																	5				0	5	
	ジンバブエ							1													1				1				0	1	
	スーダン																								1			1	1	2	
	タンザニア													1											1			1	1	2	
	チュニジア																					2			2				0	2	
	ナイジェリア				3					2															5				0	5	
	ベナン									1															1				0	1	
マダガスカル			1																					1			1	1	2		
モロッコ									1															1				0	1		
リビア				1																				1				0	1		
大洋州 (2) 2人 0.17%	オーストラリア							1																	1				0	1	
	パプアニューギニア										1														1				0	1	
北 米 (2) 25人 2.15%	アメリカ合衆国	11	1	1	1		1	3		1	1													20			3	3	23		
	カナダ										1										1				2				0	2	
中南米 (13) 26人 2.24%	ウルグアイ						1															1			1				0	1	
	ガイアナ								1																1				0	1	
	グアテマラ																				1			1				0	1		
	コスタリカ								1													1			2			0	2		
	コロンビア													1								4			5			0	5		
	ジャマイカ								1															1				0	1		
	トリニダード・トバゴ				1																			1				0	1		
	パナマ			1					1															2				0	2		
	パラグアイ	1		1																				2				0	2		
	ブラジル				1		1	1	1	1											1			6		1	1	7			
	ベネズエラ								1															1				0	1		
ペルー									1														1				0	1			
ボリビア																					1			1				0	1		

地 域	国 名（地域名）	学 部 ・ 大 学 院																			そ の 他					合 計				
		文学研究科・文学部	法学研究科・法学部	経済学研究科・経済学部	医学研究科・医学部	歯学研究科・歯学部	獣医学研究科・獣医学部	情報科学研究科	水産科学研究所	地球環境科学・研究院	理学院	薬学研究科・薬学部	農学院	先端生命科学・研究院	生命科学学院	教育学研究科・教育学部	教育学研究科	国際広報メディア・観光学院	国際広報メディア研究科	工学研究科	工学研究科	総合科学部	公共政策学教育部	公共政策学連携研究部	小 計		低温科学研究所	スラブ研究センター	情報基盤センター	留学生センター
ヨーロッパ (23) 65人 5.59%	アゼルバイジャン	1																						1					0	1
	イ タ リ ア	1																						1					0	1
	英 国		2					1																3					0	3
	ウ ク ラ イ ナ																	1						1					0	1
	オ ラ ン ダ												1											1					0	1
	カザフスタン	3		1																				4					0	4
	ギ リ シ ャ	1																						1					0	1
	キ ル ギ ス			1																				1			1	1	2	
	ク ロ ア チ ア	1																						1					0	1
	ス イ ス	1																						1			1	1	2	
	ス ウ ェ ー デ ン			1																				1					0	1
	ス ベ イ ン																			1				1					0	1
	ス ロ バ キ ア																							0			1	1	1	
	セ ル ビ ア									1														1					0	1
	チ ェ コ	3																						3					0	3
	ド イ ツ							1																1			1	1	2	
	ハンガリー	1					1														1			3					0	3
	フィンランド	3		1																				4					0	4
	フ ラ ン ス	2	3	1					1															7					0	7
	ブルガリア								1															1					0	1
ポーランド								2										2		1			5					0	5	
ルーマニア			1					1															2					0	2	
ロシア	5	1		2					1	2		1		1			1						14		2		1	3	17	
合計 (83 カ国・地域)		135	80	84	28	11	36	96	50	59	71	1	104	31	51	3	65	1	101	110	8	2	1,127	1	3	5	26	35	1,162	

■所属別留学生数

(注) ()内は女子の内数(赤字で表記)。

学 部 等 名	学部学生	大学院学生			研究生	日本語・日本文化 研 修 生	日本語 研修生	特別研究 学 生	特別聴講 学 生	科 目 等 履修生等	計
		修士課程	専門職学位課程	博士課程							
文学研究科・文学部	5 (2)	42 (31)		33 (25)	29 (16)				26 (15)		135 (89)
法学研究科・法学部	4 (3)	31 (13)		20 (6)	10 (4)			1 (1)	14 (6)		80 (33)
経済学研究科・経済学部	6 (4)	35 (20)		8 (4)	26 (18)				9 (1)		84 (47)
医学研究科・医学部	4 (2)	3 (3)		20 (8)	1 (0)						28 (13)
歯学研究科・歯学部	3 (2)			8 (3)							11 (5)
獣医学研究科・獣医学部	1 (0)			30 (8)	5 (2)						36 (10)
情報科学研究科		38 (8)		48 (15)	6 (0)			4 (1)			96 (24)
水産科学院・水産科学研究院・水産学部	2 (1)	6 (2)		30 (14)	1 (0)			6 (6)	5 (4)		50 (27)
環境科学院・地球環境科学研究院		18 (6)		39 (13)	1 (0)			1 (1)			59 (20)
理学院・理学研究院・理学部	4 (0)	15 (3)		48 (18)	1 (0)			2 (1)	1 (1)		71 (23)
薬学研究院・薬学部	1 (1)										1 (1)
農学院・農学研究院・農学部	4 (1)	28 (17)		60 (23)	4 (1)			1 (1)	7 (5)		104 (48)
生命科学院・先端生命科学研究所		8 (6)		21 (13)				2 (1)			31 (20)
教育学院・教育学研究院・教育学部	7 (7)	24 (16)		8 (6)	8 (5)				4 (3)		51 (37)
教育学研究科				3 (2)							3 (2)
国際広報メディア・観光学院		39 (29)		8 (5)	18 (13)						65 (47)
国際広報メディア研究科				1 (1)							1 (1)
工学院・工学研究院・工学部	58 (8)	18 (5)		10 (4)	7 (2)			1 (0)	7 (3)		101 (22)
工学研究科		40 (9)		67 (10)	1 (0)			2 (0)			110 (19)
総合科学部		1 (1)		7 (2)							8 (3)
公共政策学教育部・公共政策学連携研究部			2 (1)								2 (1)
小 計	99 (31)	346 (169)	2 (1)	469 (180)	118 (61)	0 (0)	0 (0)	20 (12)	73 (38)	0 (0)	1,127 (492)
低温科学研究所					1 (0)						1 (0)
スラブ研究センター					3 (1)						3 (1)
情報基盤センター					5 (1)						5 (1)
留学生センター						15 (8)	11 (5)				26 (13)
小 計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (2)	15 (8)	11 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (15)
合 計	99 (31)	346 (169)	2 (1)	469 (180)	127 (63)	15 (8)	11 (5)	20 (12)	73 (38)	0 (0)	1,162 (507)

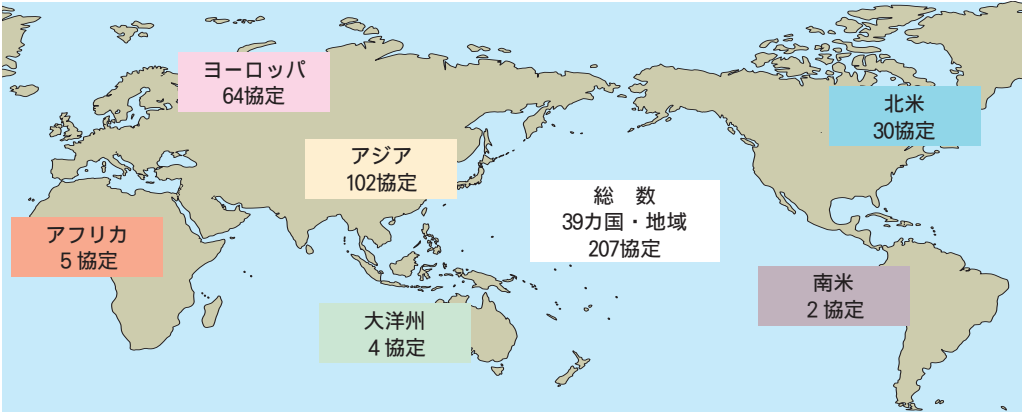
■経費別留学生数

区 分	学 部	大学院	その他	計
国費外国人留学生	15 (5)	280 (93)	21 (10)	316 (108)
私費外国人留学生	177 (89)	561 (278)	14 (5)	752 (372)
外国政府派遣留学生	25 (4)	69 (23)		94 (27)
合 計	217 (98)	910 (394)	35 (15)	1,162 (507)

国際交流協定締結状況

平成22（2010）年5月1日現在

協定大学の分布図



大学間交流協定（27カ国・地域、83協定・89大学）

国・地域名	協定大学名（所在地）	締結年月日
アジア	バングラデシュ人民共和国 ダッカ大学（ダッカ）	2009.12.24 ※
	北京科技大学（北京）	1986.12.26 ※
	浙江大学（杭州）	2002.1.20 ※
	北京大学（北京）	2003.2.19 ※
	復旦大学（上海）	2004.8.3 ※
	吉林大学（長春）	2004.9.22 ※
	南開大学（天津）	2006.5.11 ※
	南京大学（南京）	2006.5.11 ※
	西安交通大学（西安）	2008.5.26 ※
	清華大学（北京）	2008.6.30 ※
	東北師範大学（長春）	2009.5.8 ※
	四川大學（成都）	2009.10.15 ※
	武漢大学（武漢）	2009.11.30 ※
	大連理工大学（大連）	2010.1.20 ※
	北京師範大学（北京）	2010.1.20 ※
	蘭州大学（蘭州）	2010.4.9 ※
	インドネシア共和国 バランカラヤ大学（バランカラヤ）	2006.8.26 ※
	ボゴール農業大学（ボゴール）	2009.7.29 ※
	ソウル大学校（ソウル）	1997.10.1 ※
	全北（ジョンブク）大学校（全州）	2000.2.9 ※
	嶺南（ヨンナム）大学校（慶山）	2000.8.4 ※
	釜慶（ブキョン）大学校（釜山）	2000.10.25 ※
	忠南（チュンナム）大学校（大田）	2001.7.9 ※
	江原（カンウォン）大学校（春川）	2003.6.13 ※
	忠北（チュンブク）大学校（清州）	2007.12.6 ※
	韓京（ハンキョン）大学校（安城）	2009.2.16 ※
	東義（ドンイ）大学校（釜山）	2009.4.23 ※
	モンゴル国 モンゴル国立農業大学（ウランバートル）	2009.1.26 ※
	フィリピン共和国 デラサル大学（マニラ）	2009.1.11 ※
	スリランカ民主主義共和国 ペラデニヤ大学（ペラデニヤ）	2006.11.14 ※
大洋州	国立台湾大学（台北）	2005.3.3 ※
	中央研究院（台北）	2008.9.11 ※
	国立中正大学（嘉義）	2009.11.4 ※
	アジア工科大学（クロンルアン）	2008.11.4 ※
	マビドーン大学（サラヤ）	2008.11.26 ※
	カセサート大学（バンコク）	2009.1.6 ※
	チュラロンコン大学（バンコク）	2009.7.3 ※
	ベトナム社会主義共和国 ベトナム国家大学ホーチミン校（ホーチミン）	2010.2.23 ※
	オーストラリア連邦 アデレード大学（アデレード）	2000.9.18 ※
	タスマニア大学（タスマニア）	2009.1.9 ※
ヨーロッパ	ニュージーランド オークランド大学（オークランド）	2003.7.25 ※
	エストニア共和国 タルトゥー大学（タルトゥー）	2008.10.28 ※
	フィンランド共和国 オウル大学（オウル）	2001.12.11 ※
	フランス共和国 ストラスブール大学連合（レイ・パスツール大学、マルク・ブロック大学、ロベール・シューマン大学）	2000.10.10 ※
	グルノーブル大学連合（ジョセフ・フーリエ大学、ピエール・マンデス・フランス大学、スタンダール大学、グルノーブル理工科大学）	2000.10.10 ※
	レンヌ政治学院（レンヌ）	2002.9.4 ※
	パリ政治学院（パリ）	2007.5.18 ※
	エコール・ポリテクニク（パレゾー）	2008.6.29 ※
	パリ工業物理化学高等専門大学（パリ）	2009.3.31 ※
	マルセイユ第2大学（マルセイユ）	2009.5.18 ※
	ドイツ連邦共和国 ルートヴィヒ・マクシミリアン大学（ミュンヘン）	1983.1.31 ※
	ブレーメン大学（ブレーメン）	2010.2.11 ※
	ハンガリー共和国 ブダペスト工科大学（ブダペスト）	2004.11.4 ※
	イタリア共和国 トリノ工科大学（トリノ）	2008.7.1 ※
	スウェーデン王国 スウェーデン王立工科大学（ストックホルム）	2010.1.20 ※
	スイス連邦 ジュネーブ大学（ジュネーブ）	2005.6.7 ※
	スイス連邦工科大学（チューリッヒ）	2007.6.13 ※
	英国 ウォリック大学（コヴェントリー）	2000.1.5 ※
	モスクワ国立大学（モスクワ）	2001.10.10 ※
	サハリン国立大学（ユジノサハリンスク）	2007.10.23 ※
ロシア連邦	極東国立総合大学（ウラジオストク）	2007.11.12 ※
	ロシア科学アカデミー極東支部（ウラジオストク）	2009.7.23 ※
	イルクーツク大学（イルクーツク）	2010.3.30 ※

※学術交流協定の他に学生交流覚書を締結 ◎学生交流協定のみ

国・地域名		協定大学名（所在地）	締結年月日	
北米	カナダ	アルバータ大学（エドモントン）	1997. 8. 13	※
		ブリティッシュ・コロンビア大学（バンクーバー）	2008. 6. 29	
		ダルハウジー大学（ハリファックス）	2009. 7. 30	
	アメリカ合衆国	ポートランド州立大学（ポートランド）	1972. 12. 19	※
		マサチューセッツ大学（アマースト）	1976. 9. 14	※
		コーネル大学（イサカ）	1982. 6. 16	
		アラスカ大学（フェアバンクス）	1986. 12. 20	※
		ウイスコンシン大学マディソン校（マディソン）	1987. 4. 21	※
		オハイオ州立大学（コロンバス）	1998. 9. 1	※
		レッドランズ大学（レッドランズ）	2000. 9. 14	※
		テキサス大学健康科学センター・ヒューストン校（ヒューストン）	2003. 3. 10	
		オレゴン大学（ユージーン）	2006. 8. 17	◎
		カリフォルニア大学デービス校（デービス）	2007. 8. 2	※
		カリフォルニア大学ロサンゼルス校（ロサンゼルス）	2008. 6. 29	
		ハワイ大学マノア校（ホノルル）	2003. 6. 30	※
		ハワイ大学ヒロ校（ヒロ）	2003. 6. 30	※
		オクラホマ大学（ノーマン）	2010. 3. 25	※
南米	ブラジル連邦共和国	サンパウロ大学（サンパウロ）	2009. 4. 1	※
アフリカ	ナイジェリア	ナイジェリア大学（ヌサカ）、エボニ州立大学（アバカリキ）	2009. 1. 30	※
	南アフリカ共和国	ヨハネスブルグ大学（ヨハネスブルグ）	2008. 6. 29	※

※学術交流協定の他に学生交流覚書を締結 ◎学生交流協定のみのみ

大学間交流協定に基づく共同研究等に関する覚書（4カ国・地域，12覚書）

国・地域名		協定大学名	本学の締結部局	締結年月日
アジア	中華人民共和国	北京大学化学と分子工程学院	触媒化学研究センター	2003. 5. 2
		復旦大学数学研究所	理学研究科	2004. 1. 1
		北京大学図書館	附属図書館	2005. 4. 1
		北京科技大学	工学研究科	2005. 11. 24
		北京大学知識産権学院	情報法政策学研究センター	2010. 3. 11
	大韓民国	嶺南大学校商経大学	経済学研究科	2001. 9. 27
		忠北大学校工科大学	工学研究科	2007. 12. 6
		ソウル大学校分子ダイナミクス研究センター	低温科学研究所	2009. 6. 30
ヨーロッパ	スイス連邦	スイス連邦工科大学材料研究センター	工学研究科	2008. 3. 4
北米	アメリカ合衆国	アラスカ大学フェアバンクス校 水産・海洋学部	水産学部	1986. 9. 12
		ポートランド州立大学 教育学部	教育学部	1989. 12. 12
		アラスカ大学博物館	総合博物館	2005. 11. 1

国際コンソーシアムへの参加（4件）

名称	参加国・大学等数	交流内容	参加年月日
日仏共同博士課程	2カ国85機関（日本側：33 仏側：52）	学生交流	2002. 9. 13
国際南極大学	12カ国17機関	学術交流／学生交流	2006. 7. 8
日加戦略的留学生交流促進プログラム	2カ国29機関（日本側：15 加側：14）	学生交流	2006. 12. 8
アジア環境大学院ネットワーク	11カ国・地域18機関	学術交流／学生交流	2008. 6. 21

部局間交流協定（28カ国・地域，124協定）

国・地域名		協定大学名（所在地）	本学の締結部局	締結年月日
アジア	中華人民共和国	協和医科大学（北京）	医学部	1994. 7. 14
				1985. 2. 26
		ハルビン医科大学（哈爾濱）	歯学研究科	2000. 6. 5
		口腔医学院		2005. 9. 21
		第四臨床医学院		2001. 1. 29
		中国医科大学（瀋陽）	工学部	1985. 6. 24
		瀋陽工業大学（瀋陽）		1992. 11. 23
		上海交通大学（上海）	工学研究科	1985. 6. 24
		工学院		1992. 11. 23
		上海海洋大学（上海）	水産科学研究所・水産科学部	2005. 7. 11
				2005. 7. 11
		東北農業大学（哈爾濱）	農学部	1986. 6. 2
		瀋陽農業大学（瀋陽）		1986. 11. 5
		東北林業大学（哈爾濱）	農学部	1986. 12. 31
				1986. 12. 31
		大連水産学院（大連）	水産科学研究所・水産科学部	2000. 9. 15
				2000. 9. 15
		中国社会科学院（北京）	スラブ研究センター	1994. 9. 13
		東欧・ロシア・中央アジア研究所		1994. 9. 13
		石油大学（北京）	触媒化学研究センター	2001. 12. 7
		化工学院		2001. 12. 7
		華東師範大学（上海）	触媒化学研究センター	2005. 3. 18
		化学系		2005. 3. 18
		中国海洋大学（青島）	水産科学研究所・水産科学部	2005. 11. 24
		生命科学技術学部		2005. 11. 24
		厦門大学（厦門）	触媒化学研究センター	2007. 10. 9
		固体表面物理化学国家重点実験室		2007. 10. 9
		中国科学院大連化学物理研究所（大連）	地球環境科学研究所	2008. 7. 31
		海洋科学・環境科学院		2008. 7. 31
		触媒基礎国家重点実験室	触媒化学研究センター	2007. 10. 10
				2007. 10. 10
		河北理工大学（唐山）	工学研究科	2008. 3. 10
				2008. 3. 10
		香港大学（香港）	医学研究科・医学部	2008. 1. 30
		李嘉誠醫學院		2008. 1. 30
		ハルビン工程大学（哈爾濱）	工学研究科	2008. 8. 18
		工科学院		2008. 8. 18
		華東理工大学（上海）	法学研究科	2008. 7. 3
		法学院		2008. 7. 3
		中国社会科学院新聞と伝播研究所（北京）	メディア・コミュニケーション研究 院・国際広報メディア・観光学院	2009. 2. 19
				2009. 2. 19
		中南財經政法大學（武漢）	法学研究科・法学部	2009. 3. 6
		法学院		2009. 3. 6
		南京師範大学（南京）	法学研究科	2009. 5. 15
		法学院		2009. 5. 15
		ハルビン工業大学（哈爾濱）	工学研究科	2009. 8. 11
				2009. 8. 11
		華中科技大学（武漢）	法学研究科	2009. 10. 26
		法学院		2009. 10. 26

※学術交流協定の他に学生交流覚書を締結

国・地域名		協 定 大 学 名 (所 在 地)		本学の締結部局	締結年月日	
アジア	インドネシア共和国	バンドン工科大学 (バンドン)	土木・計画工学部	工学研究科	2000. 8. 11	※
		ウダヤナ大学 (デンパサール)		水産科学研究所	2005. 9. 27	
		ガジャマダ大学 (ヨクヤカルタ)	獣医学部	獣医学研究科	2008. 8. 26	
		バランカラヤ大学 (バランカラヤ)		サステイナビリティ学 教育研究センター	2009. 11. 5	※
	大 韓 民 国	延世 (ヨンセ) 大学校 (ソウル)	法科大学・法務大学院 商経大学	法学研究科・法学部	2000. 1. 31	
			農科大学	経済学研究科	1990. 9. 3	※
		全南 (ジョンナム) 大学校 (光州・麗水)	水産海洋大学	農学研究科	2002. 1. 24	
		慶北 (キョンブク) 大学校 (大邱)	獣医科大学	水産科学研究所・水産科学 院・水産学部	2007. 8. 27	※
		済州 (ジェジュ) 大学校 (済州)	海洋科学大学	獣医学研究科・獣医学部	2000. 12. 19	
		慶尚 (キョンサン) 大学校 (晋州)	海洋科学大学	水産科学研究所・水産科学 院・水産学部	2002. 12. 17	※
		慶熙 (キョンヒ) 大学校 (水原)	生命科学大学	水産科学研究所・水産科学 院・水産学部	2003. 12. 15	※
		群山 (クンサン) 大学校 (群山)	生命科学大学	北方生物圏フィールド科学 センター	2004. 2. 25	
		公州 (ゴンジュ) 大学校 (公州)	海洋科学大学	水産科学研究所・水産科学 院・水産学部	2005. 8. 29	※
		江陵 (カンヌン) 大学校 (江陵)	師範大学	教育学研究科	2007. 1. 19	※
		高麗 (コリョ) 大学校 (ソウル)	生命科学大学	水産科学研究所・水産科学 院・水産学部	2007. 7. 1	※
		高麗 (コリョ) 大学校 (ソウル)	師範大学・教育大学院	情報基盤センター	2009. 7. 23	
	マレーシア	マレーシア農科大学 (セルダン)	水産・海洋学部	水産学部	1990. 5. 29	
	ネパール王国	トリブバン大学 (カトマンズ)	科学技術研究科	地球環境科学研究科	1997. 10. 17	※
	フィリピン共和国	フィリピン大学ディルマン校 (ケソン)	工学部	情報科学研究科	2010. 4. 28	※
	シンガポール共和国	シンガポール国立大学 (シンガポール)	人文社会学部	文学研究科	2006. 8. 8	※
	台 湾	国立政治大学 (台北)	法学院	法学研究科・法学部		※
			社会学院	公共政策学教育部	2005. 7. 28	※
			国際事務学院	公共政策学連携研究部		※
			先住民族研究センター	アイヌ・先住民研究センター	2007. 10. 18	
		国立台湾師範大学 (台北)	光電科学技術研究所	電子科学研究所	2008. 1. 28	
		国立台湾海洋大学 (基隆)	生命科学院	水産科学研究所・水産科学 院・水産学部	2008. 8. 20	※
	タ イ 王 国	国立高雄大学 (高雄)	法学院	法学研究科	2008. 3. 11	
		コンケン大学 (コンケン)	人文社会学部	文学研究科	2004. 11. 30	※
		東南アジア漁業開発センター (バンコク)		水産科学研究所	2006. 2. 18	
		タマサート大学 (バンコク)	シリントーン国際工学部	工学研究科	2007. 5. 15	※
		チュラロンコン大学 (バンコク)	工学部		2007. 7. 1	※
		情報通信委員会 (バンコク)		情報科学研究科	2007. 7. 1	
		モンクット王工科大学ラカバン校 (バンコク)	工学部		2007. 12. 1	※
		ラジャマンガラタンヤブリ工科大学 (タンヤブリ)	理工学部	工学研究科	2008. 7. 17	※
		農業研究開発庁 (バンコク)		農学研究科・農学院	2009. 3. 24	
		ワライラック大学 (タサラ)	農業工学部	水産科学研究所・水産科学 院・水産学部	2009. 12. 12	※
大洋州	オーストラリア連邦	クイーンズランド大学 (ブリスベン)	健康科学部	水産科学研究所・水産科学 院	2005. 7. 1	
ヨーロッパ	チェコ共和国	ブラハ・カレル大学	医学部	医学研究科	2008. 9. 8	
	フランス共和国	ボワチエ大学 (ボワチエ)	法学部	法学部	1993. 10. 15	
		フランス国立東洋語東洋文化研究所 (パリ)	ロシア・ユーラシア研究センター	スラブ研究センター	1983. 9. 25	
		国立高等研究院 (パリ)		文学研究科	2005. 6. 30	
		リヨン高等師範学校 (リヨン)		電子科学研究所	2010. 3. 26	
	ドイツ連邦共和国	マックスプランク協会フリッツハーバ研究所 (ベルリン)		触媒化学研究センター	2005. 12. 26	
		ブレーメン国際大学 (ブレーメン)	理工学部		2006. 5. 22	
		アルフレッドウェゲナー極地海洋研究所 (ブレーマーハーフェン)		低温科学研究所	2009. 3. 3	
		マックスプランク海洋微生物学研究所 (ブレーメン)			2009. 3. 4	
	ハンガリー共和国	聖イシュトヴァン大学 (ブダペスト)	経済社会科学部 農業環境科学部	農学研究科	2003. 2. 5	※
	クロアチア共和国	ザグレブ大学 (ザグレブ)	人文社会科学部	文学研究科	2009. 2. 18	※
	オランダ王国	ライデン大学 (ライデン)	東欧法律・ロシア研究所	スラブ研究センター	1994. 1. 17	
	ポーランド共和国	ワルシャワ経済大学 (ワルシャワ)		経済学部	1989. 3. 14	
		ウッジ工科大学 (ウッジ)	繊維学部	理学部	1992. 3. 19	
		ポーランド科学アカデミー数学研究所 (ワルシャワ)		理学研究院	2003. 9. 26	
		AGH科学技術大学 (クラコフ)		工学研究科	2007. 8. 26	※
		ポーランド科学アカデミー触媒・表面化学研究所 (クラコフ)			2010. 3. 15	
		西ポメラニアン大学 (シュチェチン)	化学・環境工学研究所	触媒化学研究センター	2010. 3. 17	
	ス ペ イ ン	グダンスク工科大学 (グダンスク)			2010. 3. 18	
		バレンシア工科大学 (バレンシア)	建築学院 土木学院	工学研究科	2006. 1. 9	※
	スウェーデン王国	イエテボリ大学 (イエテボリ)	経営・経済・商法学部	経済学研究科	1996. 10. 28	※
		リンシェーピング大学 (リンシェーピング)	工学部	工学研究科	2000. 8. 24	※
		オックスフォード大学 (オックスフォード)	ロシア・ユーラシア研究センター	スラブ研究センター	2004. 3. 12	
	英 国	ニューカッスル大学 (ニューカッスル)	ナノスケール科学技術研究所	電子科学研究所	2005. 10. 3	
		リーズ大学 (リーズ)	教育・社会科学・法学研究科	教育学研究科	2006. 12. 11	
		エジンバラ大学 (エジンバラ)	獣医校	獣医学研究科	2009. 7. 24	※
		マンチェスター大学 (マンチェスター)	人文科学学部	文学研究科	2009. 12. 9	※
		カーディフ大学 (カーディフ)	カーディフ触媒研究所	触媒化学研究センター	2010. 1. 26	

※学術交流協定の他に学生交流覚書を締結

国・地域名	協定大学名（所在地）		本学の締結部局	締結年月日
ヨーロッパ	カザフスタン共和国	カザフスタン国立教育大学（アルマティ） 大学院	理学研究院	2009. 11. 19
	ロシア連邦	ロシア国立モスクワ教育大学（モスクワ）	教育学部	1995. 8. 3
		ロシア科学アカデミーシベリア支部経済・工業生産組織研究所（ノボシビルスク）	経済学部	1990. 7. 30
		ロシア科学アカデミーシベリア支部地質学・地球物理学研究所・鉱物学連合研究所（ノボシビルスク）	理学部	1992. 3. 10
		ノボシビルスク国立大学（ノボシビルスク）		1993. 6. 18
		ロシア科学アカデミー・ウラル研究所・金属物理学研究所（エカテリンブルグ）	理学研究科	2000. 9. 29
		国立カザン・エネルギー大学（タタルスタン） 経済学・社会学研究所		2005. 1. 28
		ロシア科学アカデミー東洋学研究所（モスクワ）	スラブ研究センター	2005. 10. 17
		ロシア科学アカデミースラブ学研究所（モスクワ）		2006. 6. 6
		サハリ州郷土博物館（ユジノサハリンスク）	総合博物館	2000. 8. 1
		ロシア科学アカデミーシベリア支部・V. N. スカチェフ森林研究所（クラスノヤルスク）	北方生物圏フィールド科学センター	2005. 3. 12
	ウクライナ	ボゴリューボフ理論物理学研究所（キエフ）	理学研究院	2002. 3. 30
北米	カナダ	マクマスター大学（ハミルトン）	マイケル G. デグローテ経営大学院	経済学研究科 ※
		オタワ大学（オタワ）	医学部	2004. 11. 29
	アメリカ合衆国	ويسコンシン大学（マディソン）	ロー・スクール	法学部
		オレゴン・ヘルスサイエンス大学（ポートランド）	歯学部	1974. 1. 1
		ワシントン大学（シアトル）	海洋・水産学部	1988. 6. 24
		メリーランド大学メリーランドバイオテクノロジー研究所	水産学部	1989. 12. 23
		マリノバイオテクノロジー研究センター（ボルチモア）		
		イリノイ大学（シカゴ）	大学院シカゴ校	地球環境科学研究科
		ハーバード大学（ケンブリッジ）	ロシア・ユーラシア研究センター	スラブ研究センター
		スタンフォード大学（スタンフォード）	社会科学研究所	文学研究科
		デラウェア大学（ニューアーク）	触媒科学技術センター	触媒化学研究センター
		ラマー大学（バーモント）	工学部	エネルギー変換マテリアル研究センター
		カリフォルニア大学ロサンゼルス校（ロサンゼルス）	カリフォルニアナノシステム研究所	電子科学研究所
		アイオワ州立大学（エイムズ）	理工技術研究所	触媒化学研究センター
南米	ブラジル連邦共和国	ヴィソーザ大学（ヴィソーザ）	農学研究科	2001. 5. 10
アフリカ	ザンビア共和国	ザンビア大学（ルサカ）	獣医学部	獣医学研究科・獣医学部 1991. 12. 5
	ブルキナファソ	国際水環境技術学院（ワガドゥグー）	工学研究科	2010. 1. 26 ※
			サステイナビリティ学教育研究センター	2010. 3. 15 ※

※学術交流協定の他に学生交流覚書を締結

海外拠点

北海道大学北京オフィス



北京オフィス



日本留学フェア（於：上海）への参加

●設立 2006年

●業務内容

1. 中国の諸大学との留学生及び研究者の交流を促進するために、情報を収集し提供する。
2. 本学の入学試験に関する広報。
3. 大学院入学選抜のための面接試験などの実施。
4. 中国からの留学生などの受け入れに関する連絡調整。
5. 本学教職員の教育研究などの活動支援。
6. 中国に帰国した本学の元留学生、中国に赴任している本学の卒業生などによる本学同窓会の活動支援。
7. 日本の国内企業と中国の大学などとの産学連携への支援。

●所在地・連絡先

中国北京市海淀区中関村北大街151号 北大資源大厦806号
（北京大学キャンパスの南東角付近）
Tel +86-10-5887-6455 Fax +86-10-5887-6456
Email beijing_office@hokudai.cn
開館時間：平日10:00～17:00。
土・日曜日、日本における祝日は休館。

●ウェブサイト（日本語・中国語）

<http://www.hokudai.cn/>

平成22年度計画

■公開講座【教養型】(全学企画)

主 催	講 座 名	開設期間	回数(延時間)	募集人員
高等教育機能開発総合センター	「変化」を見つめるー私たちや地域の未来のためにー	7/1～7/29	8 (16)	100人

■公開講座【教養型】(各部局等の企画)

主 催	講 座 名	開設期間	回数(延時間)	募集人員
文 学 研 究 科	ごかい・誤解?	5/19～7/21	10 (15)	80人
法学研究科附属高等法政教育研究センター	転換期に歴史から学ぶ	7/22～8/19	4 (8)	50人
経 済 学 研 究 科	会計学からみた経営と社会	9/11, 9/25	4 (6)	50人
歯 学 研 究 科	健康のコツ教えます!ー骨元気で健康長生きー	10月頃	1 (3)	200人
工 学 研 究 院	機械工学研究の最前線ーいま、機械工学研究者は何を見ているかー	7/15～8/5	4 (6)	50人
情 報 科 学 研 究 科	くらしの中の情報科学ーネットワークからナノテク・ゲノムまでー	10月～11月	6 (7.5)	30人
水 産 科 学 研 究 院	海に学ぶミラクルバイオワールドー海洋生物の能力を人の暮らしに役立てるー	8/28～10/2	6 (12)	80人
地 球 環 境 科 学 研 究 院	北海道の自然環境再考:その危機的現象をとらえる	8/24～9/28	6 (9)	50人
メディア・コミュニケーション研究院	日常性の中のことばの不思議	6/30～8/4	6 (9)	50人
メディア・コミュニケーション研究院	「学問的」読書の方法	9/27～12/6	10 (15)	50人
観 光 学 高 等 研 究 セ ン タ ー	旅の楽しさを考える	10/28～12/2	6 (9)	60人
保 健 科 学 研 究 院	ようこそ!ヘルスサイエンスの世界へ	11/3	1 (3)	100人
公共政策学連携研究部/地球環境科学研究院	持続可能な低炭素社会	4/8～7/15	14 (21)	30人
ス ラ ブ 研 究 セ ン タ ー	地域大国比較の試み:ロシアを中国やインドと比べたら何が分かるか?	5/10～5/31	7 (14)	80人

■公開講座【専門型】(各部局等の企画)

主 催	講 座 名	開設期間	回数(延時間)	募集人員
高等教育機能開発総合センター	生涯学習計画セミナー	8月	未定	未定
工 学 研 究 院	廃棄物学特別講義ー循環型社会を創るー	4/8～7/29	15 (22.5)	30人
薬 学 研 究 院	北海道大学薬学部生涯教育特別講座 (春季講演会)	6/11	1 (1.5)	150人
薬 学 研 究 院	北海道大学薬学部生涯教育特別講座 (秋季公開シンポジウム・教育講演)	10/16	1 (2)	150人
農 学 研 究 院	食品総合技術監理学	4/13～6/1	7 (21)	5人
公 共 政 策 学 連 携 研 究 部	2010地方議員向けサマースクール	8/18～8/20	1 (17.2)	20人
北 海 道 大 学 病 院	側弯症の診断と治療	7/31	1 (2)	100人
北 海 道 大 学 病 院 (看 護 部)	北海道大学病院専門領域看護師会 看護専門領域別研修講座ー救急看護・Iー	6/10, 17	2 (3)	10人
北 海 道 大 学 病 院 (看 護 部)	北海道大学病院専門領域看護師会 看護専門領域別研修講座ー救急看護・IIー	6/24, 7/8	2 (3)	5人
北 海 道 大 学 病 院 (看 護 部)	北海道大学病院専門領域看護師会 看護専門領域別研修講座ー手術看護ー	7/15	1 (1.5)	20人
北 海 道 大 学 病 院 (看 護 部)	北海道大学病院専門領域看護師会 看護専門領域別研修講座ー重症集中ケアIー	8/19, 26	2 (3)	20人
北 海 道 大 学 病 院 (看 護 部)	北海道大学病院専門領域看護師会 看護専門領域別研修講座ー重症集中ケアIIー	11/4, 18	2 (3)	10人
北 海 道 大 学 病 院 (看 護 部)	北海道大学病院専門領域看護師会 看護専門領域別研修講座ー精神科看護ー	11/11	1 (1.5)	20人
北 海 道 大 学 病 院 (看 護 部)	北海道大学病院看護部ー患者参加型看護ー	12/11, 1/29	2 (5)	50人

■大学等地域開放特別事業等

主 催	講 座 名	開設期間	回数(延時間)	募集人員
北方生物圏フィールド科学センター	音威子府村エコミュージアムセンター野外講座「ビッキの木集い」	6月上旬	1	20人
北方生物圏フィールド科学センター	葉っぱで作る植物図鑑	7/29・30	4	40人
北方生物圏フィールド科学センター	港ふるさと体験学習	7月～9月	未定	未定
北方生物圏フィールド科学センター	海藻標本作成会	8月	1	未定
北方生物圏フィールド科学センター	森のたんけん隊 2011冬	1/13・14	未定	30人
北方生物圏フィールド科学センター	冬の植物園ウォッチングツアー	2/26・27	4	60人
北方生物圏フィールド科学センター	自然体験型地域公開講座「冬の山を歩こう」	3/20	1	20人

平成21年度実績

■公開講座【教養型】(全学企画)

主 催	講 座 名	受講者数
高等教育機能開発総合センター	現代社会と倫理－安全・安心な暮らしを実現するために－	82 (16)

■公開講座【教養型】(各部局等の企画)

主 催	講 座 名	受講者数
高等教育機能開発総合センター	筋トレのウォーキング～北海道らしい健康づくり：「メタボ」と転倒の予防～	14
文 学 研 究 科	老い翔る－人生の達人という夢－	146
法学研究科附属高等法政教育研究センター	経済危機と新しい生活保障	61
経 済 学 研 究 科	経済学の考え方－市場経済をどう捉えるか－	60 (1)
工 学 研 究 科	地球環境対応マテリアル科学の進歩	43 (14)
情 報 科 学 研 究 科	くらしの中の情報科学 (副題：ネットワークからナノテク・ゲノムまで)	96
メディア・コミュニケーション研究院	英語圏の児童向け 学習図書で学ぶ英語表現	39
メディア・コミュニケーション研究院	イタリアの風景	57
水 産 科 学 研 究 院	世界に広がる日本の水産 (函館市)	36 (4)
地 球 環 境 科 学 研 究 院	異分野融合によって新たな環境科学を起こす	70 (2)
ス ラ ブ 研 究 セ ン タ ー	世紀を超えて：東欧革命後の20年を振り返る	86
観 光 学 高 等 研 究 セ ン タ ー	地域再生と観光の力	73

■公開講座【専門型】(各部局等の企画)

主 催	講 座 名	受講者数
高等教育機能開発総合センター	生涯学習計画セミナー	13
工 学 研 究 科	廃棄物学特別講義－循環型社会を創る－	3
農 学 研 究 院	生命環境倫理学	0 (3)
公 共 政 策 学 連 携 研 究 部	持続可能な低炭素社会	83
公 共 政 策 学 連 携 研 究 部	2009地方議員向けサマースクール	24
北 海 道 大 学 病 院 (看 護 部)	北大病院専門領域看護師会看護専門領域別研修講座－手術看護－	中止
北 海 道 大 学 病 院 (看 護 部)	北大病院専門領域看護師会看護専門領域別研修講座－救急看護－	3 (8)
北 海 道 大 学 病 院 (看 護 部)	北大病院専門領域看護師会看護専門領域別研修講座－重症集中ケアⅠ－	5 (2)
北 海 道 大 学 病 院 (看 護 部)	北大病院専門領域看護師会看護専門領域別研修講座－重症集中ケアⅡ－	3
北 海 道 大 学 病 院 (看 護 部)	北大病院専門領域看護師会看護専門領域別研修講座－がん性疼痛看護－	1
北 海 道 大 学 病 院 (看 護 部)	北大病院専門領域看護師会看護専門領域別研修講座－患者参加型看護Ⅰ－	20
北 海 道 大 学 病 院 (看 護 部)	北大病院専門領域看護師会看護専門領域別研修講座－患者参加型看護Ⅱ－	16
北 海 道 大 学 病 院 (看 護 部)	北大病院看護師会－看護研究発表会－	9

■大学等地域開放特別事業等

主 催	講 座 名	受講者数
北方生物圏フィールド科学センター	音威子府村エコミュージアムセンター野外講座「ビッキの木の集い」(中川研究林)	16
北方生物圏フィールド科学センター	いろいろな葉っぱをさがそう－初めてでもできる植物採集と標本づくり－	34
北方生物圏フィールド科学センター	卵成熟・受精・初期発生実体験講座 (厚岸臨海実験所)	中止
北方生物圏フィールド科学センター	森のたんけん隊2010冬 (雨龍研究林)	29
北方生物圏フィールド科学センター	冬の植物園 ウォッチングツアー	34
北方生物圏フィールド科学センター	自然体験型地域公開講座「冬の山を歩こう」	中止

■その他 (公開講演等)

主 催	講 座 名	受講者数
歯 学 研 究 科	市民公開特別講座「お口の中から健康を科学してみよう！」	94
教 育 学 研 究 院	体育・スポーツの話題	25
保 健 科 学 研 究 院	ようこそ！ヘルスサイエンスの世界へ	66
北 海 道 大 学 病 院	市民公開講座「側弯症の診断と治療」	80

※受講者数欄内()は、1回のみの受講者延べ数で外数

産学官連携・研究支援

■ 産学連携本部

本学の知的財産及び産学官連携に係る基本方針に基づき、知的財産の創造、保護及び活用を整備するとともに、産業界等との連携推進を図ることにより本学の知的財産を社会に還元し、産業界等の発展に資する。

部門等	担当
事業化推進部	本学の産学官連携及び知的財産に関する総合窓口として、産学官連携の企画立案、シーズ発掘、技術移転事業、包括連携、大学発ベンチャーの支援等を行う。
知的財産部	全学の知的財産を一元的に管理する部門として、知的財産の審査・維持・管理等のほか、人材育成、成果有体物等の管理を担当する。
広域連携室	他大学等と連携協力して行う技術移転活動の窓口
連携管理部	地域連携、産学官連携関係係関及び学内の産学官連携担当部門等との連絡調整、広報等を担当する。

■ 創成研究機構

本学の研究戦略に基づく重点的な研究事業の推進及び支援を行うとともに、先端的な科学技術の振興に寄与する人材を育成することにより、新たな学問領域の創成及び先端的な科学技術の振興を図る。

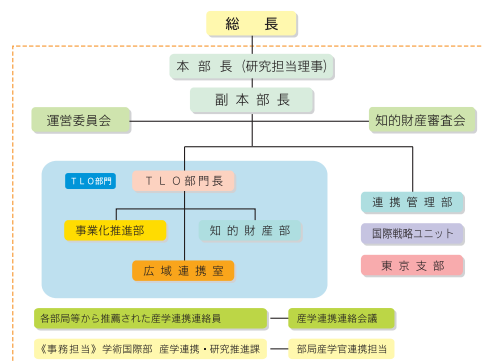
部門等	担当
研 究 部	本学の研究戦略に基づく新規重点研究テーマの創出，若手人材の育成，基礎レベルにある産学連携研究テーマの支援を行う。
研究支援室	本学の研究戦略に基づく新規重点研究テーマ創出のための研究連携，新たな研究資金獲得に向けたプロジェクト企画，資金提供団体やその他の協力機関との調整等の支援を行う。
共用機器管理センター	本学の職員，学生その他の関係者が共同して利用する研究機器を整備，管理及び運用し，試料の分析に関する業務を行うとともに，本学が保有する研究機器の本学の職員，学生その他の関係者ならびに本学以外の科学技術に関する研究者及び技術者への供用を促進する。
未来創薬・医療イノベーション推進室	未来創薬・医療イノベーション拠点形成プロジェクト推進のために，研究者と企業，関係省庁との間で行われる業務等の支援・推進全般を担う。

■ 民間企業・研究機関等との連携協定

相 手 方	協定締結年月日
株式会社日立製作所	平成15年 4 月 1 日
富士電機ホールディングス株式会社	平成16年 7 月 1 日
日本政策投資銀行	平成16年 7 月22日
独立行政法人物質・材料研究機構（NIMS）	平成16年12月 7 日
独立行政法人産業技術総合研究所	平成17年 2 月10日
株式会社電通北海道	平成17年 2 月23日
独立行政法人国際協力機構（JICA）	平成17年 4 月12日
株式会社北洋銀行	平成17年 6 月24日
帝人株式会社	平成18年 1 月26日
独立行政法人科学技術振興機構（JST）	平成20年10月16日
独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）	平成20年10月31日
日本電信電話株式会社・東日本電信電話株式会社（NTT・NTT東日本）	平成20年12月 9 日
財団法人北海道科学技術総合振興センター（ノーステック財団）	平成21年 6 月 2 日
函館工業高等専門学校・苫小牧工業高等専門学校・釧路工業高等専門学校・旭川工業高等専門学校	平成21年12月15日

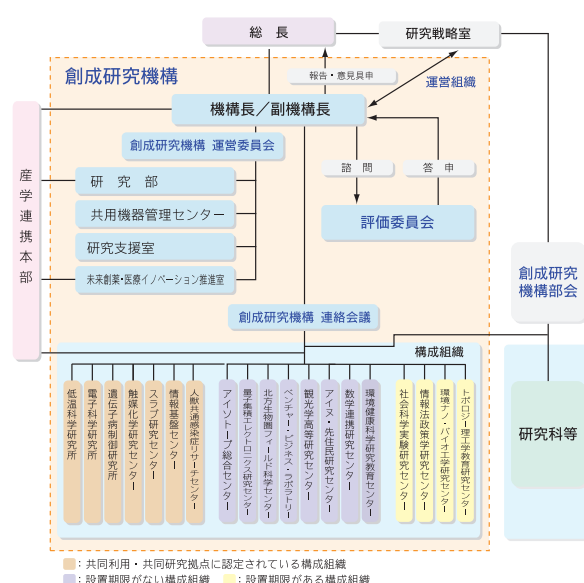
Center for Innovation and Business Promotion

産学連携本部組織



Creative Research Institution (CRIS)

創成研究機構 組織図



■ 北海道地域における大学等の知的財産の技術移転に関する連携協定

相手方	協定締結年月日
北見工業大学	平成21年 6 月 4 日
酪農学園大学	平成21年 6 月 4 日
室蘭工業大学	平成21年10月 5 日

■ 地域連携協定

相手方	協定締結年月日
北海道・札幌市・北海道経済連合会・北海道経済産業局	平成16年 7 月30日

■ 報道機関との提携・協力

プロジェクト名	相手方	基本合意年月日
ポブラプロジェクト	株式会社朝日新聞社・北海道テレビ放送株式会社	平成17年 7 月20日
北プロジェクト	株式会社北海道新聞社	平成17年 7 月20日

■ J I C A（国際協力機構）研修員受入れ

(地域別研修)

コース名	期 間	受入れ人数
保健医療／A I D S の予防及び対策（B） （対象：複数国）	平成21年 5 月26日～平成21年 6 月20日	9 名
都市上下水道事業管理コース（対象：南東欧地域）	平成21年 6 月30日～平成21年 8 月 1 日	5 名

(国別研修)

コース名	期 間	受入れ人数
個別研修コース	1 ヶ月～9 ヶ月	4 名

(円借款事業による研修)

コース名	期 間	受入れ人数
中国人材育成事業個別研修コース	6 ヶ月～12 ヶ月	7 名
中国安徽省地方都市環境整備事業研修	平成21年 7 月 8 日～平成21年 7 月20日	14名
中国河北省廃棄物資源化・処理技術研修	平成21年 7 月13日～平成21年 8 月 8 日	10名

■ 大学発ベンチャー

○ 43社

■ 法人所有特許（平成22年 4 月 1 日）

特許

部 局 名	保有件数	
	国内	海外
医 学 研 究 科	5 (1)	1
情 報 科 学 研 究 科	16 (11)	18 (17)
水 産 科 学 研 究 院	8 (5)	
地 球 環 境 科 学 研 究 院	2 (1)	
理 学 研 究 院	1	2
薬 学 研 究 院	2	1 (1)
農 学 研 究 院	5 (3)	2 (2)
先 端 生 命 科 学 研 究 院	1	3 (3)
保 健 科 学 研 究 院	1 (1)	
工 学 研 究 院	23 (17)	11 (10)
低 温 科 学 研 究 所	1	
電 子 科 学 研 究 所	8 (2)	5 (1)
遺 伝 子 病 制 御 研 究 所	2	1
触 媒 化 学 研 究 セ ン タ ー	2	1 (1)
量子集積エレクトロニクス研究センター	1 (1)	
創 成 研 究 機 構	17	7
計	95 (42)	52 (35)

() 数字は共同出願件数で内数

国 名 等	保有件数
中 華 人 民 共 和 国	7 (6)
香 港	1
大 韓 民 国	5 (5)
台 湾	1 (1)
シ ン ガ ポ ー ル	1
フ ラ ン ス	3 (2)
ド イ ツ 連 邦 共 和 国	3 (2)
デ ン マ ー ク	1 (1)
ス ウ ェ ー デ ン	1 (1)
フ ィ ン ラ ン ド	1 (1)
イ ギ リ ス	4 (3)
ヨ ー ロ ッ パ 特 許 庁	2 (1)
ア メ リ カ 合 衆 国	22 (12)
計	52 (35)

() 数字は共同出願件数で内数

品種登録

部 局 名	保有件数
農 学 研 究 院	4

教育・研究プログラム

※採択年度順

■科学技術振興調整費

年 度	構 想 名	代 表 者
平成18～27年度	先端融合領域イノベーション創出拠点の形成－未来創薬・医療イノベーション拠点形成－	総長 佐伯 浩
平成19～23年度	若手研究者の自立的な研究環境整備促進－北大基礎融合科学領域リーダー育成システム－	総長 佐伯 浩
平成21～25年度	イノベーション創出若手研究人材養成－北大バイオニア人材協働育成システムの構築－	総長 佐伯 浩
平成21～25年度	女性研究者養成システム改革加速－輝け、女性研究者！根を張れ、花咲け、実を結べ@北大－	総長 佐伯 浩
平成21～25年度	地域再生人材創出拠点の形成－新水産・海洋都市はこだてを支える人材養成－	総長 佐伯 浩
平成21～25年度	戦略的環境リーダー育成拠点形成－持続社会構築環境リーダー・マイスター育成－	総長 佐伯 浩

■「グローバルCOEプログラム」(研究拠点形成費補助金)

年 度	分 野	拠点プログラム名	拠点リーダー
平成19～23年度	化学、材料科学	触媒が先導する物質科学イノベーション	工 学 研 究 院 特任教授 宮浦 憲夫
	情報、電気、電子	知の創出を支える次世代IT基盤拠点	情 報 科 学 研 究 科 教授 有村 博紀
	人文科学	心の社会性に関する教育研究拠点	文 学 研 究 科 教授 亀田 達也
平成20～24年度	医学系	人獣共通感染症国際共同教育研究拠点の創成	獣 医 学 研 究 科 教授 喜田 宏
	社会科学	多元分散型統御を目指す新世代法政策学	法 学 研 究 科 教授 田村 善之
	学際・複合・新領域	統合フィールド環境科学の教育研究拠点形成	環 境 科 学 院 准教授 山中 康裕
平成21～25年度	学際・複合・新領域	境界研究の拠点形成	スラブ研究センター 教授 岩下 明裕

■橋渡し研究支援推進プログラム

【複数の大学が連携して行う事業】

年 度	連携大学	事 業 名	業務主任者
平成19～23年度	札幌医科大学、北海道大学、旭川医科大学	オール北海道先進医学・医療拠点形成	総長 佐伯 浩

■イノベーションシステム整備事業(地域イノベーションクラスタープログラム) (旧名称：知的クラスター創成事業第Ⅱ期)

年 度	事 業 名	研究代表者
平成19～23年度	さっぽろバイオクラスター構想“Bio-S”	先端生命科学研究院 教授 五十嵐 靖之

■先端研究施設共用イノベーション創出事業

年 度	事 業 名	機関代表者
平成19～23年度	先端的大規模計算利用サービス	総長 佐伯 浩
平成19～23年度	安定同位元素イメージング技術による産業イノベーション	総長 佐伯 浩
平成19～23年度	北海道イノベーション創出ナノ加工・計測支援ネットワーク	電子科学研究所 教授 三澤 弘明

■イノベーションシステム整備事業(大学等産学官連携自立化促進プログラム「機能評価支援型」) (旧名称：「産学官連携戦略展開事業」(戦略展開プログラム))

年 度	区 分	業務主任者
平成20～24年度	大学等産学官連携自立化促進プログラム(機能評価支援型) 「国際的な産学官連携活動の推進」	産学連携本部長 岡田 尚武

■大学院教育改革支援プログラム

年 度	実 施 分 野	教育プロジェクト名	実施担当者
平成20～22年度	理工農系	融合生命科学プロフェッショナルの育成	先端生命科学研究院 教授 川端 和重

■理数学生応援プロジェクト

年 度	取 組 名	実施担当者
平成20～23年度	理数応援ニューフロンティア・プロジェクト ー段階的研究体験と学内インターンシップを基盤とした人材育成ー	理学研究院 教授 小野寺 彰

■質の高い大学教育推進プログラム

年 度	取 組 名	実施担当者
平成20～22年度	博物館を舞台とした体験型全人教育の推進	総合博物館 教授 高橋 英樹

■大学病院連携型高度医療人養成推進事業

【複数の大学が連携して行う事業】

年 度	連携大学	プログラム名	実施担当者
平成20～24年度	北海道大学, 旭川医科大学, 札幌医科大学, 東京慈恵会医科大学, 弘前大学	自立した専門医を育むオール北海道プラス1	医学研究科 教授・副病院長 近藤 哲

■大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム

【複数の大学が連携して行う事業】

年 度	連携大学	プログラム名	実施担当大学
平成20～22年度	酪農学園大学, 北海道大学(農学研究院), 帯広畜産大学	食の安全・安心の基盤としての地域拠点型 教育研究システムのネットワーク形成	酪農学園大学
平成21～23年度	同志社大学, 北海道大学(高等教育機能開発総合センター), 大阪府立大学, 甲南大学	相互評価に基づく学士課程教育質保証システムの創出 ー国公立4大学IRネットワークー	同志社大学

■国際化拠点整備事業

【国際共同・連携支援（総合戦略型）】

年 度	取 組 名	代 表 者
平成20～22年度	国際教育連携を加速させる総合支援機能構築	総長 佐伯 浩

■未来の科学者養成講座

年 度	プログラム名	実施担当大学
平成21～23年度	北海道から世界と未来へ発信する環境科学 ー分子からフィールドまでー	副理事・農学研究院 教授 / 女性研究者支援室長 有賀 早苗

■「国際協カイニシアティブ」教育協力拠点形成事業

年 度	活動テーマ	課題代表者
平成21年度	持続可能な発展に向けた教育に励む大学の価値と魅力を伸ばす評価モデルづくり	理事・副学長 本堂 武夫
平成22年度	発展途上国の大学におけるESD推進のためのESDアクションモデルアーカイブづくり	理事・副学長 本堂 武夫

■最先端研究開発支援プログラム

年 度	研究課題名	中心研究者
平成21～25年度	持続的発展を見据えた「分子追跡放射線治療装置」の開発	医学研究科 教授 白土 博樹

■共同利用・共同研究拠点

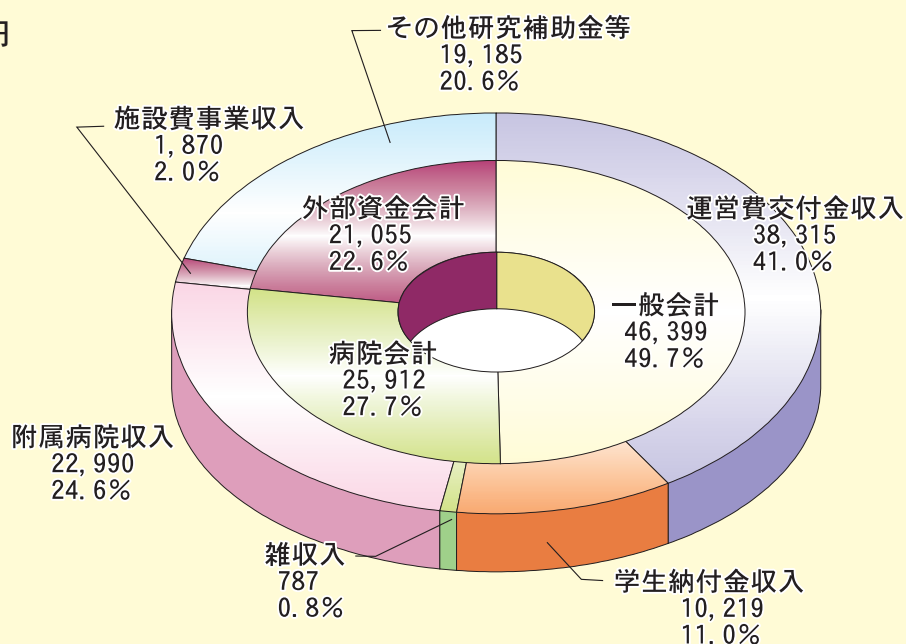
年 度	研究施設名	研究分野	共同利用・共同研究拠点名	備 考
平成22～27年度	低温科学研究所	低温科学	低温科学研究所	単独型
平成22～27年度	遺伝子病制御研究所	基礎医学	細菌やウイルスの持続性感染により 発生する感染癌の先端的研究拠点	単独型
平成22～27年度	触媒化学研究センター	触媒化学, サステナブル触媒工学	触媒化学研究所	単独型
平成22～27年度	スラブ研究センター	地域研究	スラブ・ユーラシア地域研究に かかわる拠点	単独型
平成22～27年度	人獣共通感染症リサーチセンター	人獣共通感染症学	人獣共通感染症研究所	単独型
平成22～27年度	電子科学研究所	物質・デバイス科学	物質・デバイス領域共同研究拠点	ネットワーク型 (中核機関：大阪大学産業科学研究所)
平成22～27年度	情報基盤センター	計算科学, 計算機科学	学際大規模情報基盤共同利用・ 共同研究拠点	ネットワーク型 (中核機関：東京大学情報基盤センター)

平成22年度 収入・支出予算

収入予算

(単位：百万円)

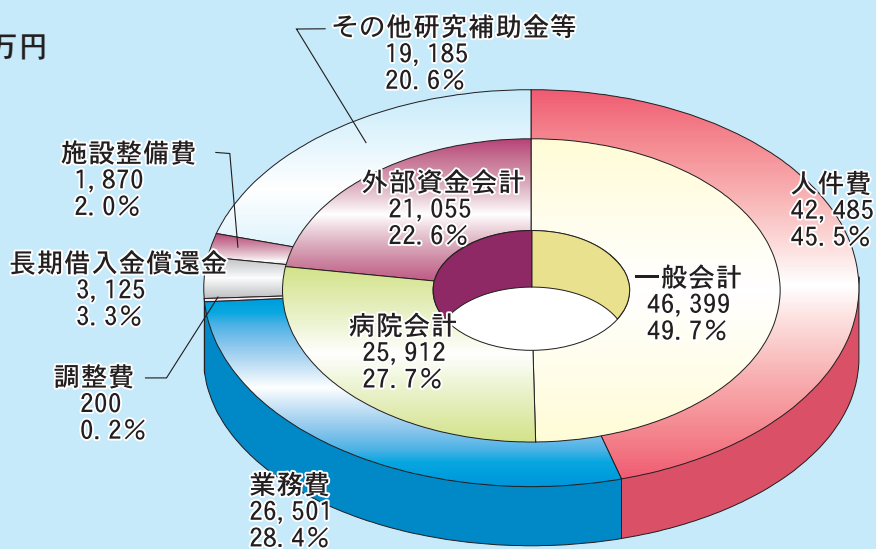
93,366百万円



支出予算

(単位：百万円)

93,366百万円



※収入予算及び支出予算については内円の会計区分と外円の事項は一致しない。

科学研究費補助金等

■ 科学研究費補助金（平成21年度）

研究種目	件数(件)	交付金額(千円)		
		直接経費	間接経費	合計
新学術領域研究	43	328,900	98,670	427,570
特別推進研究	4	206,400	61,920	268,320
特定領域研究	95	633,819		633,819
基盤研究(S)	13	231,800	69,540	301,340
基盤研究(A)	97	894,100	268,230	1,162,330
基盤研究(B)	294	1,278,950	383,685	1,662,635
基盤研究(C)	333	395,400	118,620	514,020
挑戦的萌芽研究	127	189,400		189,400
若手研究(S)	3	53,100	15,930	69,030
若手研究(A)	34	165,000	49,500	214,500
若手研究(B)	268	363,922	109,176	473,098
若手研究(スタートアップ)	53	55,040	16,512	71,552
特別研究促進費				
研究成果公開促進費(データベース)	1	9,200		9,200
研究成果公開促進費(学術図書)	4	10,600		10,600
奨励研究	8	4,620		4,620
特別研究員奨励費	265	196,090		196,090
合計	1,642	5,016,341	1,191,783	6,208,124

■ 若手研究者の採用(平成21年度)

区分	資格	採用数(人)		
非常勤研究員	PD			35
特別研究員 (日本学術振興会)	DC1	38	98	119
	DC2	47		
	PD	13		
	SPD	0		
外国人特別研究員 (日本学術振興会)	PD		21	
合計				154

科学研究費補助金等

■ 環境省科学研究費補助金（平成21年度）

研究種目	件数(件)	交付金額(千円)		
		直接経費	間接経費	合計
循環型社会形成科学研究費補助金	1	20,627	4,977	25,604
合計	1	20,627	4,977	25,604

■ 外部資金受入(平成21年度)

区分	件数(件)	受入金額(千円)
共同研究	461	1,141,106
受託研究	504	4,873,445
その他補助金等(競争的資金分)	32	3,206,615
その他受託事業等収入	-	799,255
寄附金収入	6,140	2,904,972
合計		12,925,393

■ 厚生労働科学研究費補助金（平成21年度）

研究事業	件数(件)	交付金額(千円)		
		直接経費	間接経費	合計
治験推進研究事業	2	5,150		5,150
新興・再興感染症研究事業	1	23,133		23,133
免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業	3	52,506		52,506
こころの健康科学研究事業	1	18,080	5,420	23,500
化学物質リスク研究事業	1	46,340	13,900	60,240
がん臨床研究事業	3	34,559	7,119	41,678
エイズ対策研究事業-若手育成型	1	1,190		1,190
健康安全・危機管理対策総合研究事業	2	61,736	2,626	64,362
障害保健福祉総合研究事業	1	5,400		5,400
創薬基盤推進研究事業	2	25,799	7,739	33,538
政策科学推進研究事業	1	1,226		1,226
政策創薬総合研究事業	1	20,000		20,000
地域医療基盤開発推進研究事業	4	20,000		20,000
難治性疾患克服研究事業	5	100,000	16,000	116,000
合計	28	415,119	52,804	467,923

(注) 共同研究、受託研究は競争的資金を含む。
 (注) その他補助金等(競争的資金分)の内訳
 研究拠点形成費補助金、産業技術研究助成事業、
 建設技術研究開発助成制度、科学技術総合推進
 費補助金、先端研究助成基金助成金
 (注) その他受託事業等収入の内訳
 医薬品等の臨床研究、病的材料検査料金等を含む。

寄附講座等 設置部署	講 座 等 名	設 置 期 間	寄 附 者 名
医 学 研 究 科	分子イメージング講座	平成17年 4 月 1 日～平成23年 3 月31日	(株)日立製作所
	置換外科・再生医学講座	平成18年 4 月 1 日～平成23年 3 月31日	アステラス製薬(株)
	人工関節・再生医学講座	平成19年 4 月 1 日～平成25年 3 月31日	ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)メディカルカンパニー、 北海道厚生農業協同組合連合会
	時間医学講座	平成18年 4 月 1 日～平成23年 3 月31日	(株)ベルク コンチネンタル貿易(株)
	分子制御外科学講座	平成19年 6 月 1 日～平成24年 3 月31日	協和発酵キリン(株)
	炎症眼科学講座	平成20年 4 月 1 日～平成23年 3 月31日	手稲溪仁会病院, (株)富士メガネ, 回明堂眼科医院, ささもと眼科クリニック, 長田眼科, 藤岡眼科病院, 花田眼科, 大橋眼科, 南11条眼科, 明治眼科医院, よいち北川眼科医院, 竹内眼科医院, 青木功喜, 加瀬学, 大塚秀勇, 桑田信一, 広瀬茂人, 中沢洋子, めぐみの眼科
	総合女性医療システム学講座	平成20年 6 月 1 日～平成25年 3 月31日	北海道厚生農業協同組合連合会
	探索病理学講座	平成20年10月 1 日～平成24年 3 月31日	医療法人社団北斗 北斗病院, 協和発酵キリン(株), ダコ・ジャパン(株)
	脊椎・脊髄先端医学講座	平成21年 4 月 1 日～平成26年 3 月31日	(株)口パート・リード商会, 小林病院
	眼循環代謝学講座	平成22年 4 月 1 日～平成25年 3 月31日	(株)ニデック
工 学 研 究 院	バイオウェストマネジメント工学分野	平成21年10月 1 日～平成24年 9 月30日	(株)大林組, 鹿島建設(株), (株)環境総合テクノス, 三友プラントサービス(株), (株)大建設計, 大成基礎設計(株), 太陽工業(株), 北海道ガス(株), 有機系廃棄物資源循環資源システム (ORS) 研究会
	寒冷地河川工学分野	平成21年11月 1 日～平成24年10月31日	(財)北海道河川防災研究センター
工学研究院附属 エネルギー・マ テリアル融合領 域研究センター	長寿命・高信頼性コーティングシステム分野	平成21年 7 月 1 日～平成24年 6 月30日	日東紡績(株)
水産科学研究院	水産総合基盤システム科学分野	平成19年 6 月 1 日～平成24年 3 月31日	日本データーサービス(株), 勇建設(株), (株)アルファ水工コンサルタンツ, 岩倉建設(株), 北日本港湾コンサルタント(株), (株)吉本組, 藤建設(株), 小針土建(株), 近藤工業(株), (株)西村組, 三協建設(株), 島田建設(株), (株)菅原組, (株)高木組, (株)中田組, 萩原建設工業(株), 北興工業(株), (株)松本組, 堀松建設工業(株), (株)森川組, (株)濱谷建設, 北海道電力(株), 北電総合建設(株), (株)エコニクス, (株)不動テトラ
薬 学 研 究 院	医薬品リスク管理学(アインファーマシーズ) 分野	平成18年12月 1 日～平成24年11月30日	(株)アインファーマシーズ
	神経病理・病態生化学 (I B L) 分野	平成19年 4 月 1 日～平成24年 3 月31日	(株)免疫生物研究所 (I B L) 清藤 勉
	生体情報科学 (HSS・北海道和光純薬) 分野	平成20年 4 月 1 日～平成25年 3 月31日	北海道システム・サイエンス(株) 北海道和光純薬(株)
農 学 研 究 院	微生物新機能開発学分野	平成21年10月 1 日～平成26年 9 月30日	(財)発酵研究所
先 端 生 命 科 学 研 究 院	糖鎖機能解析分野 (住友ベークライト)	平成20年11月 1 日～平成22年10月31日	住友ベークライト(株)
	健康状態の定量化(フィールファイン) 分野	平成21年 7 月 1 日～平成24年 6 月30日	フィールファイン(株)
保健科学研究院	脳機能画像学分野	平成21年 4 月 1 日～平成23年 3 月31日	石塚 龍弥
	食品機能解析・保健栄養学(渡辺オイスター) 分野	平成22年 1 月 1 日～平成23年12月31日	(株)渡辺オイスター研究所
公 共 政 策 学 連 携 研 究 部 附 属 公 共 政 策 学 研 究 セ ン タ ー	社会資本研究分野	平成20年 4 月 1 日～平成23年 3 月31日	(財)沿岸技術研究センター
北海道大学病院	分子追跡放射線医療寄附研究部門	平成18年 4 月 1 日～平成23年 3 月31日	北海道電力(株) (株)日立製作所 (株)バリアンメディカルシステムズ シー・エム・エス ジャパン(株)
	地域健康社会寄附研究部門	平成21年 4 月 1 日～平成23年 3 月31日	(株)アークス, (株)ホールセールスターズ, (株)モロオ, (株)北海道バイオインダストリー, (株)さくらパートナー, (株)ヒューエンス, (株)スズケン, (株)アンビックス, キョーリンリメディオ(株), (株)ヒューリンクス
電子科学研究所	ニコンバイオイメージングセンター研究部門	平成17年10月 1 日～平成23年 9 月30日	(株)ニコンインステック
遺 伝 子 病 制 御 研 究 所	マトリックスメディスン研究部門	平成16年 4 月 1 日～平成26年 3 月31日	アステラス製薬(株)
	ROYCE' 健康バイオ研究部門	平成18年 4 月 1 日～平成23年 3 月31日	(株)ロイズコンフェクト
観 光 学 高 等 研 究 セ ン タ ー	観光地域マネジメント寄附講座研究部門	平成19年 4 月 1 日～平成24年 3 月31日	東日本旅客鉄道(株), 北海道旅客鉄道(株)
	クボタ農地再生・ふるさと起業研究部門	平成22年 4 月 1 日～平成25年 3 月31日	(株)クボタ
	明治乳業「乳の価値創造研究」研究部門	平成18年 7 月 1 日～平成23年 6 月30日	明治乳業(株)
創 成 研 究 機 構	J A P E X 地球エネルギーフロンティア 研究部門	平成21年 4 月 1 日～平成26年 3 月31日	石油資源開発(株)

(敬称略)

区 分	土 地 (㎡)	建物 (延面積㎡)
事 務 局	305, 228	32, 949
附 属 図 書 館	15, 397	22, 085
文 学 部	25, 746	36, 624
教 育 学 部		
法 学 部		
経 済 学 部		
文学部二風谷研究室	15, 087	303
文学部斜里研究室	661	126
理 学 部	44, 327	68, 117
理 学 院		
浦 河 地 震 観 測 所	974	202
えりも地殻変動観測所	(えりも町等から借入)	251
札 幌 地 震 観 測 所	(私有地借入)	234
南新川地震観測井施設	392	28
地震予知観測点、坑道井戸、検潮所	(根釧西部森林管理署等から借入)	453
有 珠 火 山 観 測 所	3, 598	505
松前大島地震観測施設	50	
苫小牧宇宙観測施設	苫小牧研究林敷地共用	105
医 学 部	151, 333	51, 264
保 健 科 学 院		10, 220
歯 学 部		23, 304
大学病院（歯学）		92, 180
（医学）		
薬 学 部	20, 014	10, 675
工 学 部	131, 831	124, 158
農 学 部	51, 458	43, 220
獣 医 学 部	40, 859	13, 045
動 物 病 院		2, 801
水 産 学 部	88, 785	30, 956
網 干 場	7, 431	500
水産学部洞爺湖	102, 494	
国際広報メディア・観光学院	1, 187	2, 500
環 境 科 学 院	17, 159	17, 408
低 温 科 学 研 究 所	31, 781	10, 901
雪 崩 観 測 実 験 室	天塩研究林敷地共用	104
苫小牧凍上観測室	苫小牧研究林敷地共用	81
母子里融雪観測室	雨龍研究林敷地共用	107
電子科学研究所	4, 550	5, 419
遺伝子病制御研究所	大学病院敷地共用	
情報基盤センター	7, 810	6, 463
アイソトープ総合センター	大学病院敷地共用	2, 756
留 学 生 セ ン タ ー	4, 677	1, 594
高等教育機能開発総合センター	35, 828	24, 605
北方生物圏フィールド科学センター	42, 538	5, 715
天 塩 研 究 林	223, 521, 218	1, 892
中 川 研 究 林	180, 668, 255	3, 217
雨 龍 研 究 林	214, 869, 903	2, 030
苫 小 牧 研 究 林	27, 146, 245	4, 428
檜 山 研 究 林	1, 014, 132	569
和 歌 山 研 究 林	4, 291, 291	977
名寄林木育種試験地	178, 435	1, 677
豊 平 試 験 地	939, 838	37
忍 路 試 験 地	13, 662	

区 分	土 地 (㎡)	建物 (延面積㎡)
生 物 生 産 研 究 農 場	509, 173	5, 583
余 市 果 樹 園	57, 939	723
植 物 園	133, 328	3, 359
静 内 研 究 牧 場	4, 653, 541	5, 999
洞 爺 臨 湖 実 験 所	15, 087	717
臼 尻 水 産 実 験 所	4, 609	1, 414
七 飯 淡 水 実 験 所	10, 915	444
忍 路 臨 海 実 験 所	1, 416	398
厚 岸 臨 海 実 験 所	397, 181	2, 668
室 蘭 臨 海 実 験 所	56, 644	830
創 成 研 究 機 構	36, 538	31, 824
人獣共通感染症リサーチセンター	10, 350	3, 126
保 健 管 理 セ ン タ ー	事務局敷地共用	761
情報教育館（放送大学を含む）	高等教育機能開発総合センター敷地共用	4, 029
体 育 施 設	177, 959	16, 288
新 馬 術 部	19, 830	474
小 樽 ヨ ッ ト 艇 庫	7, 629	848
茨 戸 艇 庫	2, 332	
奥 手 稲 山 の 家	(石狩森林管理署から借入)	119
ヘルペチヤヒュッテ		27
空 沼 小 屋		102
無 意 根 小 屋	(私有地等から借入)	88
パラダイスヒュッテ		154
ク ラ ー ク 会 館	9, 610	5, 772
福利厚生施設（4箇所）	10, 660	7, 259
大滝セミナーハウス	23, 966	2, 380
外国人研究者等宿泊施設	6, 723	2, 569
新外国人研究者等宿泊施設	2, 940	建設中
桑 園 国 際 交 流 会 館	14, 177	6, 009
南 新 川 国 際 交 流 会 館	1, 861	2, 285
寄 宿 舎 （ 恵 迪 寮 ）	18, 113	11, 199
女 子 寮 （ 霜 星 寮 ）	1, 345	1, 643
寄宿舎（北農寮）・ゲストハウスおしよろ	7, 987	3, 188
フ ァ ミ リ ー ハ ウ ス	大学病院敷地共用	529
納 骨 堂	160	23
旧医学部附属病院登別分院	30, 059	4, 263
旧 流 氷 研 究 施 設	4, 056	1, 244
宿 舎		
札 幌 キ ャ ン パ ス	19, 743	10, 999
札幌市内（キャンパス外）	37, 648	23, 959
函 館 市 内	3, 768	3, 181
そ の 他 の 地 方	41, 919	3, 611
看 護 師 宿 舎	6, 457	4, 463
計	札幌市内（札幌キャンパス）	1, 776, 248
	札幌市内（その他）	1, 112, 319
	函館市内	105, 149
	その他の地方施設	657, 136, 120
総 計	660, 129, 836	831, 336

船	おしよろ丸 1, 396トン
（ 主 要 な も の ）	う し お 丸 179トン

札幌キャンパス・函館キャンパス

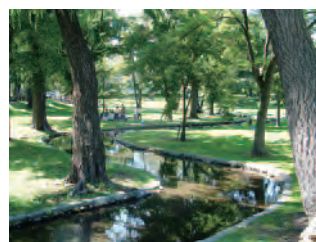
■札幌キャンパス



古河講堂



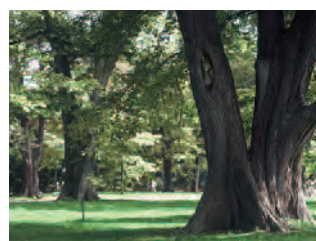
第一農場



中央ローンを流れるサクシュコトニ川



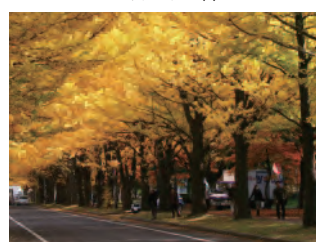
クラーク像



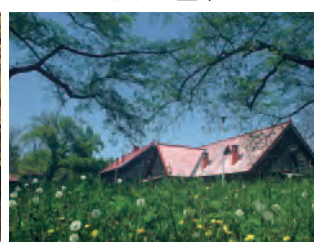
エルムの森



ポプラ並木

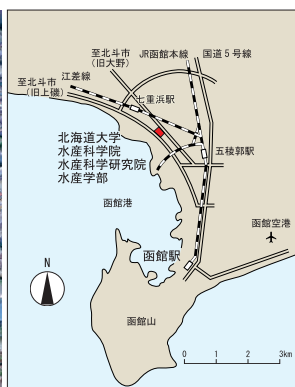


イチョウ並木



札幌農学校第二農場

■函館キャンパス

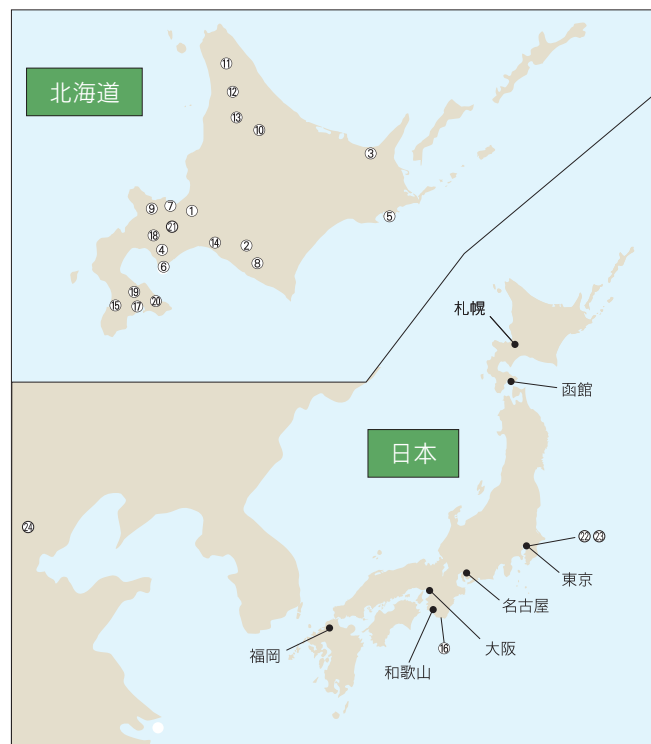


札幌キャンパス施設配置図



施設所在地一覧

平成22年 4 月 1 日現在



学外オフィス

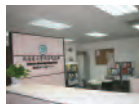
■東京オフィス



- ①教職員の活動拠点
- ②大学情報・入試情報提供の場
- ③学生の就職活動支援拠点(各種セミナー実施会場)
- ④同窓生の交流の場

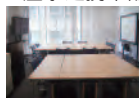
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目7の12サピアタワー10階
Tel・Fax 03-3211-2055 E-mail: tokyo@general.hokudai.ac.jp
開館時間: 平日10:00~18:00, 土・日曜日, 祝祭日, 年末年始
(12月29日~1月3日)は休館。

■北京オフィス (p. 36参照)



中国の諸大学等との交流促進のための情報収集・交渉・行事実施等
中国北京市海淀区中関村北大街151号北大資源大廈806号
(北京大学キャンパスの南東角付近)
Tel +86-10-5887-6455 Fax +86-10-5887-6456
E-mail: beijing_office@hokudai.cn
URL: http://www.hokudai.cn/
開館時間: 平日10:00~17:00, 土・日曜日, 日本における祝日は休館。

■産学連携本部東京支部



企業等との連携交渉や, 面談要請に対する相談
各種イベント時の交渉及び情報収集等
〒105-0023 東京都港区芝浦3-3-6キャンパス・
イノベーションセンター3階305室
Tel 03-5440-9056 E-mail: chizai@mcip.hokudai.ac.jp
開館時間: 平日 9:00~21:00

■北大会館



北大関西同窓会の協力により, 大学情報・入試情報などの広報誌を配布。
〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目2-2-200 大阪駅前第2ビル2階
Tel・Fax 06-6343-3736
年末年始, お盆は休館。臨時休館日あり。

略図番号	施設名	郵便番号	所在地	電話番号
①	監査室	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	(011) 716-2111 (代表) 別途, ダイヤルイン化 【(011) 706- 内線番号】
	事務局 (総務部各課, 企画部企画調整課・調査分析課, 財務部各課, 学術国際部研究協力課・国際企画課, 施設部各課)	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
	事務局 (企画部情報企画課・情報基盤課)	〒060-0811	札幌市北区北11条西5丁目	
	事務局 (学務部学生支援課・教務課・入試課)	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	
	事務局 (学務部キャリアセンター)	〒060-0808	札幌市北区北8条西8丁目	
	事務局 (学術国際部産学連携・研究推進課)	〒001-0021	札幌市北区北21条西10丁目	
	事務局 (学術国際部国際支援課)	〒060-0808	札幌市北区北8条西8丁目	
	産学連携本部	〒001-0021	札幌市北区北21条西10丁目	
	アドミッションセンター	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	
	人材育成本部	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
	創成研究機構	〒001-0021	札幌市北区北21条西10丁目	
	附属図書館	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
	附属図書館北図書館	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	
	文学研究科・文学部	〒060-0810	札幌市北区北10条西7丁目	
	法学研究科・法学部	〒060-0809	札幌市北区北9条西7丁目	
	法学研究科附属高等法政教育研究センター	〒060-0809	札幌市北区北9条西7丁目	
	経済学研究科・経済学部	〒060-0809	札幌市北区北9条西7丁目	
	医学研究科・医学部 (医学科)	〒060-8638	札幌市北区北15条西7丁目	
	保健科学院・保健科学研究所・医学部 (保健学科)	〒060-0812	札幌市北区北12条西5丁目	
	歯学研究科・歯学部	〒060-8586	札幌市北区北13条西7丁目	
	獣医学研究科・獣医学部	〒060-0818	札幌市北区北18条西9丁目	
	情報科学研究科	〒060-0814	札幌市北区北14条西9丁目	
	環境科学院・地球環境科学研究科	〒060-0810	札幌市北区北10条西5丁目	
	理学院・理学研究科・理学部	〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
	理学研究科附属地震火山研究観測センター	〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
	理学研究科附属ゲノムダイナミクス研究センター	〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
	薬学研究科・薬学部	〒060-0812	札幌市北区北12条西6丁目	
	農学院・農学研究科・農学部	〒060-8589	札幌市北区北9条西9丁目	
	生命科学院	〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
	先端生命科学研究科	〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
	先端生命科学研究科附属次世代ポストゲノム研究センター	〒001-0021	札幌市北区北21条西11丁目	
	教育学院・教育学研究科・教育学部	〒060-0811	札幌市北区北11条西7丁目	
	教育学研究科附属子ども発達臨床研究センター	〒060-0811	札幌市北区北11条西7丁目	
	国際広報メディア・観光学院, メディア・コミュニケーション研究科	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	
	工学院・工学研究科・工学部	〒060-8628	札幌市北区北13条西8丁目	
	工学研究科附属エネルギー・マテリアル融合領域研究センター	〒060-8628	札幌市北区北13条西8丁目	
	総合化学院	〒060-8628	札幌市北区北13条西8丁目	
	公共政策学教育部・公共政策学連携研究部	〒060-0809	札幌市北区北9条西7丁目	
	公共政策学連携研究部附属公共政策学研究センター	〒060-0809	札幌市北区北9条西7丁目	
	北海道大学病院	〒060-8648	札幌市北区北14条西5丁目	
	低温科学研究所	〒060-0819	札幌市北区北19条西8丁目	
	電子科学研究所	〒001-0020	札幌市北区北20条西10丁目	
	遺伝子病制御研究所	〒060-0815	札幌市北区北15条西7丁目	

略図番号	施設名	郵便番号	所在地	電話番号
	触媒化学研究センター	〒001-0021	札幌市北区北21条西10丁目	(011) 716-2111 (代表) 別途、ダイヤルイン化 【(011) 706- 内線番号】
	スラブ研究センター	〒060-0809	札幌市北区北9条西7丁目	
	情報基盤センター	〒060-0811	札幌市北区北11条西5丁目	
	アイソトープ総合センター	〒060-0815	札幌市北区北15条西7丁目	
	留学生センター	〒060-0808	札幌市北区北8条西8丁目	
	高等教育機能開発総合センター	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	
	総合博物館	〒060-0810	札幌市北区北10条西8丁目	
	量子集積エレクトロニクス研究センター	〒060-8628	札幌市北区北13条西8丁目	
	北方生物圏フィールド科学センター	〒060-0811	札幌市北区北11条西10丁目	
	北方生物圏フィールド科学センター森林園ステーション南管理部札幌研究林	〒060-0809	札幌市北区北9条西9丁目	
	北方生物圏フィールド科学センター耕地園ステーション生物生産研究農場	〒060-0811	札幌市北区北11条西10丁目	
	北方生物圏フィールド科学センター耕地園ステーション植物園	〒060-0003	札幌市中央区北3条西8丁目	(011) 221-0066
	ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー	〒060-8628	札幌市北区北13条西8丁目	(011) 716-2111 (代表) 別途、ダイヤルイン化 【(011) 706- 内線番号】
	脳科学研究教育センター	〒060-0815	札幌市北区北15条西7丁目	
	人獣共通感染症リサーチセンター	〒001-0020	札幌市北区北20条西10丁目	
	大学文書館	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
	観光学高等研究センター	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	
	外国語教育センター	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	
	アイヌ・先住民研究センター	〒060-0808	札幌市北区北8条西6丁目	
	社会科学実験研究センター	〒060-0810	札幌市北区北10条西7丁目	
	情報法政策学研究センター	〒060-0809	札幌市北区北9条西7丁目	
	環境ナノ・バイオ工学研究センター	〒060-8628	札幌市北区北13条西8丁目	
	数学連携研究センター	〒001-0020	札幌市北区北20条西10丁目	
	サステイナビリティ学教育研究センター	〒060-0809	札幌市北区北9条西8丁目	(011) 706-4680 (011) 706-2989 (011) 706-2042 (予約受付) (011) 706-3211 (管理入室) (011) 747-3136 (011) 747-7849 (011) 758-7934 (011) 706-2042 (予約受付) (011) 706-2141 (管理入室) (011) 706-2042 (予約受付) (011) 706-2394 (管理入室)
	トポロジー理工学教育研究センター	〒060-8628	札幌市北区北13条西8丁目	
	環境健康科学研究教育センター	〒060-0812	札幌市北区北12条西7丁目	
	保健センター	〒060-0816	札幌市北区北16条西7丁目	
	環境保全センター	〒060-0815	札幌市北区北15条西9丁目	
	北大交流プラザ「エルムの森」	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
	クラーク会館	〒060-0808	札幌市北区北8条西8丁目	
	百年記念会館	〒060-0809	札幌市北区北9条西6丁目	
	サークル会館	〒060-0817	札幌市北区北17条西12丁目	
	恵迪寮	〒060-8587	札幌市北区北18条西13丁目	
	霜星寮	〒001-0014	札幌市北区北14条西2丁目	
	学術交流会館	〒060-0808	札幌市北区北8条西5丁目	
	ファカルティハウス「エンレイソウ」	〒060-0811	札幌市北区北11条西8丁目	
	外国人研究者等宿泊施設	〒001-0024	札幌市北区北24条西12丁目	(011) 707-3711
	桑園国際交流会館	〒060-0808	札幌市北区北8条西11丁目	(011) 736-6211
	南新川国際交流会館	〒001-0023	札幌市北区北23条西13丁目	(011) 700-3455
	情報教育館	〒060-0817	札幌市北区北17条西8丁目	(011) 706-7500
	遠友学舎	〒001-0018	札幌市北区北18条西7丁目	(011) 706-2042 (予約受付) (011) 706-7455 (管理入室)
	事業所内保育所「ともに」	〒060-0807	札幌市北区北7条西9丁目	(011) 706-2151
	子どもの園保育園	〒060-0811	札幌市北区北11条西5丁目	(011) 706-4588
	看護師宿舎	〒001-0016	札幌市北区北16条西6丁目	(011) 706-4680
	北大病院ファミリーハウス	〒001-0016	札幌市北区北16条西6丁目	—
②	文学研究科・文学部二風谷研究室	〒055-0101	沙流郡平取町字二風谷	(01457) 2-2789
③	文学研究科・文学部斜里研究室	〒099-4113	斜里郡斜里町本町46の13	(01522) 3-0373
④	有珠火山観測所 (理学研究院附属地震火山研究観測センター)	〒052-0106	有珠郡壮瞥町立香142	(0142) 66-4011
⑤	北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション厚岸臨海実験所	〒088-1113	厚岸郡厚岸町愛冠1	(0153) 52-2056
⑥	北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション室蘭臨海実験所	〒051-0003	室蘭市母恋南町1の13	(0143) 22-2846
⑦	北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション忍路臨海実験所	〒048-2561	小樽市忍路町1の460	(0134) 64-2303
⑧	北方生物圏フィールド科学センター耕地園ステーション静内研究牧場	〒056-0141	日高郡新ひだか町静内御園111	(0146) 46-2021
⑨	北方生物圏フィールド科学センター耕地園ステーション生物生産研究農場余市東園園	〒046-0012	余市郡余市町山田町	(0135) 22-3287
⑩	北方生物圏フィールド科学センター森林園ステーション北管理部	〒096-0071	名寄市字徳田250	(01654) 2-4264
⑪	北方生物圏フィールド科学センター森林園ステーション北管理部天塩研究林	〒098-2943	天塩郡幌延町字問寒別131	(01632) 6-5211
⑫	北方生物圏フィールド科学センター森林園ステーション北管理部中川研究林	〒098-2501	中川郡音威子府村字音威子府483	(01656) 5-3216
⑬	北方生物圏フィールド科学センター森林園ステーション北管理部雨龍研究林	〒074-0741	雨竜郡幌加内町字母子里	(0165) 38-2125
⑭	北方生物圏フィールド科学センター森林園ステーション南管理部苫小牧研究林	〒053-0035	苫小牧市字高丘	(0144) 33-2171
⑮	北方生物圏フィールド科学センター森林園ステーション南管理部檜山研究林	〒049-0611	檜山郡上ノ国町字大留172-1	(0139) 55-2048
⑯	北方生物圏フィールド科学センター森林園ステーション南管理部和歌山研究林	〒649-4563	和歌山県東牟婁郡古座川町平井559	(0735) 77-0321
⑰	水産科学院・水産科学研究院・水産学部	〒041-8611	函館市港町3の1の1	(0138) 40-5505 (庶務担当直通) 別途、ダイヤルイン化 【(0138) 40- 内線番号】
	北農寮・ゲストハウスおしよろ	〒041-0853	函館市中道1の9の1	(0138) 52-1160
⑱	北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション洞爺臨湖実験所	〒049-5723	虻田郡洞爺湖町月浦122	(0142) 75-2651
⑲	北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション七飯淡水実験所	〒041-1105	亀田郡七飯町桜町2丁目9-1	(0138) 65-2344
⑳	北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション臼尻水産実験所	〒041-1613	函館市臼尻町152	(0138) 25-3237
㉑	北海道地区国立大学大滝セミナーハウス	〒052-0317	伊達市大滝区優徳町32	(0142) 68-6155
㉒	東京オフィス	〒100-0005	東京都千代田区丸の内1丁目7の12 サピアタワー 10階	(03) 3211-2055
㉓	産学連携本部東京支部	〒105-0023	東京都港区芝浦3-3-6キャンパス・イノベーションセンター 3階305室	(03) 5440-9056
㉔	北京オフィス	100080	中国北京市海淀区中関村北大街151号 北大資源大廈806号	+86-10-5887-6455

北海道大学シンボルマーク



本学構内に自生する「エンレイソウ」(オオバナノエンレイソウ=大花延齡草：ユリ科トリリウム属の多年草)を図案化したもの。

昭和25年の公募による入選作を，本学創基120周年を機に修正を加え，平成8年9月の評議会において正式にシンボルマークとして決定された。

花卉，がく片で構成された六方（東・西・南・北・天・地）への広がりは，日本や世界へ向けての本学からの情報発信を意味している。

発 行 ● 北海道大学総務部広報課

所 在 地 ● 〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

電 話 番 号 ● 011-716-2111（代表），011-706-2610（広報課直通）

E メ ー ル ● bureau@hokudai.ac.jp

ホームページ ● <http://www.hokudai.ac.jp/>

発 行 年 月 ● 平成22年6月

表紙 北海道大学コミュニケーションマーク

大学のブランドイメージを高めるための広報活動の一環として，平成18年4月に制定。本学の特徴を積極的に情報発信するために北大オリジナルグッズに付して使用する。

マークのデザインはグラフィックデザイナーの佐藤卓氏によるもの。本学が平成18年で創基130周年を迎えたことから，本学の位置を中心に北海道を130度回転させた軌跡をデザインし，回転が知恵（IDEA）を，回転による軌跡が知識（KNOWLEDGE）を表している。

